

多賀城市市民活動サポートセンター
令和 7 年度運営業務成果報告書

特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター

令和 8 年 3 月 31 日

令和7年度運営業務成果報告書 目次

数字で見た令和7年度	1
令和7年度の主なトピック/出来事/メディア掲載・視察等	2
I 令和7年度運営業務報告	
1 方針	
(1)3カ年(令和5～7年度)の施設運営方針	9
(2)令和5～7年度ロードマップ	13
2 令和7年度成果・課題	
(1)令和7年度成果・課題	14
(2)令和7年度実施事業一覧	16
3 運営状況	
(1)利用状況集計	
1)総利用件数・貸室利用率	17
2)利用団体の活動分野	18
3)利用団体の属性	19
参考-1:主な項目の利用状況推移(平成20～令和7年度)	20
参考-2:情報関連業務利用状況推移(平成20～令和7年度)	21
(2)相談対応実績	
1)相談件数	22
①年度別比較/②月別比較	
2)市民活動相談内訳(ホップ・ステップ・ジャンプ)	26
参考-3:相談対応推移(平成20～令和7年度)	30
(3)情報提供	
1)団体情報ファイル・団体紹介シート	31
2)ウェブサイト・ブログ・X	36
3)たがさぼ文庫	37
(4)場の提供	
1)事務用ブース利用状況/事務用ブース入居団体インキュベート相談	38
2)フリースペース利用状況	39
(5)他団体・他機関との連携	
1)各会議・実行委員会への参加	44
2)他団体・他機関との連携事例	49
(6)スタッフの研修への参加	57
4 事業実施状況	
(1)まちをともに創る人を増やす事業	
1)TSC運営への市民参画機会創出事業	58
2)多賀城のまちの未来を描くフューチャーセッション事業	64
(2)関わりしるを増やす支援事業	
1)自治会・町内会等の関わりしるを増やす支援事業	69
(3)新たな地域の担い手発掘・育成事業	
1)新しい人材活動支援事業	87
2)市民参画促進事業	106
(4)NPO支援事業	
1)NPOつながり支援事業	119
(5)情報発信事業	
1)フリーペーパー「tag」発行/情報発信事業	129
II 令和8年度事業計画	
1 令和8～10年度施設運営方針	143
2 令和8～10年度ロードマップ	148
3 令和8年度事業計画	149
III 添付資料	

数字で見た令和 7 年度

1. 総利用者数 のべ 27,599 人

→詳細は「3 運営状況 (1) 利用状況集計」17 ページを参照

2. 相談対応件数 のべ 388 件

前年度と比較すると 52 件増加した。

→詳細は「3 運営状況 (2) 相談対応実績」22 ページを参照

3. 配架情報総数 1,467 種類

→詳細は「3 運営状況 (1) 利用状況集計 参考-2：情報関連業務利用状況推移
(平成 20～令和 7 年度)」21 ページを参照

4. 164 本の企画等を実施・協力し、のべ 431 団体が関わり のべ 3,780 人が参加（共催事業も含む）

→詳細は「4 事業実施状況」58～142 ページを参照

5. 6 件の団体・個人の団体・活動の立ち上げ相談や 1 件の 法人化の相談があった

→詳細は「3 運営状況 (2) 相談対応実績 市民活動相談の内訳 ■ステップ」27 ページを参照

6. 団体情報は 27 団体増えて 2,358 団体に 二市三町では 6 団体増えて 367 団体に

→詳細は「3 運営状況 (3) 情報提供 1) 団体情報ファイル」31 ページを参照

令和7年度の主なトピック

多賀城市市民活動サポートセンター（以下、当センター）は、平成20年6月の開館以来、地域づくりの拠点としてNPOや自治会・町内会、生涯学習団体等市民活動の力づけを行うとともに、市民・企業・行政等による協働の地域づくりをサポートし、開館より16年が経過した。

令和5～7年度3ヵ年の業務委託の3年目となる令和7年度の主なトピックは下記の3点である。

1. “みんなでつくる”がひろがる

福祉施設や市民活動団体などが出店し、買い物やワークショップを楽しみながら支援につながるクリスマス雑貨市。今年度から「みんなでつくるクリスマス雑貨市」に名前を変えて、出店者も、来場者も、みんなが主体的に関わることができる雑貨市をめざして実施。きつずボランティアや学生ボランティアも活躍した一日になった。

地域の人材に関わる施設や機関と、地域の担い手をテーマにした市民ミーティングでは、ボランティア情報を共有することから、地域全体で地域に関わる人を増やす取り組みの一步を踏み出すことができた。

2. 次世代の地域の担い手が一步踏み出す

前年度から実施している10代・20代対象に想いをかたちにする講座「Tagajo Youth Challenge部」では、地域で活動する実践者から学びながら、想いをかたちにすることをめざした。中学生から大学生までの参加者のうち3人が実践に至った。実践は受講者や市民活動団体等の協力を得ながら行われ、挑戦する人を応援する地域の姿が実現した。

3. 地域のさまざまな主体で、地域の姿を考える

今年度から実施した「地域方程式」では、若い世代と地域、子ども会と地域をテーマに意見交換を行い、現状やアイデアの共有をすることで、現状に合った地域の姿を描きながらアイデアを共有することができた。

また、市が公表している公共施設の見直しの計画を踏まえ、公共施設や空間のあり方を、さまざまな立場の人たちが一緒に話す体験をすることで、今後の見直しのプロセスの中で大切にしたい視点を共有することができた。

令和7年度の主な出来事

令和7年

4月

1日	発行	「tag」115号発行	
1日	施設管理	芝生広場の管理スタート	
1～21日	施設管理	事務用ブース6月新規入居団体募集	
1～21日	施設管理	事務用ロッカー・レターケース利用団体募集	
4日	事業	多賀城フューチャーセッションプレ企画	
11日	事業	多賀城 LUNCH トーク⑨「好きなことで生きる～カフェと保護猫とこれからのこと～」	アウトリーチ
17日	参加	多賀城市施設情報交換会	
24日	参加	地域学校協働本部会議	
29日	事業	多賀城フューチャーセッション喫茶来①	
4/1～5/18	展示	たがさぼ文庫新入荷図書ブックレビュー展示	
4/1～6/30	展示	大船渡山林火災支援情報	

5月

2日	参加	環境審議会	
8日	施設管理	事務用ブース6月入居審査会	
8日	参加	貞山高等学校評議会	
16日	事業	多賀城 LUNCH トーク⑩「思いを吐き出す～素であること～」	アウトリーチ
18日	事業	たがさぼきっず広場	
20日	協力	幼保施設と地域の避難訓練情報交換会【八幡地区】	アウトリーチ
20日	施設管理	事務用ブース6月入居許可書発行	
24日	協力	Taga 懇@大代地区公民館	アウトリーチ
27日	協力	幼保施設と地域の避難訓練【八幡地区】	アウトリーチ
29日	協力	Taga 懇@山王地区公民館	アウトリーチ

6月

1日	発行	「tag」116号発行	
6日	協力	幼保施設と地域の避難訓練情報交換会【南宮地区】	アウトリーチ
8日	事業	TAGAJO 地域方程式「次世代×町内会 高橋地区のひみつ」	
13日	事業	多賀城 LUNCH トーク⑪「フードバンク活動で感じたこと～私と支援とレジリエンス～」	アウトリーチ
19日	協力	幼保施設と地域の避難訓練【南宮地区】→高温で延期	アウトリーチ
20日	協力	仙台育英高校ボランティア体験学習	
20日	事業	NPO いちから塾	
29日	協力	Taga 懇@多賀城市市民活動サポートセンター	

29 日 事業 多賀城フューチャーセッション喫茶来②
6/9～ 展示 「地域の特徴を教えてください」

7 月

1～21 日 施設管理 事務用ブース 9 月新規入居団体募集
3～22 日 施設管理 利用者アンケート実施
4～9/30 日 展示 フードボックス設置
4 日 協力 仙台育英高校ボランティア体験学習 アウトリーチ
8 日 参加 環境審議会
10 日 参加 多賀城市施設情報交換会
11 日 事業 多賀城 LUNCH トーク⑫「聞くから聴くへ」～みんなでつくる アウトリーチ
こどもまんなか社会～
13 日 事業 Tagajo Youth Challenge 部 Vol.2① オリエンテーション アウトリーチ
20 日 事業 NPO いちから塾
25 日 参加 多賀城市協働教育研究会
26 日 事業 Tagajo Youth Challenge 部 Vol.2② 地域の活動者に学ぶ！
part1
26 日 協力 Taga 懇@山王地区公民館
28 日 施設管理 消防訓練（利用者を交えての訓練）
29 日 協力 Taga 懇@大代地区公民館

8 月

1 日 事業 「tag」117 号発行
1 日 事業 多賀城 LUNCH トーク⑬ アウトリーチ
「知ることと伝えること～戦後からこれからへ～」
3 日 事業 きっずボランティア講座①
「恩送りって知ってる？やさしい気持ちがつなぐ未来」
7 日 協力 Taga 懇@SHARE LOUNGE アウトリーチ
9 日 施設管理 事務用ブース 9 月入居審査会
18 日 施設管理 インキュベート相談会（傾聴の会多賀城・ドリーム Jr.）
21 日 事業 防災人ミーティング 2026①
21 日 施設管理 事務用ブース 9 月入居許可書発行
23 日 事業 Tagajo Youth Challenge 部 Vol.2③ 地域の活動者に学ぶ！
part2
30 日 事業 多賀城フューチャーセッション「つながりを生む場とは」

9 月

7 日 事業 きっずボランティア講座②「いろんなちがいておもしろ
い！カナダと日本で見つけた“自分らしさ”」
8 日 協力 高崎中学校総合的な学習の時間 アウトリーチ
12 日 事業 多賀城 LUNCH トーク⑭「まちと私とブックカフェ」 アウトリーチ

令和 7 年度多賀城市市民活動サポートセンター年間事業報告書

23 日	事業	TSC の役割を軸に公共空間を考える「まちをもっとおもしろくする「私のだいじな場所」のつくり方」	
24 日	協力	貞山高等学校「地域国際交流活動」	アウトリーチ
26 日	協力	多賀城フューチャーセッション喫茶来③	
27 日	事業	Tagajo Youth Challenge 部 Vol.2④ Let's 作戦会議！	

10 月

1 日	発行	「tag」118 号発行	
5 日	事業	きっずボランティア講座③「アートでひろがるみんなのチカラ だれもがフラットにつながるために」	
6 日	協力	幼保施設と地域の情報交換会【高橋地区】	アウトリーチ
14 日	協力	幼保施設と地域の避難訓練【高橋地区】	アウトリーチ
14 日	事業	多賀城 LUNCH トーク⑮「お菓子でみんなが幸せになる方法～地域で 30 年愛される洋菓子店～」	アウトリーチ
21 日	参加	多賀城市施設情報交換会	
22 日	協力	貞山高等学校総合学習 地域理解講話	アウトリーチ
28 日	協力	幼保施設と地域の情報交換会【鶴ヶ谷地区】	アウトリーチ

11 月

4～8 日	協力	多賀城市第六次総合計画素案配置	
7 日	事業	多賀城 LUNCH トーク⑯「歴史の街に自然を+（プラス）～ネイチャーポジティブな街づくり～」	アウトリーチ
10 日	協力	花巻市区長会視察	
14 日	協力	高崎中学校総合的な学習の時間	アウトリーチ
21 日	事業	防災人ミーティング 2026②	
20 日	協力	幼保施設と地域の避難訓練【鶴ヶ谷地区】	アウトリーチ
23 日	協力	防災キャンプ@STEP	アウトリーチ
29 日	事業	雑貨市集会	
29 日	事業	雑貨市ボランティアいちから塾	
29 日	事業	Tagajo Youth Challenge 部 Vol.2⑤-1 きっずボランティア講座での実践	
29 日	事業	きっずボランティア講座④雑貨市集会参加	
11/29～ 12/25	展示	きっずボランティア展示	

12 月

1 日	発行	「tag」119 号発行	
1～21 日	施設管理	事務用ブース 2 月新規入居団体募集	
3 日	協力	貞山高等学校「総合的な探究の時間」地域国際交流活動 2	アウトリーチ
5 日	事業	TAGAJO 地域方程式Ⅱ①子ども×地域 情報交換会	

令和 7 年度多賀城市市民活動サポートセンター年間事業報告書

12 日	事業	多賀城 LUNCH トーク⑩「音楽と私とまち～多賀城から全国への挑戦～」	アウトリーチ
13 日	事業	雑貨市ボランティアいちから塾	
14 日	事業	みんなでつくるクリスマス雑貨市	
14 日	事業	TYC 部アクション in 雑貨市	
14 日	事業	雑貨市ボランティア	
14 日	事業	きつずボランティア講座④ 雑貨市ボランティア体験	
14 日	協力	多賀城フューチャーセッション喫茶来③in 雑貨市	
18 日	事業	企画持ち寄り望年会議@私のだいじな場所のつくり方	

令和 8 年

1 月

9 日	施設管理	消防訓練（利用者を交えての訓練）	
10 日	施設管理	事務用ブース 2 月入居審査会	
16 日	事業	TAGAJ0 地域方程式Ⅱ②子ども×地域 子ども会と町内会	
18 日	事業	NPO パワーアップ講座①組織運営を見直そう	
21 日	施設管理	事務用ブース 2 月入居許可書発行	
23 日	事業	インキュベート相談会 （多賀城イングリッシュ・サポーターズ）	
23 日	事業	多賀城 LUNCH トーク⑩ 「やかもち鍋～変わらぬ味に秘めた想い～」	アウトリーチ
24 日	参加	みやぎ高校生フォーラム	アウトリーチ
27 日	事業	インキュベート相談会（高崎こども食堂らっこ広場）	
30 日	参加	貞山高等学校評議委員会	
31 日	事業	インキュベート相談会（一般社団法人 Golazo）	

2 月

1 日	発行	「tag」120 号発行	
1 日	事業	NPO パワーアップ講座②活動に必要なお金のはなし	
5 日	参加	宮城県地域コミュニティ再生支援事業研修・意見交換	
10 日	事業	多賀城 LUNCH トーク⑩「棋は対話なり～将棋で育むイージーコミュニケーション～」	アウトリーチ
10 日	参加	学校協働本部会議	
11 日	参加	第 8 回大規模災害公営住宅 自治会交流会	アウトリーチ
13 日	参加	多賀城市施設情報交換会	
16 日	参加	みやぎ地域コーディネーター情報交流会	
19 日	事業	たがさぼ市民ミーティング「持続可能な地域のための人財」	
19 日	参加	地域コミュニティ課 令和 7 年度テーマ別研究会①	
21 日	参加	地域コミュニティ課 令和 7 年度テーマ別研究会②	
23 日	事業	NPO パワーアップ講座③その自己紹介届いていますか？	

令和 7 年度多賀城市市民活動サポートセンター年間事業報告書

24 日	参加	多賀城市鶴ヶ谷児童館 令和 7 年度地域懇談会	アウトリーチ
27 日	参加	多賀城市西部児童センター 令和 7 年度地域懇談会	アウトリーチ
2/14～3/10	展示	万灯会メッセージ募集	

3 月

6 日	事業	多賀城 LUNCH トーク②「あの日の教訓～こどもを真ん中のま ちづくり～」	アウトリーチ
14 日	事業	たがさぼ交流会 2026	
15 日	事業	TYC 部アクション「春の工作ワークショップ」	
16 日	事業	インキュベート相談（生涯学習 100 年構想実践委員会）	
17 日	事業	インキュベート相談（宮城県学童保育連絡協議会）	
20 日	協力	多賀城市長杯交流将棋大会	
21 日	協力	多賀城市長杯こども交流将棋大会	
31 日	事業	YouTube チャンネル「やかもち鍋」「TYC 部」	

※**アウトリーチ**…市民活動やまちづくりなどへの等の興味・関心の促進のために行ったセンター外での活動を示している。（主催、共催、協力を含む）

メディア掲載（関連記事も含む）

令和7年

5月28日	河北新報（朝刊）	共に歩もう 東日本大震災14年
5月15日	石巻日日新聞	地域と共に 地域に関わる人を増やす
11月25日	S-style	みんなでつくるクリスマス雑貨市2025
11月28日	情報誌 ARIFT	みんなでつくるクリスマス雑貨市2025
12月1日	河北新報（夕刊）	ふみだす info 「助け合い、思いを循環ー14日、多賀城で雑貨市」
12月9日	河北新報（朝刊）	みやぎ情報コーナー 「みんなでつくるクリスマス雑貨市2025」
12月11日	ウイークリーせんだい	みんなでつくるクリスマス雑貨市2025
12月15日	河北新報（夕刊）	ふみだす info「NPO 組織運営学ぶー多賀城で来年開催」

令和8年

2月9日	河北新報（夕刊）	志民の輪「空間整備にアイデア 宮城・多賀城『私のだいいな場所』のつくり方」
------	----------	---------------------------------------

視察等

令和7年

11月10日	花巻市区長会視察	市民活動サポートセンターの事業内容（町内会関連）
--------	----------	--------------------------

I

令和 7 年度運営業務報告

I -1 方針

（１）3ヵ年（令和5～7年度）の施設運営方針

令和5～7年度の3ヵ年の業務委託に際し、施設運営方針を以下のように定めた。この方針に基づいて事業立案や運営を行っている。

多賀城市市民活動サポートセンターが目指す多賀城のまちの姿

“ベッドタウンからホームタウンへ”

多賀城は交通の便がよく、仙台市に通勤通学している人が多い。駅前にはカフェが入るおしゃれな図書館もあり、ロードサイドには生活に必要な商業施設等が建ち並んでいる。そんな便利で住みやすいまち多賀城は、若い世代に住むまちとして選ばれる一方で、転出入も多い。このままではまちを利用するだけの消費者としての住民が増え、地域を担う主体としての市民が減ることが予想される。自分が住むまちに自分が関わることで、さらに魅力的なまちにしていける、そんな実感を持てる機会を増していくことで、主体としての市民を多賀城のまちに増やしていく。

当センターの役割と取り組み

（１）まちをともに創る人を増やす

1) 当センターの運営に市民の参画の機会を創出

①現状と振り返り

当センターの開館は、市民活動実践者や市職員有志が市民活動や協働についてともに学ぶ中で、市民活動支援施設の必要性を見出し、機能や運営について検討し、市に提案したことがきっかけとなっている。

これまでの当センターの運営では、窓口を事務処理の受付のみにせず、利用者とのコミュニケーションを重視している。また、事業参加者へのアンケート、年1回実施する利用者アンケート、地元企業や自治会・町内会へのヒアリング、地域のさまざまな主体が集まる会議への参加などを通して、地域のニーズを探り、課題を設定し、めざすまちの姿を描き、事業案に落とし、取り組みを進めてきた。

平成29年度から取り組んでいるTagajo Sustainable Relationship（多賀城から、持続可能な関係性を探る）会議（以下、TSR会議）では、地域課題を共有し、解決に必要なことを考え、実践に向けて、地域の活動者が対等な立場で取り組みを重ね、多文化共生や防災に関する課題解決の取り組みが生まれている。

②令和5～7年度の取り組み

これまでの市民の意見を聞くことに加えて、市民と一緒に地域の状況を共有し、課題を設定

し、めざすまちの姿を描き、事業案に落としとしていく場づくりに取り組み始めていく。当センターは支援する側とされる側の関係性ではなく、地域のことを考えるフラットな場として機能するような関係性を地域の方と育んでいく。

TSR会議の場づくりの手法を活かし、当センターの取り組みの中で主体としての市民を増やすことで、多賀城のまちに活かしていく。

例えば、1年目は当センターで設定した課題について、解決に向けて必要なアイデアを出し合い、実践に移す。2年目からは課題から市民と一緒に考え、実践まで行うというように段階的に進めていく。決定の場には、市民活動団体、自治会・町内会、事業者、学校等の地域のさまざまな主体に参画してもらう。

前述のTSRから、防災に関わる人・関心のある人を「防災人（ぼうさいびと）」と名付け、情報交換を行う場に、市担当課である危機管理課職員が市民の声を施策に反映する場と捉えて参加し、避難所のLGBT対応について市民活動団体との情報交換につながった。このように、話し合いの場には市職員も同席してもらい、市民の主体性を発揮する場を体感してもらう。

そのためには、支援者に必要な7つの力（相談対応力、調査・情報収集力、編集・発信力、コーディネート・ネットワーキング力、資源提供力、内部の人材育成力、政策提言力）のうち、スタッフのコーディネート・ネットワーキング力を重視する。

2) 多賀城のまちの未来を描くフューチャーセッションの実践

①現状と振り返り

地域の中の支え合いを増やそうとしている地域福祉分野、地域ぐるみで子どもたちを育む体制づくりを進める教育分野、地元の人やコトを活かす観光をめざす観光分野等、第六次総合計画の推進には、地域の力が重要になっている。それぞれ行政が主催し、市民が参加し話し合う場が作られているが、話し合う課題や出た意見を活かす場が最初から決まっていることがほとんどである。当センターもこれまで行政等の主催する会議への参加や、令和3年度は地域コミュニティ課が主催する小学校区での地域情報交換会、令和4年度は市民と市長の懇談会「Taga 懇」に協力してきた。

②令和5～7年度の取り組み

前述のTSRの実践を活かし、市民が主体となり、多賀城のまちについて考え、課題を設定し、実現可能な対応策を考える場（＝フューチャーセッション）を重ねていく。

テーマは「まちの担い手をどのようにつくるか」など多賀城のまちに関することとし、行政への陳情にしないようなグラドルルールを決め、既活動者を中心に参加者を募るが、当事者も非当事者（未来の当事者の可能性がある）も参加できる場とする。アイデアベースではなく実現可能な案にブラッシュアップし、市担当課や市長に市民提案として話し合う場を設ける。市民がまちのことを考え、自分たちが決めたことを行動に移す経験を通して、行政への提案力向上、行政との協働を促進することをねらう。

また各団体が取り組んでいるテーマだけでなく、市全体を見る視点をもつことで、各テーマで活動する既活動者が、他の活動者を支える側にもなっていくこともねらう（例えば、こども

食堂を開催する団体が、新たに活動を始め人のサポートや、地域の子育て支援を担う主体のつなぎ役になり、更なる子育て支援の環境づくりが促進されるなど。

(2) 既存の仕組みの支援から関わりしるを増やす支援の強化

①現状と振り返り

自治会・町内会では、役員や活動の担い手の高齢化やまちを利用するだけの住民が増えていく状況の中で、担い手が不足し、これまで当たり前にやってきた取り組みの継続が困難な状況が出ている、もしくは今後増えることが予想される。コロナ禍においては、夏祭りや敬老会、サロンなど、これまで通りの活動ができない状況になったが、工夫しながら活動を再開する動きも出てきている。活動を再開する際には、活動ができなかったことで発生した困りごとを確認し、本当に必要な活動の見極めややり方を変える好機とも捉えることができる。令和2～4年度は、地域のことを地域の人が発信し、新しい住民に土地のことを伝えることを目的とした地域学や自治会・町内会の取り組みを役員以外の人に知ってもらうためのツールとしての町内会新聞の支援や、地区同士のテーマごとの情報交換などを中心に行い、地域や役割を超えた情報共有の場をつくることが出来た。

②令和5～7年度の取り組み

コロナ禍から活動を再開する自治会・町内会の支援をきっかけに、既存の取り組みの棚卸の支援、既存の活動の見直しや新たな取り組み開始の支援を行う。その際に、地域住民だけでなく、地区内の事業者や学生など多様な主体との連携の視点を加え、持続可能な地域運営につなげていく。

既存の取り組みへの支援よりも、既存の取り組みを変化させ、新たなかたちをめざす取り組みに対する支援を重点的に行う。

(3) 新たな地域の担い手発掘・育成の継続

1) 高校生以下が活躍する場づくりにチャレンジする

①現状と振り返り

高校生の多くは周辺市町から通学している。また、2022年度改訂の学習指導要領で導入された総合的な探究の時間では、生徒が主体的に課題を設定し、情報収集・分析や課題解決に取り組むことから、地域に出るの調査や活動の機会が増えることが予想される。また、市内の高校はボランティア活動が単位として認められる制度があるが、コロナ禍で地域に関わる機会が減少している。

②令和5～7年度の取り組み

コロナ禍後を見据えて、高校生が地域に関わる機会を創出したり、情報提供やコーディネートを行うことで、新たな地域の担い手育成を進めていく。まずは、単位認定制度を見据えてのボランティア活動を通じた関わりを模索する。また、小学生のうちから市民活動へ触れる機会を創出することで、中学生、高校生の活動の礎となるため、未来を担う子どもたちを対象とし

た育成にも力をいれていく。

2) 多様な活動の入口を示す

①現状と振り返り

令和4年2月多賀城市が実施したまちづくりアンケートでは「市民活動、NPO活動、ボランティア活動などに参加していますか」という質問に対し「今後参加してみたい」36.9%、「興味や関心がないので参加する気はない」48.5%という結果が出ている。当センターの相談対応や事業の中では、自分の活動が市民活動だと認識せずに活動しているという声や、市民活動は一部の特別な人がやっているという声を聞くことも多い。

前述の防災人（ぼうさいびと）の情報交換会には、資格を持っているが活かす場がない防災士、自分の知識やスキルを地域の防災に活かしたい方、自治会・町内会の防災担当になりアイデアがほしい方など、毎回20人ほどが参加し、新たな人材発掘につながった。この場での出会いから、地域の防災力向上につながる事例が生まれている。また、今期初めて実施したボランティア講座は、だれかの役に立ちたいという想いのある層を発掘することができた。

②令和5～7年度の取り組み

関わってみたら楽しく、まちがもっと好きになるような多様な取り組みを、当センターだけでなく、既活動団体と一緒に増やしていく。

(2)令和5～7年度ロードマップ【修正版】

令和6年度の取り組み実績をふまえ、令和7年度の計画立案時に一部修正。

2025/3/17修正

		内容	主な対象	R5(2023)事業	R6(2024)事業	R7(2025)事業	めざす姿	地域コミュニティ課資料との合致
(1)まちをと もに創る人 を増やす事 業	1)TSC運 営への市民 参画機会創 出事業	市民と一緒に地域の状況を共有し、課題を設定し、めざすまちの姿を描き、解決に向けて必要なアイデアを出し合い、TSCの事業案に落としていく場づくりに取り組み始める。	市民活動団体、自治会・町内会、事業者、学校等の地域のさまざまな主体	1)話し合いの場づくり(課題はTSCが設定) 2)TSCの取り組みに活かす	1)話し合いの場づくり(課題はTSCが設定) 2)取り組み実践	1)話し合いの場づくり 2)取り組み実践・仕組み化	・TSCが地域のことを考えるフラットな場として機能するような関係性が育まれている。	【地域の担い手育成】 【連携による課題解決】 【情報発信】 ・地域課題の把握に努める
	2)多賀城の まちの未来 を描くフュー チャーセッ ション事業	市民が主体となり、多賀城のまちについて考え、課題を設定し、実現可能な対応策を考える場(＝フューチャーセッション)を重ね、市民提案として市と話す場をつくる。	市民活動団体、自治会・町内会、事業者、学校等の地域のさまざまな主体	1)フューチャーセッション	2)実践に向けた伴走	3)提案の場	・市民の提案力が向上している。 ・行政との協働による地域づくりが進んでいる。 ・既活動者が他の活動者を支える側になっていく。	【連携による課題解決】 ・市民が主体となり、多賀城のまちについて考え、課題を設定し、実現可能な対応策を考える場(＝フューチャーセッション) 【地域の担い手育成】
(2)関わり しるを増や す支援事業	自治会・町 内会等の関 わりしるを 増やす支援 事業	コロナ禍から活動を再開する自治会・町内会の支援をきっかけに、既存の取り組みの棚卸の支援、既存の活動の見直しや新たな取り組み開始の支援を行う。	自治会・町内会＋潜在的活動者 市民活動団体	1)既存の取り組みの棚卸の支援、既存の活動の見直しや新たな取り組み開始の支援 2)テーマ型自治会・町内会情報交換会 3)地域学：市民が自分の住む地域のことを知り、発信することをサポート 4)自治会・町内会の取り組みヒアリング・発信事業		1)地域に新たな人材や世代が関わるための支援、新たな取り組みの支援・情報交換 2)地域の多様なセクターが連携し、ネットワークづくりや取り組みを生む支援	・地域での自主的な取り組みが増えている。 ・既存の取り組みを変化させたり、連携の視点を持つことで、持続可能な地域運営につながっている。	【自治会町内会】 ・町内会同士の情報交換の機会の提供 ・町内会等に対するアウトリーチ支援の実施 【連携による課題解決】
(3)新たな 地域の担い 手発掘・育 成事業	R5年度 1)次世代活 躍事業 R6年度 1)新しい人 材活動支援 事業	小中高生などの世代が地域に関わる機会を創出したり、情報提供やコーディネートを行うことで、新たな地域の担い手育成を進めていく。	小中高校生など未来を担う世代	1)きつず講座(雑貨市と連携) 2)中学校・高校のボランティアコーディネート支援の模索(町内会支援と連携) 3)中高への市民活動に関する授業提案 4)Tagajo Future Labo部(中高生版TF L)	1)NPOいちから塾(テーマ型含む) 2)中学校・高校のボランティア活動支援(個別相談対応) 3)地域との関わりしるを増やす仕掛け 4)スタートアップ支援・継続支援	3)若い世代を中心とした活動支援、ボランティア支援、実践の伴奏支援	・NPOやボランティアについて知り、地域・社会の課題解決に目を向ける小中高生が増えている。 ・身の回りの困りごと、課題を自らの手で解決しようとする中高生が増えている。	【地域の担い手育成】 ・高校生が活躍する場づくりの実施
	2)市民参画 促進事業	関わってみたら楽しく、まちがもっと好きになるような多様な取り組みを既活動団体と一緒に増やしていく。	無関心層 潜在的活動者	1)雑貨市 2)NPOいちから塾 3)ボランティア講座(NPO支援と連携) 4)気軽に活動に参加できる仕掛けづくり(多賀城市内のイベントへの出展等)	1)多様な主体で取り組む雑貨市 2)きつず講座等 3)市民活動を知る機会の創出(多賀城LUNCHトーク)		・地域の活動に参加し得る新たな人材が発掘されている。 ・地域活動への関わり方を知り、自分にできるかたちで関わる市民が増えている。	【地域の担い手育成】
(4)NPO支 援事業	NPOつなが り事業	自団体の弱み強みを知り、団体運営力のアップを図るように支援することで、他の団体やセクターとつながり、団体を理解し支援する人や連携する団体を増やす。また、ボランティア情報の収集・発信を通して市民活動に関わる市民を増やす。	NPO 市民活動団体	1)インキュベート伴走支援 2)運営力、発信力アップ講座 3)NPO等交流会 4)団体とボランティアをしたい市民のコーディネート		2)他セクターとの連携のための力づけの講座 3)他セクター・市民への発信のための交流会 4)人材受入れのための団体の力づけ	・各団体が、自らの活動を見通すことで運営力がアップしている。 ・他の団体や市民と連携して、地域・社会の課題が解決できるようになっている。 ・ボランティアなど地域人材を活用できるようになっている。	【連携による課題解決】 【地域の担い手育成】
(5)情報発 信事業	フリーペー パー「tag」 発行/情報 発信事業	市民活動や連携に関する発信を行うことで、市民が市民活動に触れる機会を増やす。	市民(受益者含む) NPO 市民活動団体	1)フリーペーパー「tag」発行(隔月A4両面) 2)各種ウェブ媒体の活用・連結		3)多賀城LUNCHトーク(多様なセクターがタッグを組める場の創出)	・市民が市民活動の情報に触れる機会が増えている。 ・得た情報をもとに、地域での活動や課題の解決に向けたアクションを起こす市民が増えている。	【情報発信】

I-2 令和7年度成果・課題

（１）令和7年度成果・課題

施設運営方針に沿った成果・課題

3ヵ年（令和5～7年度）の施設運営方針に沿って、事業実施も含めた令和7年度の当センターの運営全体の成果・課題は以下のとおりである。事業実施の全体像は、「(2) 令和7年度実施事業一覧」（16ページ）を参照。

1) まちをともに創る人を増やす

【成果】

- 令和6年度「たがさぼ市民ミーティング」で行った市内の人材に関する情報収集・情報交換の内容を、今年度、各機関と協力して取り組み始めることで、地域づくりの担い手を増やすための環境づくりを進めることができた。
- 公共施設の見直しを背景に、公共空間のあり方を考えるきっかけとして実施したまちをもっとおもしろくする「私のだいじな場所」のづくり方では、市民だけでなく、公共施設運営者、市職員の参加もあった。アイデアを持ち寄り、一緒に考える体験を通して、協働のあり方の再確認になるとともに、今後一緒に考えていきたい活動者と公共のあり方を共有することができた。

【課題】

- 主体的に考え、行動する市民を増やしていくためには、これまでの参加者への継続的なフォローアップとともに、テーマ設定やプロセスの設計の更なる工夫が必要である。

2) 既存の仕組みの支援から関わりしるを増やす支援の強化

【成果】

- 今年度から新たに始めた「TAGAJ0地域方程式」では、市内の事例を共有するとともに、参加者自身が地域の資源とアイデアの組み合わせを考え、参加者同士で共有することができ、地域を考える新たな視点を持つきっかけを提供したり、現状に合わせた地域のあり方を考える機会となった。
- 防災人ミーティング参加者がスキルを活かし、中央公民館主催の防災キャンプで講師を務めた。情報交換に留まらず、地域での活躍につながった。
- 相談を通して、自治会・町内会と市民活動団体や生涯学習団体をつなぎ、自治会・町内会の行事や取り組みに、市民活動団体や生涯学習団体が参加する事例が生まれた

【課題】

- これまでに事業の中であげられた地区の課題などは、個別に考える機会をつくり、継続的に取り組んでいく必要がある。

3) 新たな地域の担い手発掘・育成の継続

【成果】

- 「たがさぼきっず広場」、高校の授業の受け入れや中学校・高校からの授業の相談を通して、子どもたちに地域で活動する団体を通して地域課題に触れる機会を提供し、次世代の担い手育成につなげた。
- 中学生から大学生を対象とした「Tagajo Youth Challenge部」では、自分の想いをかたちにする実践が、市民活動団体等の協力を得ながら行われた。「みんなでつくるクリスマス雑貨市」では、前日・当日ボランティア、きっずボランティアなど、多くの人が関わり、活動の中でコミュニケーションを取りながら地域を知ることにつながった。今後のアクションにもつながる機会となった。

【課題】

- 地域で活動する実践者の協力を広げながら、人材の発掘、育成を継続的に行う必要がある。

(2) 令和7年度実施事業一覧

2026年3月作成

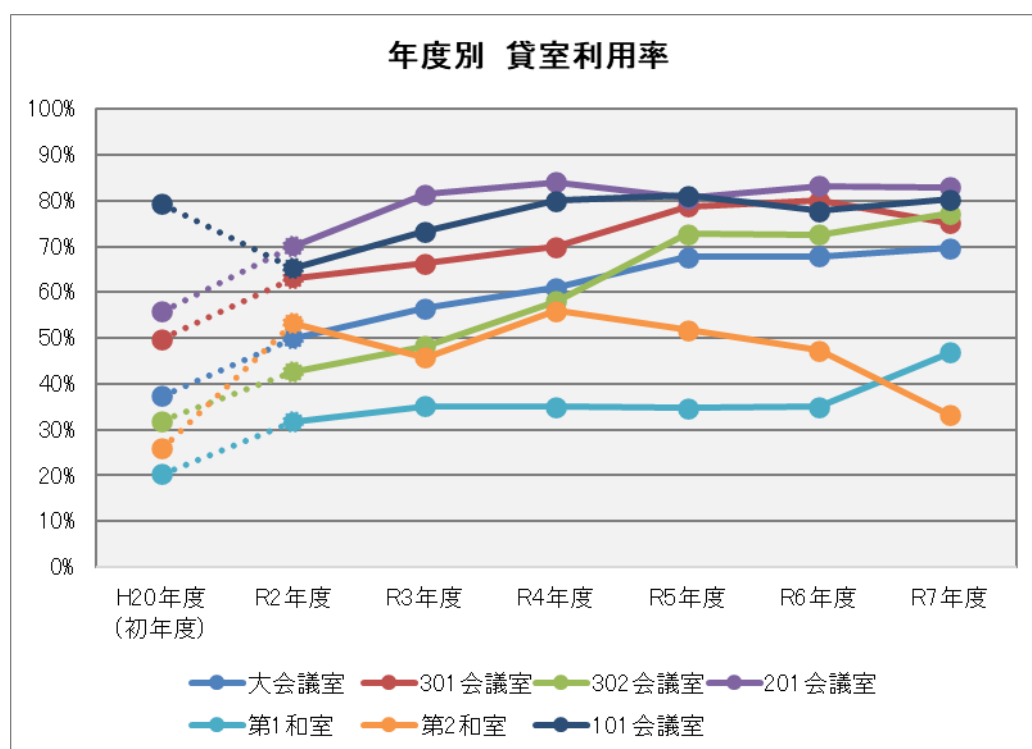
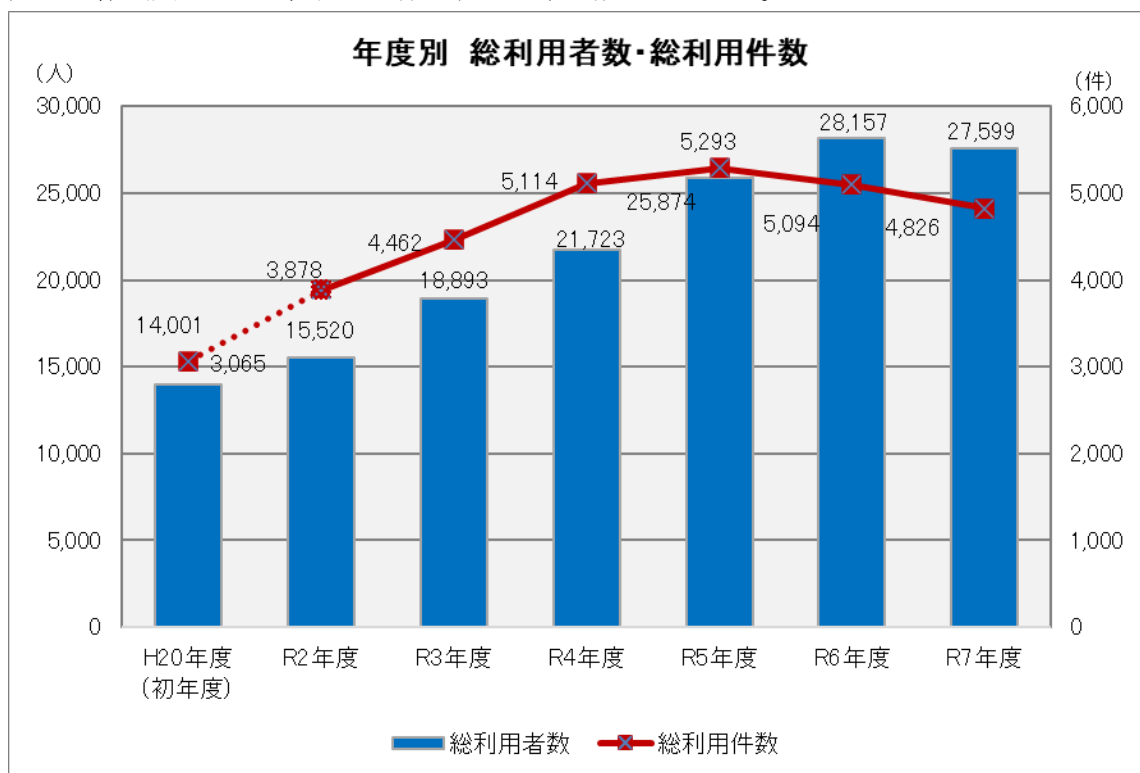
大 事 業	小 事 業	主 な 目 的	概 要	主 な 対 象	成 果 目 標	実 施 目 標	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
(1) まちをともに創る人を増やす事業	1 TSC運営への市民参画機会創出事業	市民と一緒に地域の状況を共有し、課題を設定し、めざすまちの姿を描き、解決に向けて必要なアイデアを出し合い、TSCの運営に活かす場づくりを通して、主体としての市民を増やす。	1)たがさぼ市民ミーティングテーマ案 ①「持続可能な地域のための人財(ボランティア)」R6年度に引き続き、他機関と連携しながら取り組みを実施する。関係機関との情報交換会を実施し、より効果的な取り組みにしてい。 ②市の公共施設の見直しに関連し、「公共空間」「TSCの役割」を軸に、学び、意見交換、今後の姿を描く。	市民活動団体、自治会・町内会、事業者、学校等の地域のさまざまな主体	所属や役職等にとらわれず、多様な人が地域について考え、意見やアイデアを出し合える場を設け、出た意見をもとに、より効果的な取り組みを、関係機関・団体と連携し実践する。(2テーマ)	1)たがさぼ市民ミーティング ①「持続可能な地域のための人財(ボランティア)」取り組みの実践 ・R6年度市民ミーティングに声かけをした各機関のボランティア募集情報収集、及び情報ファイルの設置 ・各機関のボランティア募集情報のリンクをTSCホームページに貼る ・情報交換会の開催 ②「公共空間」「TSCの役割」を軸に、学び、意見交換、今後の姿を描く。	ボラ取組実施・ヒアリング(随時)			ボランティア情報ファイル設置●		新着ボラ情報 28			新着ボラ情報 8		市民ミーティング● 19	
	2 多賀城のまちの未来を描くフューチャーセッション事業	市民が主体となり、多賀城のまちについて考え、課題を設定し、実現可能な対応策を考える場(＝フューチャーセッション)を重ね、市民提案として市と話す場をつくることで、考え行動する市民を増やす。	1)多賀城フューチャーセッション ・相談等で寄せられた声から課題を設定し、解決策を話し合い、実践する。 2)アイデアを実践する伴走 ・R5年度実施分(喫茶来) ・R6年度実施分 ・R7年度実施分	既活動者 潜在的活動者 地域のさまざまな主体	対話を通して、新たな活動や協働につながるような提案が生まれる。(1件以上)	1)多賀城フューチャーセッション(2回) 2)アイデアを実践する伴走 ・R5年度実施分(喫茶来) ・R6年度実施分 ・R7年度実施分	TFSブレ● 4 喫茶来● 29 ○		喫茶来● 29		TFS● 30 喫茶来● 26		伴走支援●		喫茶来● 14			
(2) 関わりしるを増やす支援事業	3 自治会・町内会等の関わりしるを増やす支援事業	持続可能な地域運営のため、 ・既存の取り組みの棚卸の支援、既存の活動の見直しや新たな取り組み開始の支援を行う ・様々な人が関わる地域のあり方を模索していく	1)地域に新たな人材や世代が関わるための支援、新たな取り組みの支援 2)地域の多様なセクターが連携し、ネットワークづくりや取り組みを生む支援 3)自分の住む地域のことを知り、自ら発信することをサポート(地域学)※市出前講座含む 4)自治会・町内会の取り組みヒアリング・発信事業	自治会・町内会＋ 潜在的活動者 市民活動団体	1)自治会・町内会、また地区の取り組みに関心のある人たちが情報交換やアイデアを出し合う場を持つ(2テーマ以上) 2)既存の活動の見直しや新しい人材の活用や取り組みが始まる(1事例以上) 3)住民が自らの地域の魅力に気づき、発信する地域が生まれる(新たに1事例以上) 4)自治会・町内会の活動のヒアリングを通して事例の蓄積と情報発信をTSCが行う(情報発信：10回以上)	1)TAGAJO地域方程式 2)防災人ミーティング・地域防災の取り組み支援 3)多賀城みんなの地域学 4)情報発信	防災の取組み● 八幡 20 27 南宮○ 6 地域方程式①● 4 南宮○ 7 高橋○ 25 町内会ヒアリング・発信				防災人mtg①● 21 防災人mtg②● 21 地域方程式②● 5 防災人mtg③○ 23 防災人mtg④● 24							
	4 新しい人材活動支援事業	・中高生を中心とした若い世代に地域について考える場を提供し、地域の活動や課題に目を向ける市民を増やす。 ・学びの場や思いの整理の場を提供することで、自ら活動始める市民を増やす。	1)新しく市民活動や地域での活動に関わろうとする人のスタートアップを支援 ・NPOいちから塾 ・雑貨市ボランティア向けいちから塾 ・出前いちから塾 2)学生が地域や団体と関わりを持ち、意識する機会の創出 ・TYC部 3)若い世代の活動実践の支援 4)地域でのボランティア活動支援	中高校生、大学など 未来を担う世代＋ 潜在的活動者	・参加者の8割以上がそれぞれの講座を受講したことで市民活動団体やボランティア、地域活動への理解が深まる ・NPOいちから塾全参加者の6割以上が市民活動やボランティア活動に参加する ・講座・相談等でアクションを起こした学生の7割以上が関心のある地域の課題や活動を見つけ、次のステップに繋がるきっかけになる	1)NPOいちから塾 2)Tagajo Youth Challenge部vol.2 3)若い世代の活動実践の支援 4)地域でのボランティア活動支援	ボランティア支援		いちから塾● 20 育英高校● 20 TYC部①②● 13 26	育英高校● 4 ③● 23 ④● 27		雑貨市ボラ事前説明会● 29 TYC実践支援⑤● 29		いちから塾● 13 雑貨市ボラ● 13・14 ⑤● 14			⑤● 15	
(3) 新たな地域の担い手発掘・育成事業	5 市民参画促進事業	・市民活動に参加する入口をより多く示し、活動に関わる人を増やす。 ・関わってみたら楽しく、まちがもっと好きになるような多様な取り組みを既活動団体と一緒に増やしていく。	1)多様な主体で取り組む雑貨市 2)きっずボランティア講座ほか	潜在層(興味・関心層、無意識参加層) 潜在的活動者	1)市民活動や地域課題に対する認知を広げ、次のステップ(講座参加や団体へのアプローチ[ボランティア参加や寄付などの支援])へ進む市民が生まれる。(3件以上) 2)はじめて講座や雑貨市に参加する人が全体の3割以上。	1)きっずボランティア講座(5回) ○ブレ企画：たがさぼきっず広場 2)みんなでつくるクリスマス雑貨市	きっずブレイベント● 18			きっず①● 3 きっず②● 7 きっず③● 5		きっず④● 29	きっず⑤● 14					
	6 NPOつながり支援事業	・自団体の強み弱みを知り、団体運営力のアップを図るよう支援することで、他団体や市民とつながり、団体を理解し支援する人や連携する団体が増える。 ・ボランティア情報の収集と発信を行うことで、市民活動に関わる市民を増やす	1)NPO交流会(団体同士のつながりづくり)多セクター型 2)運営力、発信力アップ講座(3回) 3)NPO・市民活動ボランティア支援 4)インキュベート伴奏支援(年3回)	NPO・市民活動団体	①交流会で生まれたつながりから地域課題解決に向けて連携する事例が1件以上生まれる。 ②市民からの協力・共感・賛同などが増えている団体が3団体以上出ている。 ③ボランティア情報を収集・発信する。 ④相談会・講座参加団体それぞれの運営課題のうち1つが、改善もしくは解決している。	1)NPO交流会 多セクター型 2)運営力、発信力アップ講座(3回) 3)NPO・市民活動ボランティア支援 4)インキュベート伴奏支援(年3回)	伴走支援・ボランティア			インキュ● 18 21		講座①● 18 講座②● 23 インキュ● 23 27 31				NPO交流会● 14 インキュ● 16 17		
(4) NPO支援事業	7 フリーペーパー「tag」発行/情報発信事業	市民活動や連携に関する発信を行うことで、市民が市民活動に触れる機会を増やす。 地域の活動を価値づけし、発信する。	1)フリーペーパー「tag」発行(隔月A4両面) ・連携に関する記事、市民が参画しやすい活動を取り上げる 2)ウェブでの情報発信 ・動画等による情報発信(団体紹介ショート動画、事業のアーカイブ動画など4本程度) ・ホームページ、ブログ、X(旧Twitter)での情報発信 3)市民をつなぐリアルな場と課題発信の場の開催(12回)	潜在的活動者 活動者 潜在層(興味・関心層、無意識参加層)	・tagをきっかけに市民活動に対する意識が変化した市民・団体によるアクションが12件以上起きる。 ・YouTubeの動画コンテンツに関心を示し、定期的に情報を得るためのアクションとして、12人以上が新たにYouTubeチャンネルに登録する。 ・ブログの1記事あたりの訪問者数が平均300件以上になる。	1)フリーペーパー「tag」発行(6回) 2)TSCのウェブ媒体による情報発信 3)多賀城LUNCHトークの開催(12回)	tag● 115号 SNS● 116号 多賀城LUNCH● 11 ● 16 ● 13 ● 11 ● 1 ● 12 ● 14 ● 7 ● 12 ● 23 ● 10 ● 6											動画(団体・事業)▶
(5) 情報発信事業																		

I -3 運営状況

(1) 利用状況集計

1) 総利用件数・貸室利用率

今年度の総利用件数は4,826件（前年度比94.7%）、総利用者数は27,599人（前年度比98.0%）となった。総利用件数は2年続けて若干減少しているが、総利用者数は25,000人を超えている。貸室利用率で見ると、例年同様に201会議室の利用が最も多く83%の利用率となっている。一方、利用者の高齢化が進んでいることもあり、相対的に椅子のある会議室の利用が増加傾向であり、和室全体の利用は年々減少している。

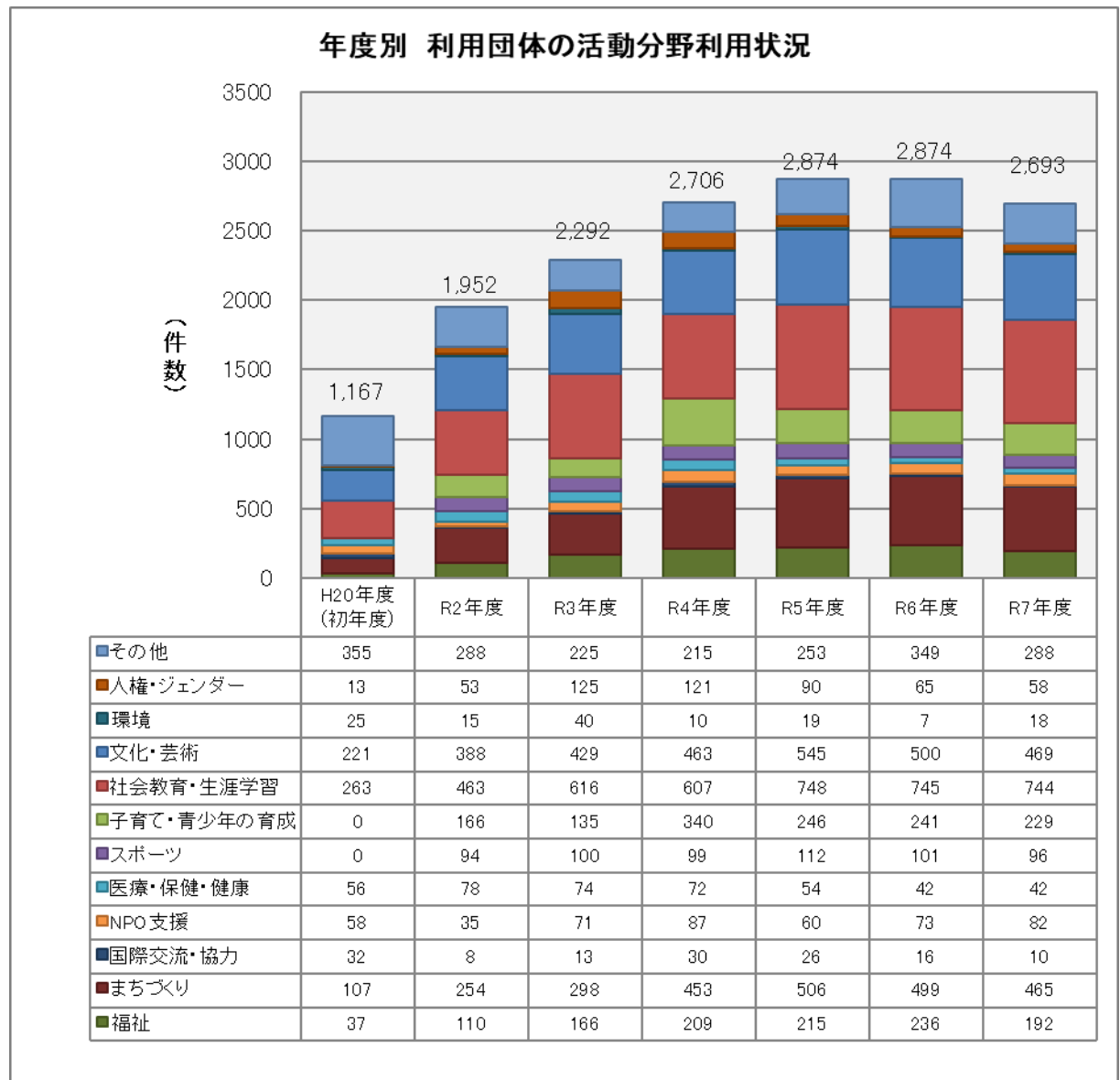


2) 利用団体の活動分野

貸室、情報サロン、交流サロン、ギャラリー

事務用ブース利用者の利用票提出および印刷機利用に基づく利用団体の活動分野

活動分野別の利用団体総数は2,693件で、前年度よりも181件減少した。利用の多い分野は順に「社会教育・生涯学習」、「文化・芸術」、「まちづくり」、「子育て・青少年の育成」、「福祉」となっており、この5分野で全体の77.9%を占めている。最も利用が多かったのは例年同様「社会教育・生涯学習」で、全体の27.6%を占めている。それに次いで、「文化・芸術」18.2%、「まちづくり」が17.3%となっている。若干の変動はあるが、この傾向はほぼ変わっていない。全体的に減少傾向ではあるが、特に「福祉」44件、「文化・芸術」が31件と前年度に比べ減少。「まちづくり」は令和4年度から増加しここ数年の変化は少ない。



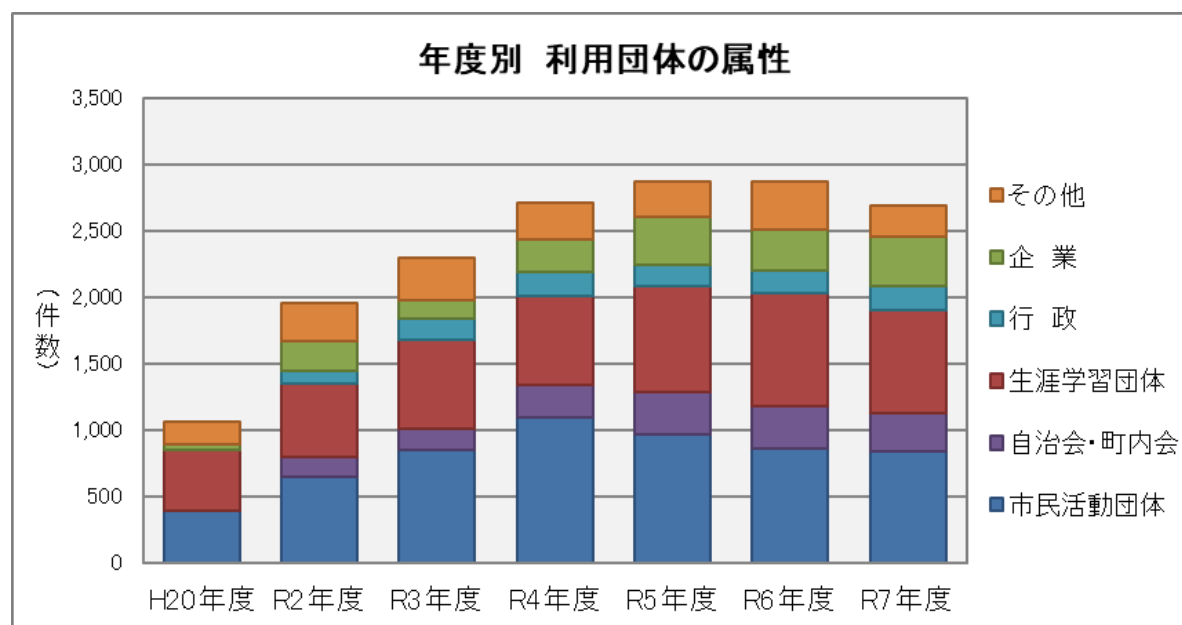
3) 利用団体の属性

貸室、情報サロン、交流サロン、ギャラリー、共同事務室の利用票及び印刷機利用に基づく利用団体属性

市民活動団体 : 835 件 生涯学習団体 : 781 件 企 業 : 365 件
自治会・町内会 : 286 件 行 政 : 183 件 その他（個人など） : 243 件

ここ数年の利用状況を見ると、「市民活動団体」と「生涯学習団体」が利用の中心である点
は変わらないが、令和7年度は減少し、市民活動団体835件、生涯学習団体781件となった。
生涯学習団体は令和5年度に約800件だったが、令和6年度の増加を経て令和7年度は大幅
に減少しており、参加者や指導者の高齢化に伴う活動縮小に加え、団体数や活動頻度の変動、
さらにオンライン会議ツールの普及による会議形態の変化が影響している可能性がある。

また、自治会・町内会の利用は322件から286件へと微減しており、担い手の入れ替わり
や行事数の変動など、例年の範囲内の揺れとして捉えられる。一方で、企業および行政の利
用は比較的安定して推移しており、利用団体の属性によって異なる動向が読み取れる。



■年度別利用団体の属性（単位：件）

	H20 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
市民活動団体	394	646	844	1,092	966	858	835
自治会・町内会		145	160	250	315	322	286
生涯学習団体	457	553	675	664	800	852	781
行 政		100	154	187	159	171	183
企 業	42	225	148	241	367	308	365
その他	172	283	311	272	267	363	243
合 計	1,065	1,952	2,292	2,706	2,874	2,874	2,693

参考- 1：主な項目の利用状況推移（平成20～令和7年度）

		貸室		フリースペース			レターケース	相談対応		印刷機	パソコン	情報揭示	総利用	
		利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	カウント数	取扱数	件数	人数	利用件数	利用件数	受付件数	件数	総数
		件	人	件	人	人	件	件	人	件	件	件	件	人
平成20年度		972	13,170	125	404	959	189	297	346	378	190	878	3,065	14,001
平成21年度		1,366	18,992	90	220	1,337	437	309	374	551	356	1,031	4,162	19,641
平成22年度		1,242	16,229	87	251	1,168	195	354	397	619	168	1,267	3,944	16,951
平成23年度		1,971	26,769	149	539	1,596	260	527	647	801	195	1,186	5,100	28,015
平成24年度		1,889	22,922	229	597	1,646	537	287	375	918	288	1,385	5,543	23,951
平成25年度		1,442	16,488	143	410	1,137	701	226	306	807	114	1,587	5,032	17,236
平成26年度		2,069	24,170	113	591	1,921	363	340	412	814	34	1,861	5,612	26,420
平成27年度		2,213	26,178	228	794	2,273	417	315	364	838	21	1,856	5,903	28,524
平成28年度		2,044	24,209	310	930	2,409	432	320	421	625	40	1,871	5,651	26,507
平成29年度		2,260	28,674	349	1,278	3,293	511	328	401	603	89	2,033	6,182	31,299
平成30年度		2,256	28,583	371	1,368	3,169	594	465	536	626	126	2,070	6,515	31,502
平成31年度		1,849	23,314	291	1,030	2,742	585	414	504	527	147	1,800	5,614	25,734
令和2年度		1,354	13,899	311	685	631	229	363	408	287	104	1,224	3,878	15,520
令和3年度		1,601	16,875	355	856	869	165	358	445	337	226	1,416	4,462	18,893
令和4年度		1,808	19,372	493	1,102	1,459	263	366	426	405	244	1,530	5,114	21,723
令和5年度		1,977	23,602	485	1,036	1,487	206	342	374	418	245	1,616	5,293	25,874
令和6年度		1,924	25,674	494	1,275	1,787	176	336	383	462	167	1,530	5,094	28,157
令和7年度	4月	155	1,960	37	131	149	11	34	35	62	30	106	436	2,293
	5月	150	2,218	36	200	180	45	33	33	45	17	132	458	2,518
	6月	169	2,062	42	79	121	14	31	41	31	15	100	402	2,232
	7月	152	1,851	46	105	123	5	26	36	33	12	153	427	2,046
	8月	146	2,447	31	73	102	6	30	38	25	10	111	359	2,597
	9月	161	1,980	34	103	141	10	36	43	43	14	144	442	2,199
	10月	187	2,278	33	81	145	4	33	38	42	8	131	438	2,453
	11月	173	2,434	21	53	147	5	28	29	23	10	125	386	2,579
	12月	139	1,949	25	179	165	3	28	34	13	10	113	331	2,185
	1月	145	1,888	20	69	83	9	35	36	24	7	131	371	2,037
	2月	148	1,801	22	52	85	7	31	31	21	11	96	336	1,919
	3月	166	2,297	43	118	145	3	43	49	50	10	125	440	2,541
令和7年度計		1,891	25,165	390	1,243	1,586	122	388	443	412	154	1,467	4,826	27,599
前年度比		98.3%	98.0%	78.9%	97.5%	88.8%	69.3%	115.5%	115.7%	89.2%	92.2%	95.9%	94.7%	98.0%
平成20年度～令和7年度総計		32,128	394,285	5,013	14,609	31,469	6,382	6,335	7,562	10,428	2,908	27,608	90,990	427,547
各年度の平均		1,785	21,905	279	812	1,748	355	352	420	579	162	1,534	5,055	23,753

※フリースペースの利用件数・人数は利用票提出分

※フリースペースのカウント数はスタッフによる定時見回り時ののべ人数

※平成29年度より、当センター事業分も貸室・フリースペースの利用件数・人数として集計

※平成26年度より、印刷機・パソコンの利用人数も集計

参考- 2 : 情報関連業務利用状況推移（平成20～令和7年度）

		印刷機		コピー機	パソコン	情報揭示					貸出図書		
		利用件数	枚数	利用枚数	利用件数	チラシ	団体パンフレット	ポスター	ニューズレター	計	登録者数	貸出件数	貸出冊数
		件	枚	枚	件	件	件	件	件	件	人	件	冊
平成20年度		378	218,318	4,767	190	496		105	277	878			
平成21年度		551	342,248	5,708	356	544		103	384	1,031	37	100	132
平成22年度		619	361,553	4,689	168	649		140	478	1,267	19	132	109
平成23年度		801	479,306	5,355	195	572		118	496	1,186	24	76	116
平成24年度		918	603,693	7,677	288	549	106	167	563	1,385	29	122	158
平成25年度		807	576,452	4,830	114	697	109	136	645	1,587	18	98	137
平成26年度		814	566,837	5,331	34	843	112	214	692	1,861	20	89	127
平成27年度		838	722,674	7,813	21	857	142	222	635	1,856	13	151	215
平成28年度		625	509,592	7,538	40	869	131	215	656	1,871	7	138	209
平成29年度		602	435,167	9,520	89	953	147	286	647	2,033	11	60	87
平成30年度		626	452,528	9,634	126	1,024	114	281	651	2,070	10	75	102
平成31年度		527	460,836	5,799	147	879	119	226	576	1,800	10	63	95
令和2年度		287	288,941	2,494	104	500	86	103	535	1,224	14	63	94
令和3年度		337	325,919	3,796	226	642	98	148	528	1,416	20	85	121
令和4年度		405	461,192	4,056	244	697	76	169	588	1,530	6	57	77
令和5年度		418	459,879	4,778	245	721	98	176	621	1,616	7	61	87
令和6年度		462	443,479	3,535	167	699	70	187	574	1,530	10	36	54
令和7年度	4月	62	121,957	138	30	46	7	15	38	106	0	2	2
	5月	45	33,874	141	17	60	9	16	47	132	1	5	7
	6月	31	35,853	750	15	42	6	13	39	100	0	6	8
	7月	33	24,896	138	12	69	10	24	50	153	0	4	5
	8月	25	18,376	413	10	50	8	20	33	111	2	3	5
	9月	43	39,790	249	14	70	9	24	41	144	3	4	7
	10月	42	26,610	566	8	68	9	15	39	131	0	1	1
	11月	23	31,018	206	10	50	5	22	48	125	1	2	3
	12月	13	11,389	126	10	43	8	18	44	113	0	3	5
	1月	24	18,711	544	7	64	5	13	49	131	1	4	6
	2月	21	12,907	461	11	51	3	16	26	96	0	3	5
	3月	50	59,549	296	10	57	9	7	52	125	0	3	5
令和7年度計		412	434,930	4,028	154	670	88	203	506	1,467	8	40	59
前年度比		89.2%	98.1%	113.9%	92.2%	95.9%	125.7%	108.6%	88.2%	95.9%	80.0%	111.1%	109.3%
平成20年度～令和7年度総計		10,427	8,143,544	101,348	2,908	12,861	1,496	3,199	10,052	27,608	263	1,446	1,979
各年度の平均		600	451,405	5,782	151	715	110	178	553	1,529	17	89	121

※平成24年度から、パソコンの利用件数は「作業」「インターネット」を分けずに集計する。
※平成24年度から、情報揭示の利用件数は新たに「団体パンフレット」を加える。

※平成21年6月開設

(2) 相談対応実績

1) 相談件数

①年度別比較

総 件 数 388 件 (月平均 32.3 件)

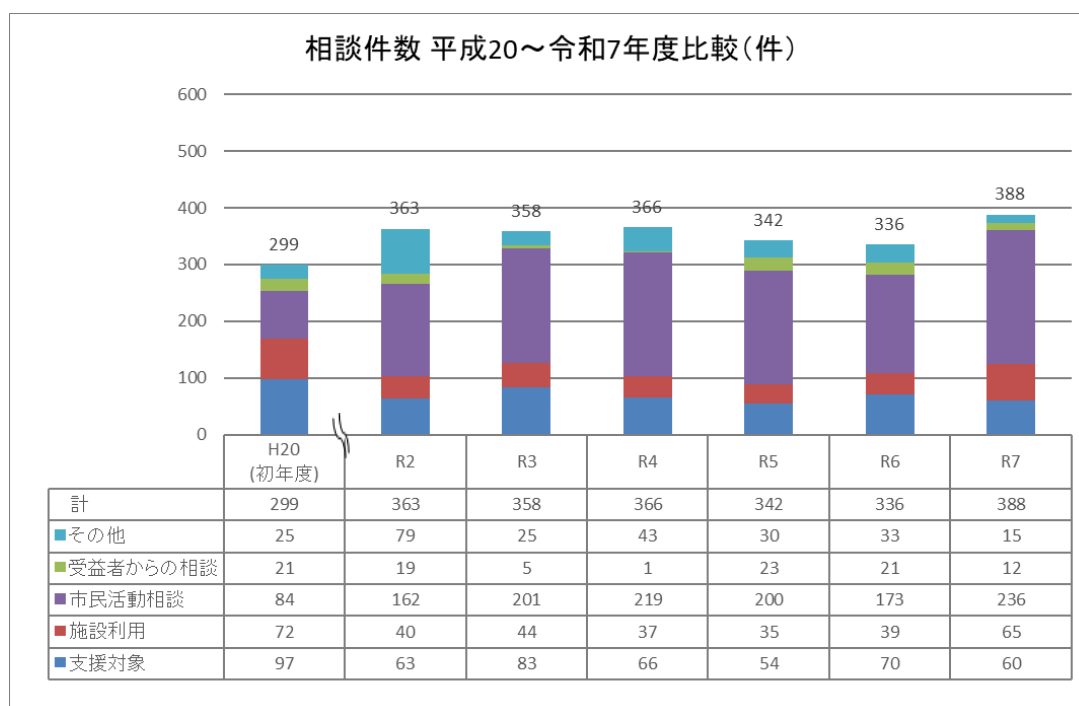
総対応時間 6,770 分 (1 件平均 17.4 分)

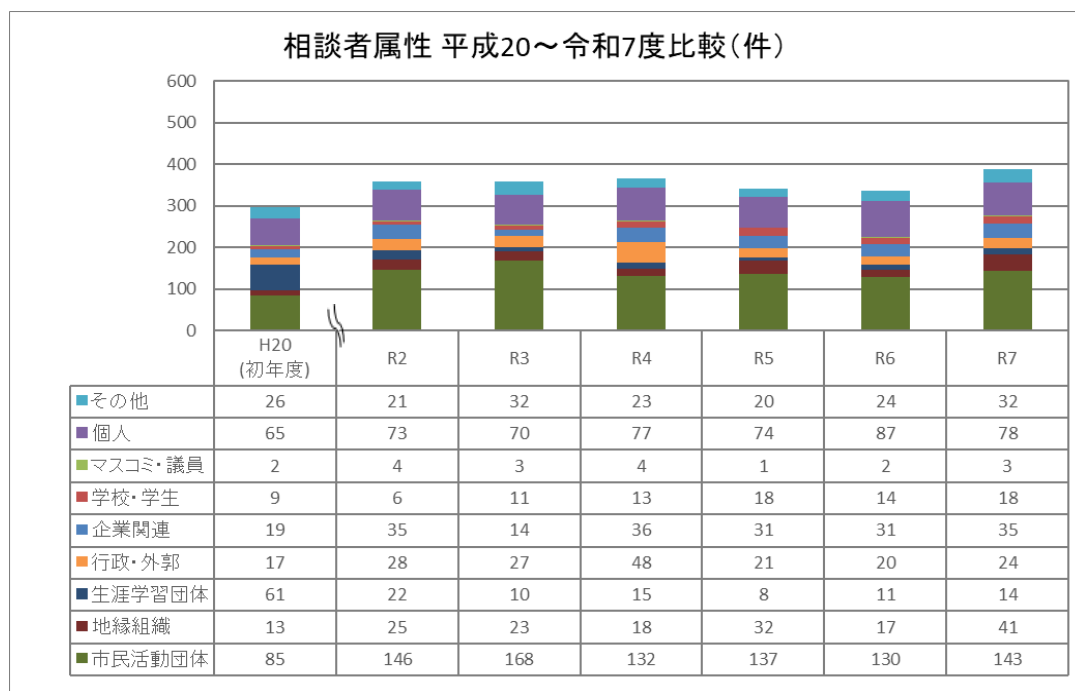
年間の総件数は前年度より 52 件増加して 388 件。コロナ禍（令和2年）以降で最も相談件数が多かった。コロナ禍以前の平成20年から平成31年までの平均 349 件と比較しても 39 件多い。

前年度比 1.7%（26 件増）と最も増加率が高かったのは施設利用相談。次に多かったのは市民活動相談で前年度比 1.4%（63 件増）。市民活動相談については、開館以降のピークである平成30年（266 件）について 2 番目に相談件数が多かった。

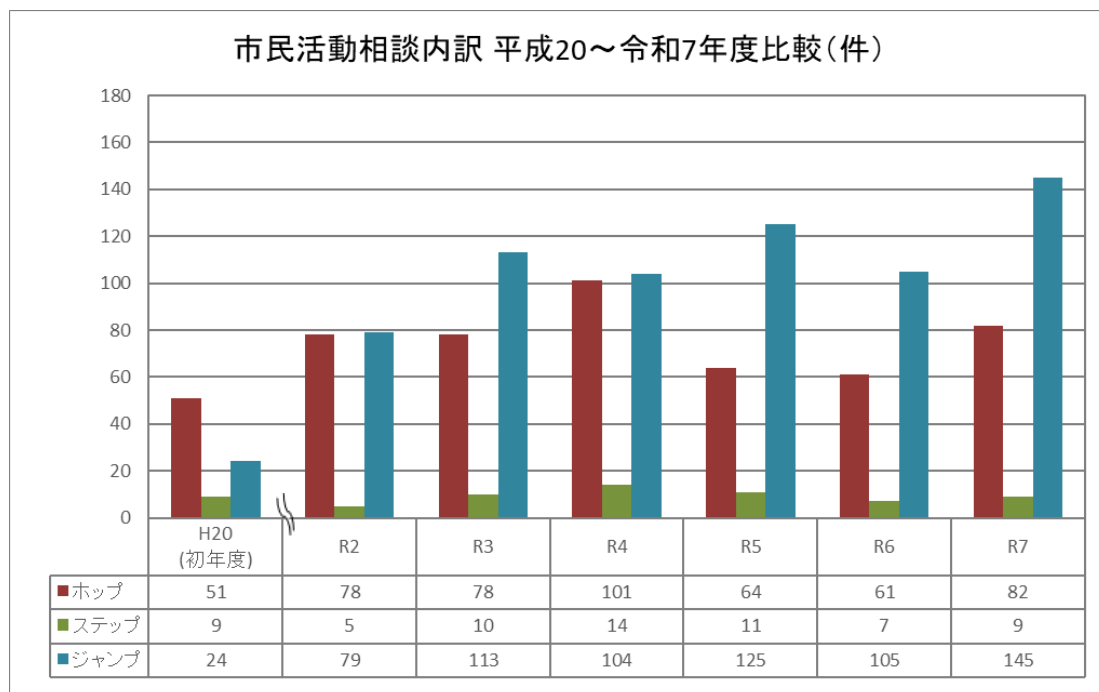
施設利用相談では、チラシやポスターの配架相談のほか、当センターの使い方の問い合わせ、会議室やフリースペースを使用した上映会やイベントなどの相談が増加。利用者が新たな取り組みを行う場として機能することができた。

また、アウトリーチによる課題の顕在化や団体とのコミュニケーションの増加もあり、活動の場、相談先として当センターの存在がさらに地域に広まったと推測する。相談者に占める初来館者数もここ数年で最も多かった。



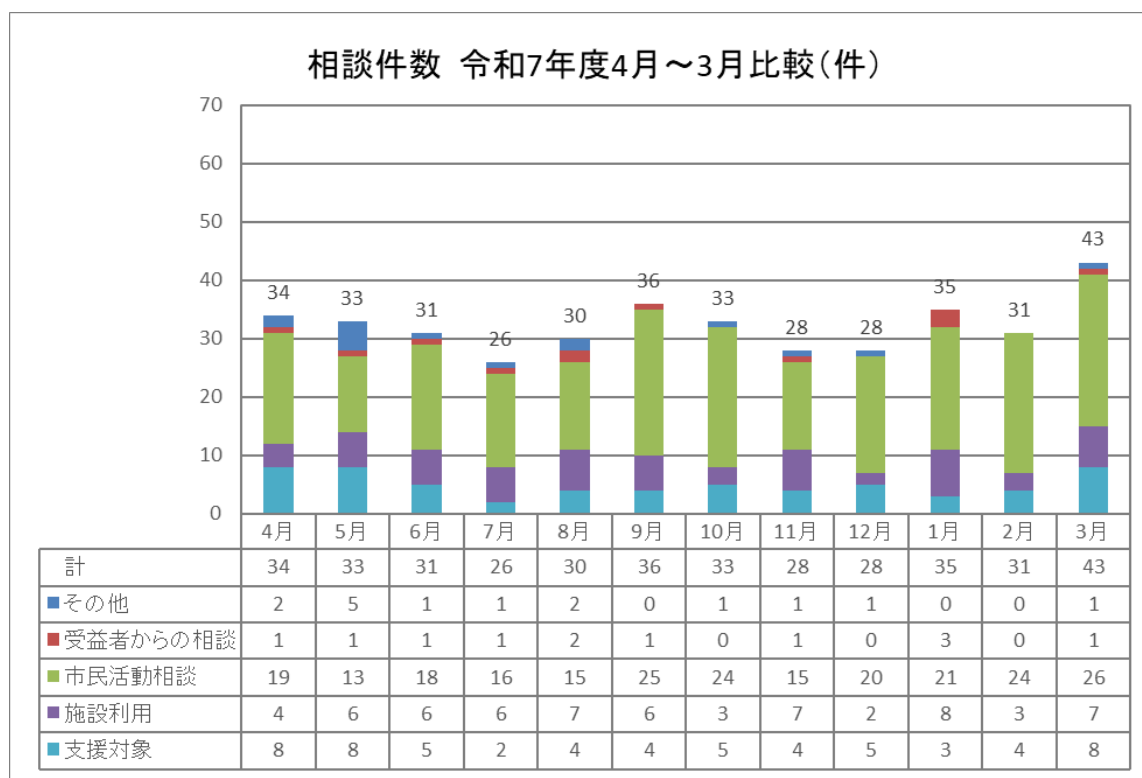


相談者属性は、例年通り市民活動団体が最も多く、次いで自治会・町内会からの相談が多かった。前年度比 241.1%（24 件増）と増加率が高かったのは自治会・町内会。居場所づくりやイベント実施に向けた相談があったほか、組織運営や子ども会、防災訓練や夏祭りなどについてなど細かにヒアリングを行ったことが要因に挙げられる。



市民活動相談の段階別件数は、ホップが前年度比 134.4%（21 件増）、ステップは前年度比 128.5.%（2 件増）、ジャンプは前年度比 138.1%（40 件増）となっている。市民活動相談のうち「ジャンプ」が全体の 61.4%を占めた。相談件数の割合は前年度とほぼ変わらない。

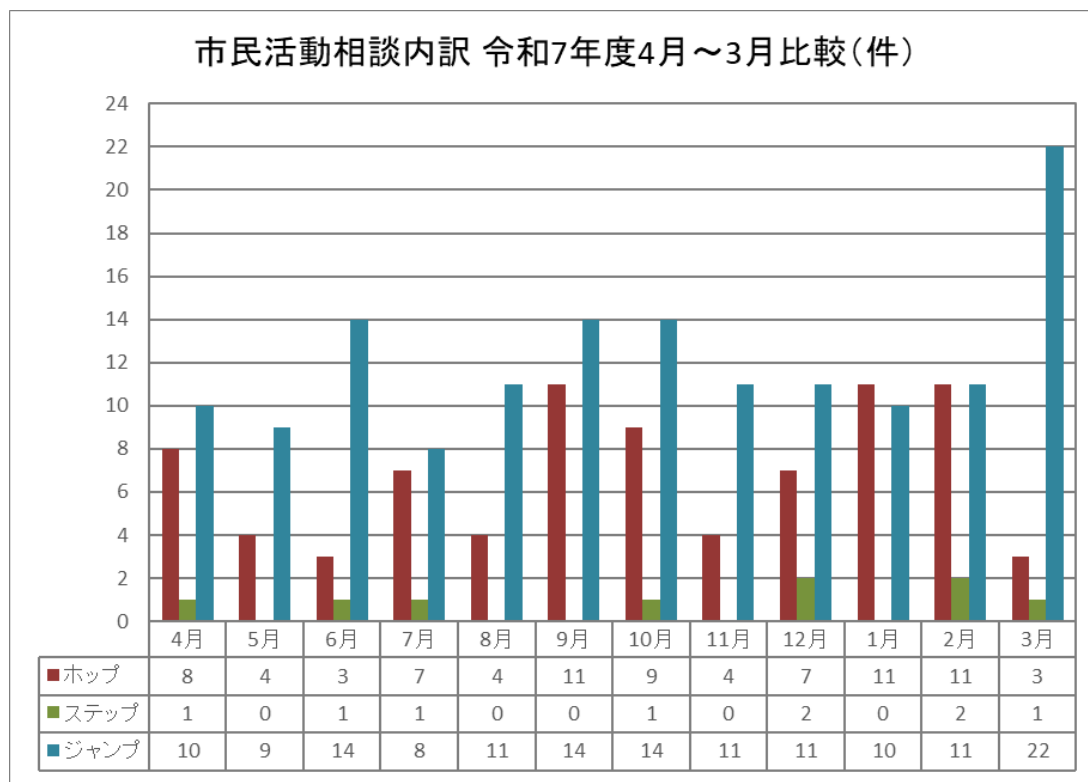
②月別比較



前年度は年度初め、上半期末、年末に相談件数が減る傾向にあったが、今年度は年度初め、上半期末が月平均を超えた。件数が増えた時期については、イベントなどの報告や、代表者などの運営メンバーの変更、活動の近況についてといった情報提供が多かった。

最も相談件数の多かった3月は、全体としては総会に向けた施設利用相談、次年度や春休みに向けたイベントの相談、今後の団体運営についての情報提供など、時期ならではの相談が多かった。

相談件数の少なかった7月にあった相談内容としては、夏祭り、秋開催のイベントに向けた相談のほか、大学生や当センター次世代向け事業の参加者、前年度からイベント開催に向け伴走支援を行っていた高校生など若い世代からの相談も多かった。



市民活動の相談内訳としては、ホップは9、1、2月の11件、ステップは12、2月の2件、ジャンプは3月の22件が最多であった。

ホップについて、9月は活動を始めようとする人から情報収集という視点での団体情報の問い合わせや相談が多かった。1月は講師紹介の依頼、2月は物品の寄贈・寄付の相談や、ボランティア・団体情報の問い合わせなど、活動への参加を考える人からの相談が多く見られた。

ステップの12月は、雑貨市や防災人といった当センターの事業への参加者からの相談があった。2、3月は活動に興味のある人に継続的に相談対応を行い、任意団体の立ち上げ相談に展開している。

3月のジャンプは、イベント運営や広報に関する相談、活動や地域の現状についての情報提供、活動終了の報告、多賀城市で活動を始めようとしている団体からの施設見学依頼などがあった。

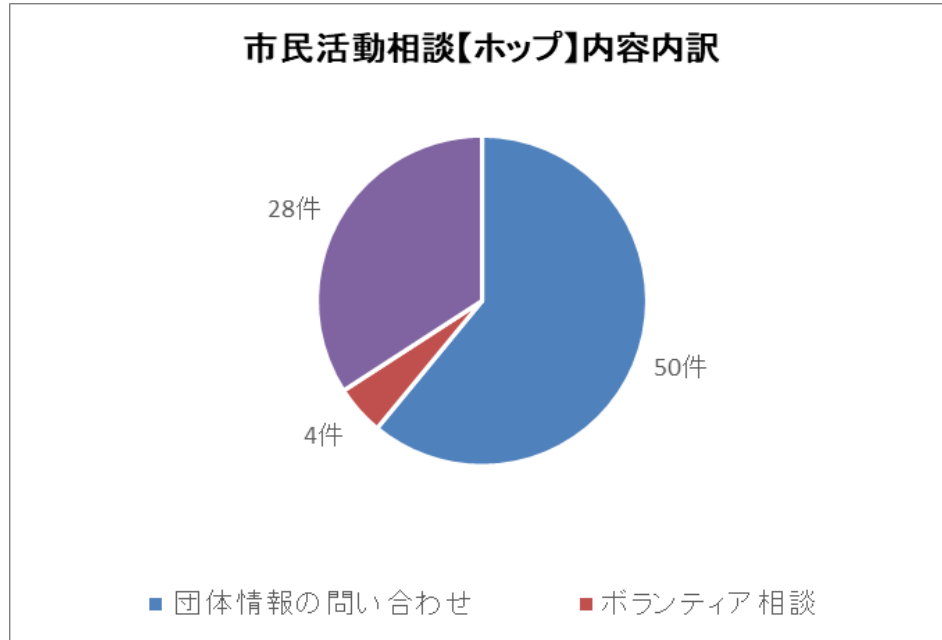
次ページ以降、市民活動相談のホップ・ステップ・ジャンプの各々の相談内容について記載する。

2) 市民活動相談内訳

①ホップ

…NPO 基礎情報、ボランティア相談、市民活動団体の情報提供など

市民活動相談 236 件の内、ホップ 82 件 (34.7%)



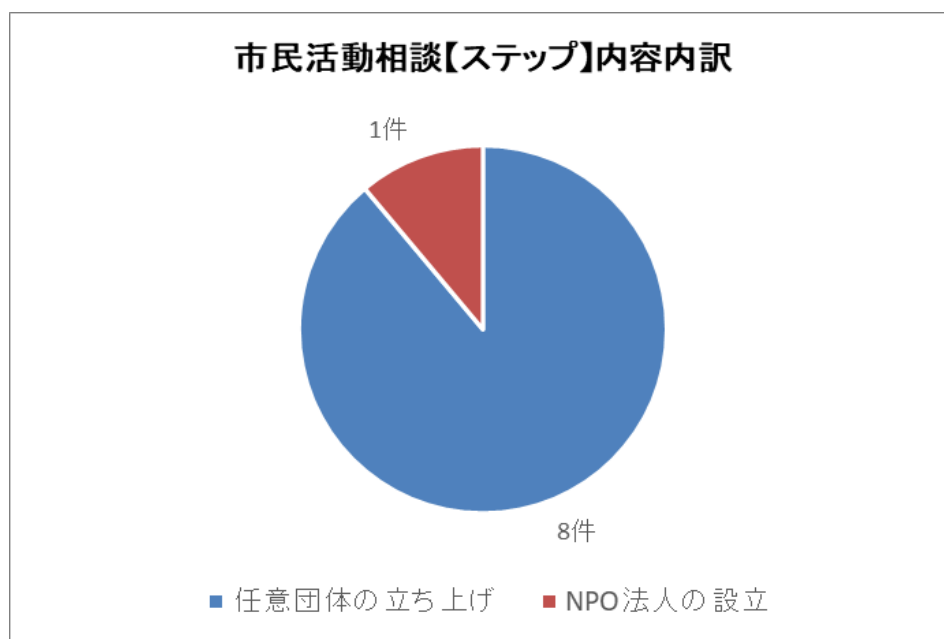
「ホップ」の相談では、個人からの団体情報の問い合わせが 50 件と最も多かった。前年度と比較しても、団体情報の問い合わせとその他の割合が増えている。

その他に当たる相談の内容としては、町内会・自治会からの防災訓練などに関する情報提供や相談、個人からの活動への参加やボランティア、寄付をするにあたっての相談が多かった。当センター事業参加者への活動状況のヒアリングや相談対応も行った。

②ステップ

…任意団体立ち上げやNPO法人化に関する相談

市民活動相談 236 件の内、ステップ 9 件 (3.8%)



「ステップ」の相談内容は、活動を始めたいという個人からの相談、団体の法人化についての相談があった。

令和7年度 立ち上げ相談を行った団体・活動 (6 件／活動)

No	団体・活動名	活動内容	相談の経緯
1	個人	食育団体の立ち上げ相談	NPO いちから塾参加者
2	企業	環境団体の立ち上げ相談	ホームページから・初来館
3	個人	動物愛護・啓発活動の団体の相談	イベントから・初来館
4	個人	親子向け支援団体立ち上げ相談	その他 (ChatGPT)・初来館
5	個人	子ども食堂の立ち上げ相談	口コミ・初来館
6	個人	当事者交流の場づくりの相談	雑貨市来館者・初来館

令和7年度 団体の法人化のサポート (1 件)

No	団体・活動名	活動内容	相談の経緯
1	個人	地域猫に関する NPO 法人	NPO 法人の立ち上げ相談

相談事例 立ち上げ・法人化支援

①地域猫活動の法人化の相談事例

概要：TNRを持続可能な活動にするために、社会全体の課題と捉え仕組み化する必要性を感じている。自治体、企業、地域住民等との連携を図るため、安定した活動資金を確保するためにもNPO法人の立ち上げを検討していると相談があった。

支援内容：相談者の企画書を確認し、啓蒙や猫活動だけにとられない目的の書き方などアドバイスを行った。県内相談会の開催など情報提供も行った。

②子どもが気軽に立ち寄り食事ができる場の立ち上げ相談事例

概要：朝食を食べていない子どもたちが多いと聞き、そんな子どもが気軽に訪れ、登校前に朝食を食べられる機会を作りたいと相談があった。

支援内容：メンバーの集め方や活動資金を含め活動のイメージを膨らませるため、市民活動お役立ち情報と、近隣の子ども食堂や親子支援を行っている団体の活動を紹介。また、同じく市内で子ども食堂を立ち上げたばかりの団体とつないだ。

③乳がん当事者の情報交換・交流の場の立ち上げ相談事例

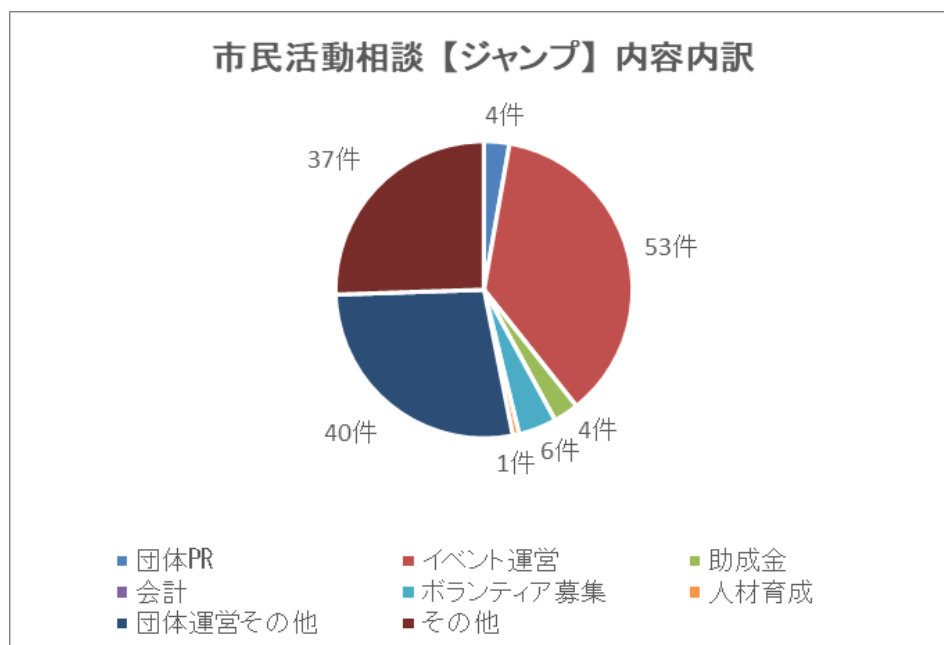
概要：雑貨市をきっかけに来館した個人から、制作した雑貨の委託販売や出店ができる場の問い合わせがあった。乳がんの啓発活動を兼ねた販売を考えおり、市内には当事者の情報交換の場がないことも話していた。

支援内容：啓発を目的とした雑貨販売に焦点を当てていたところから、ヒアリングを重ねる中で相談者自身が情報交換の場をつくることもできると気づきがあったよう。試験的な場として当事者の交流カフェ開催に展開し、会の作りや対象など継続対応を行っている。

③ジャンプ

…資金調達、広報など団体運営に関する相談

市民活動相談 236 件の内、ジャンプ 145 件（61.4%）



「ジャンプ」の相談では、イベント運営に関する相談が 53 件と最も多かった。市民活動相談全体の中でも、イベント運営に関する相談の占める割合が 22.5%と最も高い。前年度と比較すると、内容内訳の割合にあまり変化はなく、全体的に件数が増加している。

相談内容としては、NPO つながり支援事業のアフターフォローや継続しての相談対応、イベントの運営や団体の PR、助成金など、団体運営全般にわたる内容の相談が多かった。また、町内会からの、他の地区との交流の機会がほしいという相談や、雑貨市に来館した市民活動団体から機会があればきつずボランティア講座などに協力したいなど、当センター事業に関する相談も寄せられた。

当センターの情報紙で取り上げた団体やインキュベート相談会の参加団体、イベントの伴走支援をした団体からの、成果や効果の報告もあり、継続的な相談対応が相談者の活動の広がりにつながった様子も見受けられた。

その他にあたる相談の内容としては、高校や大学からの協力の依頼や、企業からの寄付の相談、団体からの情報共有が多かった。

参考-3: 相談対応推移(平成20～令和7年度)

件数、人数、属性など		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7												計		総計
		計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	総計	
相談件数(件)		299	310	354	527	287	226	340	315	320	328	465	414	363	358	366	342	336	34	33	31	26	30	36	33	28	28	35	31	43	388	6,338	
開館日(日)		253	305	289	306	306	304	306	306	307	305	306	307	305	304	307	307	306	25	27	26	26	27	26	26	26	23	23	24	27	306	5,435	
件数平均(件/日)		1.2	1.0	1.2	1.7	0.9	0.7	1.1	1.0	1.0	1.1	1.5	1.3	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	1.4	1.2	1.2	1.0	1.1	1.4	1.3	1.1	1.2	1.5	1.3	1.6	1.3	1.2	
人数(人)		348	374	386	645	375	307	377	357	421	401	536	504	408	445	426	374	383	35	33	41	36	38	43	38	29	34	36	31	49	443	7,510	
対応時間計(分)		5,558	6,345	7,434	10,476	7,664	5,412	7,593	7,182	8,209	8,499	11,110	9,334	6,513	7,851	8,082	7,332	6,127	585	490	850	455	423	830	539	380	415	413	490	900	6,770	137,491	
対応時間平均(分/件)		22.0	20.8	25.7	34.2	25.0	17.8	24.8	23.5	26.7	27.9	36.3	30.4	21.4	25.8	26.3	23.9	20.0	23.4	18.1	32.7	17.5	15.7	31.9	20.7	14.6	18.0	18.0	20.4	33.3	22.1	25.3	
対応時間平均(分/件)		18.7	20.5	21.0	19.9	26.7	22.5	22.1	23.1	25.5	25.9	23.9	22.5	17.9	21.9	22.1	21.4	18.2	17.2	14.8	27.4	17.5	14.1	23.1	16.3	13.6	14.8	11.8	15.8	20.9	17.4	21.7	
対面	件数(件)	235	235	267	322	187	152	213	224	224	211	303	275	220	221	235	198	191	23	16	23	18	24	23	24	18	22	23	15	23	252	4,165	
	対応時間計(分)	4,858	5,789	6,572	8,463	6,481	4,585	6,295	6,165	5,984	7,279	9,055	7,535	5,256	6,172	6,743	5,616	4,627	480	305	765	320	387	715	442	265	355	298	322	680	5,334	112,809	
	対応時間平均(分/件)	20.7	24.6	24.6	26.3	34.7	30.2	29.6	27.5	26.7	34.5	29.9	27.4	23.9	27.9	28.7	28.4	24.2	20.9	19.1	33.3	17.8	16.1	31.1	18.4	14.7	16.1	13.0	21.5	29.6	21.2	27.1	
	件数(件)	58	67	81	195	87	72	119	99	88	105	137	115	126	126	110	126	123	10	15	8	7	5	12	7	10	5	11	14	17	121	1,955	
電話	対応時間計(分)	605	501	656	1,944	1,008	812	1,262	1,007	2,050	1,076	1,875	1,399	1,096	1,274	1,013	1,503	1,287	100	170	85	130	30	110	95	115	55	110	153	190	1,343	21,711	
	対応時間平均(分/件)	10.4	7.5	8.1	10.0	11.6	11.3	10.6	10.2	23.3	10.2	13.7	12.2	8.7	8.7	9.2	11.9	10.5	10.0	11.3	10.6	18.6	6.0	9.2	13.6	11.5	11.0	10.0	10.9	11.2	11.1	11.1	
	件数(件)	4	7	6	9	13	2	8	2	8	12	25	24	17	10	21	18	22	1	2	0	1	1	1	2	0	1	1	2	3	15	223	
	対応時間計(分)	95	55	206	39	175	15	36	10	175	133	180	400	161	405	326	213	213	5	15	0	5	6	5	2	0	5	5	15	30	93	2,930	
相談者属性	市民活動団体(件)	85	82	106	155	99	80	93	106	110	110	167	169	146	168	132	137	130	17	12	10	6	12	14	8	9	12	10	15	18	143	2,218	
	自治会・町内会(件)	13	14	25	18	27	18	31	28	14	21	30	41	25	23	18	32	17	3	2	7	2	4	2	7	3	2	1	2	6	41	436	
	生涯学習団体(件)	61	31	39	59	11	8	23	23	12	14	25	32	22	10	15	8	11	0	0	2	0	0	1	0	0	3	3	1	4	14	418	
	行政・外郭(件)	17	16	25	24	23	26	27	32	22	28	44	36	28	27	48	21	20	1	5	0	2	2	3	0	2	0	4	3	2	24	488	
	企業関連(件)	19	24	30	56	23	13	24	22	44	28	51	31	35	14	36	31	31	5	4	3	4	3	0	4	3	4	3	0	2	35	547	
	学校・学生(件)	9	7	9	19	11	2	11	5	10	27	18	19	6	11	13	18	14	0	1	3	5	3	3	0	0	1	0	1	1	18	227	
	マスコミ・議員(件)	2	2	2	7	2	2	2	2	2	2	2	4	1	4	3	4	1	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3	47	
	個人(件)	65	88	81	127	62	51	90	64	63	60	100	64	73	70	77	74	87	5	4	5	4	4	8	10	8	5	10	9	6	78	1,374	
その他(件)	26	45	33	62	30	25	32	33	43	38	26	21	21	32	23	20	24	2	5	1	3	1	5	4	3	1	4	0	3	32	566		
初来館	初来館者(人)	126	97	99	165	88	79	96	64	88	70	76	76	43	59	50	45	34	4	7	6	4	4	8	6	6	6	4	4	7	66	1,421	
	どこで知ったか	公共施設(人)	37	23	34	46	16	23	24	16	12	17	15	13	4	12	7	6	2	0	1	1	0	0	0	1	1	2	0	1	0	7	314
		口コミ(人)	14	15	8	24	18	14	25	9	18	27	22	20	9	8	6	8	3	1	4	0	1	2	4	1	0	2	1	0	0	16	264
		SDホームページ(人)	11	15	24	29	21	19	25	16	24	6	9	8	12	18	19	14	11	1	1	2	1	0	3	2	0	2	3	2	2	19	300
		その他(人)	64	44	33	66	33	23	22	23	34	20	30	35	18	21	18	17	18	2	1	3	2	2	1	2	5	0	0	1	5	24	543
2. 相談内容の内訳																																	
(1) 支援対象について																																	
相談件数(件)		97	99	94	163	73	57	100	76	105	81	83	85	63	83	66	54	70	8	8	5	2	4	4	5	4	5	3	4	8	60	1,509	
対応時間(分)		1,217	1,185	1,003	1,857	855	727	1,221	860	1,354	1,113	1,065	1,097	615	905	688	497	688	110	90	40	25	50	50	32	35	65	35	40	75	647	17,594	
対応時間平均(分/件)		12.5	12.0	10.7	11.4	11.7	12.8	12.2	11.3	12.9	13.7	12.8	12.9	9.8	10.9	10.4	9.2	9.8	13.8	11.3	8.0	12.5	12.5	12.5	6.4	8.8	13.0	11.7	10.0	9.4	10.8	11.7	
利用目的	貸室(件)	77	69	62	116	59	37	71	56	81	62	53	58	49	69	51	42	44	4	7	2	1	0	2	2	3	4	3	4	5	37	1,093	
	印刷室(件)	9	16	27	19	5	10	15	6	9	6	5	3	3	4	4	2	6	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	3	152
	チラシ(件)	6	10	4	9	6	6	10	11	14	5	21	21	11	9	7	8	18	3	1	3	1	3	0	1	1	1	0	0	2	16	192	
	ポスター(件)	2	0	1	4	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
	その他(件)	3	4	0	5	3	4	2	3	2	8	3	2	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	46
3. 施設利用相談																																	
「施設利用相談」(件)		72	25	46	60	13	11	29	42	27	22	43	68	40	44	37	35	39	4	6	6	6	7	6	3	7	2	8	3	7	65	718	
対応時間(分)		866	270	599	643	136	170	296	655	415	270	545	920	550	525	323	300	404	50	50	80	45	92	40	20	55	30	48	22	45	577	8,464	
対応時間平均(分/件)		12.0	10.8	13.0	10.7	10.5	15.5	10.2	15.6	15.4	12.3	12.7	13.5	13.8	11.9	8.7	8.6	10.4	12.5	8.3	13.3	7.5	13.1	6.7	6.7	7.9	15.						

(3) 情報提供

1) 団体情報ファイル・団体紹介シート

①団体情報ファイル

団体情報ファイルには、団体ごとに団体紹介シート、パンフレット、チラシ、定款・会則、予算書、決算書、事業計画書、報告書などをファイリングしている。

このファイルは、団体の運営・事業の参考となる情報源であり、新規団体立ち上げの先行事例としても紹介できるものである。また、受益者がサービスを受ける場合や、市民がボランティアとして活動に参加する場合にも活用できる。

団体情報ファイルは、全国の活動団体の情報を「二市三町」「県内」「県外」のジャンルごとに分けてファイリングしており、利用者は館内で自由に閲覧できる。

今年度末現在、ファイリングしている総団体数は 2,358 団体。27 団体の追加があった（前年度の追加は 30 団体。前年比 90.0%）。

「二市三町」の団体数は、367 団体で、今年度は 6 団体の追加があった（前年度の追加は 9 団体。前年比 66.7%）。継続して相談対応を行い、イベントの実施に至った団体や立ち上げの伴走支援を行った団体のほか、事業で関わりを深めた団体や施設の利用が団体紹介シートの提出につながった団体も多く見られた。

分野別の特徴としては、福祉関連の団体（7 件）、子どもの支援を行う団体（5 件）などが増加した。

次年度以降も、収集した情報を市民が活用しやすいよう発信するとともに、団体の活動のアーカイブとしても機能できるようにしていく。

令和 7 年度多賀城市市民活動サポートセンター年間事業報告書

団体情報ファイル数（単位：団体） ※二市三町：多賀城市・塩竈市・七ヶ浜町・利府町・松島町

分野 \ エリア	二市三町	県内	県外	合計	キーワード
福祉	31	158	64	253	障がい者支援、高齢者支援、移送サービス、配食サービス、地域福祉
医療・保健・健康	16	63	98	177	健康、医療、難病支援、カウンセリング、自殺予防、保健、依存症
スポーツ	24	23	4	56	スポーツ振興
人権・ジェンダー	11	58	54	123	平和、貧困支援、労働問題、人権、男女共同参画、DV、マイノリティ、ジェンダー、ひきこもり
子どもの育成・支援	55	126	93	274	子育て、青少年健全育成、障がい児支援、学習支援、児童虐待、不登校、母子・父子家庭支援
社会教育	18	19	23	60	生涯学習
環境	15	115	96	226	自然保護、環境保全、リサイクル、農業・林業・漁業・食育、動物・ペット、エネルギー
まちづくり	61	177	126	364	まちづくり、地域づくり、コミュニティ形成、地域おこし、観光
災害救援・地域安全	6	30	30	66	災害救援、被災者支援、地域防災・安全
国際交流・協力	8	37	66	111	国際交流、国際協力、在日外国人支援、フェアトレード
文化・芸術	81	147	57	285	文化振興、文学、音楽、映画、演劇、アート、歴史、伝統文化、ミニコミ出版、芸術、工芸
シニア	3	14	5	22	団塊世代、セカンドライフ
市民活動支援	2	29	201	232	市民活動団体支援、助成活動
その他	2	32	36	70	オンブズマン、政策提案、消費者保護、科学技術、職能開発、コミュニティビジネス、その他
地域組織	29	7	3	39	自治会、町内会、地域自主組織、まちづくり協議会、老人クラブ、子ども会
合計	367	1,035	956	2,358	

分野別団体情報ファイル経年変化（単位：団体）

分野	年度	H20 (初年度)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6→R7 増減
福祉		52	237	237	241	242	246	253	+7
医療・保健・健康		34	162	164	166	169	174	177	+3
スポーツ			51	53	54	55	56	56	±0
人権・ジェンダー		20	112	116	117	118	121	123	+2
子どもの育成・支援		57	255	262	265	266	269	274	+5
社会教育			55	55	55	58	59	60	+1
環境		32	209	214	220	222	223	226	+3
まちづくり		47	342	349	355	359	361	364	+3
災害救援・地域安全			58	63	66	66	66	66	±0
国際交流・協力		19	108	109	110	111	111	111	±0
文化・芸術		22	267	270	274	275	283	285	+2
シニア		8	20	21	22	22	22	22	±0
市民活動支援		47	225	228	228	229	231	232	+1
その他		19	68	70	70	70	70	70	±0
地域組織			33	36	37	39	39	39	±0
合計		357	2,192	2,247	2,280	2,301	2,331	2,358 前年度比： 101.2%	+27

※地域組織は平成 22 年度より集計開始

二市三町分野別団体情報ファイル経年変化(単位:団体)

分野	年度	H20 (初年度)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R6→R7 増減
福祉		4	21	26	28	27	29	31	+2
医療・保健・健康		3	13	14	15	15	16	16	±0
スポーツ			25	27	27	28	29	29	±0
人権・ジェンダー		0	8	10	10	11	11	11	±0
子どもの育成・支援		6	49	52	53	54	54	55	+1
社会教育			16	16	16	18	18	18	±0
環境		6	10	11	11	13	14	15	+1
まちづくり		8	53	56	57	59	59	61	+2
災害救援・地域安全			4	5	6	6	6	6	±0
国際交流・協力		5	9	9	9	8	8	8	±0
文化・芸術		1	74	76	77	77	81	81	+0
シニア		0	2	2	3	3	3	3	±0
市民活動支援		1	2	2	2	2	2	2	±0
その他		0	2	2	2	2	2	2	±0
地域組織			28	26	27	29	29	29	±0
合計		34	316	334	343	352	361	367 前年度比: 101.7%	+6

エリア別団体情報ファイル経年変化(単位:団体)

エリア	年度	H20 (初年度)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	前年比	R6→R7 増減
二市三町		34	316	334	343	352	361	367	101.7%	+6
県内		188	961	980	997	1,002	1,018	1,035	101.7%	+17
県外		135	915	933	940	947	952	956	100.4%	+4
合計		357	2,192	2,247	2,280	2,301	2,331	2,358	101.2%	+27

②団体紹介シート

市民活動団体の情報発信を支援する独自の当センター独自のツール。団体の連絡先、設立経緯、目的、活動内容、アピールポイントなどを記入するもの。提出された団体紹介シートは団体情報ファイルにファイリングするとともに、当センターのウェブサイト上で公開しており、市民が自由に閲覧できる。今年度末現在、63団体の団体紹介シートを公開している。

団体情報シート数（単位：団体） ※二市三町：多賀城市・塩竈市・七ヶ浜町・利府町・松島町

分野	二市三町	県内	県外	合計	キーワード
福祉	5	6	0	11	障がい者支援、高齢者支援、移送サービス、配食サービス、地域福祉
医療・保健・健康	1	0	0	1	健康、医療、難病支援、カウンセリング、自殺予防、保健、依存症
スポーツ	1	3	0	4	スポーツ振興
人権・ジェンダー	3	0	0	3	平和、貧困支援、労働問題、人権、男女共同参画、DV、マイノリティ、ジェンダー、ひきこもり
子どもの育成・支援	7	4	0	11	子育て、青少年健全育成、障がい児支援、学習支援、児童虐待、不登校、母子・父子家庭支援
社会教育	9	1	0	10	生涯学習
環境	0	0	0	0	自然保護、環境保全、リサイクル、農業・林業・漁業・食育、動物・ペット、エネルギー
まちづくり	6	5	0	11	まちづくり、地域づくり、コミュニティ形成、地域おこし、観光
災害救援・地域安全	0	0	0	0	災害救援、被災者支援、地域防災・安全
国際交流・協力	1	1	0	2	国際交流、国際協力、在日外国人支援、フェアトレード
文化・芸術	7	1	0	8	文化振興、文学、音楽、映画、演劇、アート、歴史、伝統文化、ミニコミ出版、芸術、工芸
シニア	0	0	0	0	団塊世代、セカンドライフ
市民活動支援	0	1	0	1	市民活動団体支援、助成活動
その他	0	0	0	0	オンブズマン、政策提案、消費者保護、科学技術、職能開発、コミュニティビジネス、その他
地域組織	1	0	0	1	自治会、町内会、地域自主組織、まちづくり協議会、老人クラブ、子ども会
合計	41	22	0	63	

2) ウェブサイト・ブログ・X

①ウェブ사이트・ブログについて

		ウェブサイト	ブログ		
		訪問者数	訪問者数	ページビュー	記事数
平成 21 年度(初年度)		9,777	15,889	—	74
令和 2 年度		12,693	38,204	—	214
令和 3 年度		15,038	46,321	—	225
令和 4 年度		14,040	41,381	—	222
令和 5 年度		15,960	44,162	—	232
令和 6 年度		20,923	60,950	588,623	213
令和 7 年度	4 月	1,763	3,763	64,214	18
	5 月	1,783	3,834	44,328	16
	6 月	1,817	3,257	22,053	19
	7 月	1,735	5,850	23,438	18
	8 月	1,832	18,629	30,865	18
	9 月	2,160	9,578	20,885	20
	10 月	1,921	11,351	26,220	20
	11 月	2,064	21,160	43,915	24
	12 月	2,132	7,934	21,105	19
	1 月	1,752	3,706	9,312	14
	2 月	1,670	3,061	30,125	18
	3 月	1,940	4,169	11,148	18
令和 7 年度計		22,569	96,292	347,608	222

ウェブサイト：平成 21 年 12 月 25 日開設

ブログ：平成 20 年 7 月 19 日開設

ウェブサイトは主に当センターの機能や事業を、ブログは主に市内外の市民活動に関わる取り組みやノウハウ、地域イベント等を発信している。

※訪問者数比較

前年度比：ウェブサイト 107.9%
ブログ 158.0%

積極的な情報発信を心がけ、ウェブサイト、ブログともに訪問者を増やすことができた。特にブログでは、曜日ごとに発信内容を変えて定期的に情報を発信した。

ブログ訪問者の 8～9 割はブックマークをしている人であり、当センター事業に対して関心を持つ市民、ブログを通じて市民活動や地域の情報を得ようとしている市民であると考えられる。

当センター事業の告知や報告の記事の閲覧数が多い傾向にあり、雑貨市関連の投稿が増えた 11 月のアクセスが増加した。また、市内の町内会の夏まつりのレポートを多く紹介した 8 月～10 月もアクセスが増加した。

②Xについて 平成 23 年 9 月 1 日開設

ブログ更新や当センター事業の告知で活用し、フォロワーに対して広く当センターの情報を届けることができた。今後も継続して各事業とも連携し、講座やイベントの様子を発信など、多様な地域の情報の発信をしていく。

	フォロワー数
令和 7 年 3 月	2,091 人
令和 8 年 3 月	2,090 人 (-1)

3) たがさぽ文庫

たがさぽ文庫は、情報サロン内にある市民活動、NPO、地域活動などに関する書籍を集めた図書貸出コーナーとして平成21年6月1日より開始した。

広報、会計、労務など団体マネジメントに関する書籍、市民活動の入門となる書籍、各分野（福祉・まちづくり・子ども等）の専門書、活動の参考になるハウツー書籍をそろえている。また、NPOに関する絵本や震災関連の資料なども収集している。

蔵書数 1,424冊（令和8年3月末現在）
※令和7年度：40冊増

登録者計 263人

概要 事前登録により、貸出カードを発行
1人2冊まで、貸出期間は2週間



令和7年度書籍貸出件数

		貸出図書		
		登録者数	貸出件数	貸出冊数
		人	件	冊
平成21年度（初年度）		37	100	132
令和2年度		14	63	94
令和3年度		20	85	121
令和4年度		6	57	77
令和5年度		7	61	87
令和6年度		10	36	54
令和7年度	4月	0	2	2
	5月	1	5	7
	6月	0	6	8
	7月	0	4	5
	8月	2	3	5
	9月	3	4	7
	10月	0	1	1
	11月	1	2	3
	12月	0	3	5
	1月	1	4	6
	2月	0	3	5
	3月	0	3	5
令和7年度計		8	40	59

登録者数：8人（前年比80.0%）
貸出件数：40件（前年比111.1%）
貸出冊数：59件（前年比109.3%）

貸出件数と貸出冊数において前年度を上回ることができた。当センター事業の講座・イベントで書籍を展示した際など、利用の促進や機能を周知する機会を設けたことが要因としてあげられる。一方で新規登録者数は10人未満となり、貸出図書の周知もより必要である。

次年度は、ブログでのブックレビューや1階展示スペースで新入荷図書の紹介展示を行い、貸出図書の周知、利用促進をさらに強化していく。また、地域・社会課題の解決のヒントになる資料、活動を始めたい人の参考になるような資料をそろえ、市民にさまざまな情報を提供していく。

(4) 場の提供

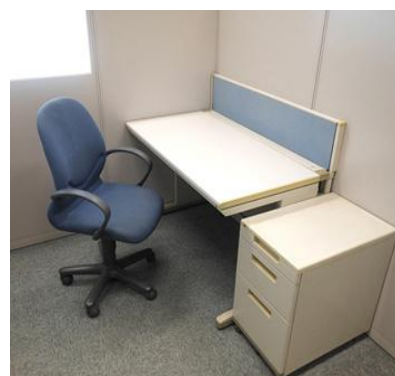
1) 事務用ブース利用状況／事務用ブース入居団体インキュベート相談

①事務用ブース入居状況（令和 8 年 3 月 31 日現在）

ブース	団体名	入居年月
1	高崎こども食堂らっこ広場	令和 4 年 6 月入居
2	一般社団法人 Golazo	令和 5 年 6 月入居
3	旭ヶ岡町内会	令和 5 年 2 月入居
4	多賀城イングリッシュ・サポーターズ	平成 29 年 6 月入居
5	宮城県学童保育連絡協議会	平成 30 年 9 月入居
6	ドリーム Jr.	令和 7 年 2 月入居
7	傾聴の会多賀城	令和 3 年 2 月入居
8	生涯学習 100 年構想実践委員会	平成 28 年 9 月入居

②事務用ブース入居団体インキュベート相談会について

事務用ブース入居 6 ヶ月後に団体の担当者と当センタースタッフで 1 団体あたり 1 時間程度の相談会を実施。現在ブースは満室となっており、入居団体 8 団体の 7 団体が入居期間 3 年を超えている。新たに入居を検討しているという団体からの問い合わせも多いことから、今年度はブース設置の目的の再確認や運用方法の見直しを行った。それを踏まえ今年度の相談会では、ブース退去も見据えた入居団体の継続的な活動へ向けたアドバイスに重点を置いた。また、新しい財源の確保を考える団体への申込方法のアドバイスや、広報に課題を持つ団体に声がけ先の提案など行い、団体からは新たな気付きを得たなどの声も挙がった。従来の運営に変化が必要な団体も多いなか、新規事業で会員が増えた団体や、事務環境のコンパクト化を検討する団体など、新たな動きも生まれている。他団体や企業等との連携を深め、課題の解決や活動の幅を広げる動きも見受けられた。



事務用ブース

③インキュベート相談会実施状況

団体名	日 時	参加者
傾聴の会多賀城	令和 7 年 8 月 18 日（月）14:00～15:00	2 人
ドリーム Jr.	令和 7 年 8 月 18 日（月）16:00～17:00	2 人
旭ヶ岡町内会	令和 7 年 8 月 21 日（木）15:30～16:30	2 人
多賀城イングリッシュ・サポーターズ	令和 8 年 1 月 23 日（金）16:30～17:30	1 人
高崎こども食堂らっこ広場	令和 8 年 1 月 27 日（火）10:00～11:00	1 人
一般社団法人 Golazo	令和 8 年 1 月 31 日（土）13:30～14:30	1 人
生涯学習 100 年構想実践委員会	令和 8 年 3 月 16 日（月）10:25～11:30	2 人
宮城県学童保育連絡協議会	令和 8 年 3 月 17 日（火）14:00～16:15	1 人

※「実施概況（4）NPO 支援事業 1）NPO つながり支援事業」120 ページ参照

2) フリースペース利用状況

①フリースペース概要

a. 通常の利用

地域づくりに関わる方の交流を深めるための場として、予約不要・無料で利用できる。令和2年度からは全館でWi-Fiの利用が可能となり、利用者が自身のスマートフォンやノートパソコンなどでインターネット接続ができ、情報収集・発信を行うことができる。年間で390件、1,243人の利用があった。

(20ページ「参考-1：主な項目の利用状況推移（平成20～令和7年度）」を参照)

b. 貸出企画の利用

NPO、自治会・町内会、子ども会、生涯学習団体、個人、企業（社会貢献活動での利用）を対象に、展示、ワークショップ、交流会など、下記の目的のもと利用ができる。今年度は、9団体計18回の利用があった。

(前年度は5団体計5団体の利用)

【利用目的】

- ・団体の活動を多くの人に知ってもらう
- ・企画づくりを通して団体運営のパワーアップを図る
- ・市民が集い新たなつながりを生む
- ・市民が自分たちの住む社会・地域について知り、考える
- ・市民が地域・社会のためにアクションを起こす

c. 当センターからの情報発信

1階ロビーは、たがさぼ文庫などの当センターの機能や災害時の支援活動情報、防災・減災関連やボランティア情報など、まちのことを考えるきっかけとなる情報を発信する場として活用している。



1階ロビー



2階ギャラリー



3階交流サロン

②貸出企画の利用内容

	企画名	利用団体	期間	実施目的	実施内容	場所	参加人数
1	たがじょう若者居場所～みんなでつくるサードプレイス～	市民活動団体ヨンカクBASE	4/19	学生の居場所づくり、まちづくりについて考えるきっかけにするため	雑談、タロット、グラドルルール作成についての意見出し	3階 交流サロン	1人
2	にやつ展 2025 猫が大好きな作家たちの作品販売・展示会と啓発活動	にやつ展・人と動物がしあわせに共生できる社会を目指す実行委員会	4/22～5/5	野良猫を一代限りの「いのち」として見守る TNR の周知	展示	2階 ギャラリー	6人
3	たがじょう若者居場所～みんなでつくるサードプレイス～	市民活動団体ヨンカクBASE	4/28	学生の居場所づくり	ボードゲーム、グラドルルールについての話し合い	3階 交流サロン	4人
4	カモミールの会	カモミールの会（集い）	5/12	引きこもり当事者家族の集いの場づくり	引きこもりの親の会	3階 交流サロン	4人
5	たがじょう若者居場所～みんなでつくるサードプレイス～	市民活動団体ヨンカクBASE	5/30	学生の居場所づくり	ボードゲーム、ミライト見学の振り返り	3階 交流サロン	1人
6	たがじょう若者居場所～みんなでつくるサードプレイス～	市民活動団体ヨンカクBASE	6/22	学生の居場所づくり	当日の貸室利用団体とのお話会、ミーティング	3階 交流サロン	4人
7	たがじょう若者居場所～みんなでつくるサードプレイス～	市民活動団体ヨンカクBASE	6/30	学生の居場所づくり	雑談	3階 交流サロン	2人
8	たがじょう若者居場所～みんなでつくるサードプレイス～	市民活動団体ヨンカクBASE	7/20	学生の居場所づくり	雑談	3階 交流サロン	4人
9	令和7年度多賀城中学校美術部作品展	多賀城中学校美術部	7/24～8/3	保護者・地域の人に美術部の作品を見てもらうため	美術部の作品の展示	2階 ギャラリー 3階 交流サロン	31人
10	たがじょう若者居場所～みんなでつくるサードプレイス～	市民活動団体ヨンカクBASE	8/12	学生の居場所づくり	雑談	3階 交流サロン	3人
11	たがじょう若者居場所～みんなでつくるサードプレイス～	市民活動団体ヨンカクBASE	8/24	学生の居場所づくり	ボードゲーム、雑談	3階 交流サロン	3人
12	たがじょう若者居場所～みんなでつくるサードプレイス～	市民活動団体ヨンカクBASE	9/7	学生の居場所づくり	雑談、ワークショップ	3階 交流サロン	7人
13	児玉小枝写真展～ともに生きる・小さな命の守りかた～	たがねこクラブ	9/23～10/5	動物愛護の啓発	写真・パネル等の展示	2階 ギャラリー	60人

令和7年度多賀城市民活動サポートセンター年間事業報告書

14	たがじょう若者居場所～みんなでつくるサードプレイス～	市民活動団体ヨンカクBASE	10/12	学生の居場所づくり	作業	3階 交流サロン	0人
15	多賀城記憶の壁	宮城大学学生団体 weeeeeeeek	10/3 ～ 10/11 10/13 ～ 10/19	大学の授業の一環で地域の人々が記憶を共有することで多賀城というまちへの理解やつながりを深めるため	壁一面に多賀城の歴史や写真を展示、来場者へ書き込みしてもらう参加型アートプロジェクト	2階 ギャラリー	10人
16	作品展&ワークショップ	さをりひろば余暇よか	11/1 ～ 11/3	作品の展示、体験を通して織り活動のたのしさと文化を伝えるため	作品展、ワークショップ、販売	3階 交流サロン	80人
17	たがじょう若者居場所～みんなでつくるサードプレイス～	市民活動団体ヨンカクBASE	11/16	学生の居場所づくり	作業、ボードゲームワークショップ	3階 交流サロン	5人
18	高校生のためのプログラミング講座説明会	ソーズエイトプログラミングクラブ	2/15 3/15 3/29	講座の説明、共通テスト対策	内容の説明と体験	3階 交流サロン	0人

③企画利用の様子



1. 3. 5. 6. 7. 8. 10. 11. 12. 14. 17.

たがじょう若者居場所
～みんなでつくるサードプレイス～
(市民活動団体ヨンカク BASE)



2. にゃっ展 2025

猫が大好きな作家たちの作品販売・展示会と啓発活動
(にゃっ展・人と動物がしあわせに共生できる社会を目指す実行委員会)

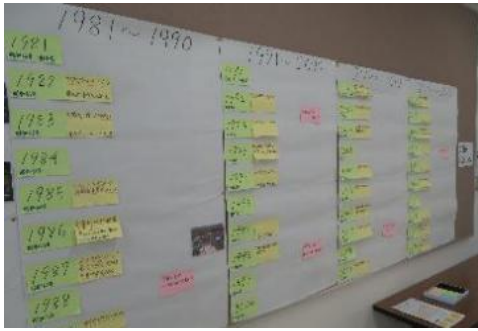


9. 令和7年度多賀城中学校美術部作品展
(多賀城中学校美術部)



13. 児玉小枝写真展

～ともに生きる・小さな命の守りかた～
(たがねこクラブ)



15. 多賀城記憶の壁
(宮城大学学生団体 weeeeeeeek)



16. さをり織り作品展&ワークショップ
(さをりひろば余暇やか)

④当センターからの情報発信

| | 企画タイトル | 期間 |
|---|----------------------|-----------------------|
| 1 | たがさぼ文庫新入荷図書ブックレビュー展示 | 4/1～5/18 (12/26 より継続) |
| 2 | 大船渡山林火災支援展示 | 4/1～6/30 (3/13 より継続) |
| 3 | 地域の特徴を教えてください | 6/9～ |
| 4 | フードボックス設置 | 7/4～9/30 |
| 5 | きっずボランティア展示 | 11/29～12/25 |
| 6 | 万灯会メッセージ募集展示 | 2/14～3/10 |



1. たがさぼ文庫新入荷図書ブックレビュー展示
(4/1～5/18 1階エントランス)



2. 大船渡山林火災支援展示
(4/1～6/30 1階ロビー)



3. 地域の特徴を教えてください
(6/9～ 1階エントランス)



4. フードボックス設置
(7/4～9/30 1階ロビー)



5. きっずボランティア展示
(11/29～12/25 1階エントランス)



6. 万灯会メッセージ募集展示
(1階エントランス)

(5) 他団体・他機関との連携

1) 各会議・実行委員会への参加

地域課題を解決していくためには多様な主体で連携して取り組んでいく必要がある。今年度、当センターでは多賀城市の課や施設を横断しての情報交換や取り組みの場に参加した。

①Taga 懇「多賀城未来の懇談会」

市民と市長が直接対話する機会を設けることで「多賀城のまちづくり」について情報を共有し、共に考える。令和4年度から実施。

令和7年度テーマ「つなぐ はぐくむ Tagayasu」～日々のよろこびが実感できるまちを目指して市長と話しませんか？～

○主管

多賀城市地域コミュニティ課

○当センターの役割

- ・ファシリテーターとして、中立的な立場で、参加者全員からの発言の引き出し、陳情・要望が出た際の軌道修正が依頼内容。
- ・市民参画のまちづくりのきっかけになるような場をつくること。

○実施状況

| | 実施日 | 会場 | 協力 |
|-----|----------------------|------------------|--------|
| 第1回 | 5月24日(土) 10:00～11:30 | 大代地区公民館 | 中津 小笠原 |
| 第2回 | 5月29日(木) 18:30～20:00 | 山王地区公民館 | 中津 小笠原 |
| 第3回 | 6月28日(土) 10:00～11:30 | 当センター | 中津 小笠原 |
| 第4回 | 7月26日(土) 10:00～11:30 | 山王地区公民館 | 中津 小笠原 |
| 第5回 | 7月29日(火) 18:30～20:00 | 大代地区公民館 | 小笠原 |
| 第6回 | 8月7日(木) 18:30～20:00 | SHARE LOUNGE 多賀城 | 中津 小笠原 |

○成果

- ・市民と市長の対話に留まらず、参加者同士で共感する意見やアイデアを出し合う場にもなり、市民がお互いの得意なことを活かしながらまちのことを考える場になった。
- ・Taga 懇をきっかけに、当センターへの相談や事業への参加につながり、市民活動・地域活動に関わる人材の発掘になった。

○課題

- ・テーマや開催場所にちなんだ方と一緒に場をつくっていくことで、その後のアクションにつながる可能性がある。

②施設情報交換会

市内の施設が連携して事業を実施し、各種対応について意見交換できるよう情報交換の場を設けている。平成30年度より始まった。

○参加団体・機関

- ・文化センター ・中央公民館 ・山王地区公民館 ・大代地区公民館
- ・総合体育館 ・市立図書館 ・地域コミュニティ課 ・市民文化創造課

○当センターの役割

- ・当センターの取り組みや視点を各施設へ共有する。

○実施状況

| | 実施日 | 内容 | 参加 |
|-----|-----------|--|----------|
| 第1回 | 4月17日（木） | 自己紹介/各施設からの報告・情報共有
今年度の事業について | 川口
西條 |
| 第2回 | 7月10日（金） | 各施設からの報告・情報共有
中高生と地域のマッチングについての相談など | 川口
西條 |
| 第3回 | 10月21日（火） | 各施設からの報告・情報共有
料金改定についてやカスハラ対策についてなど | 川口
西條 |
| 第4回 | 2月13日（金） | 各施設からの報告・情報共有
ニューズレター設置場所開拓についてや障害福祉へのアプローチ方法など | 川口
西條 |

○成果

- ・各施設の取り組みなどを共有することができた。
- ・ニューズレターなどの設置場所など、他施設がアプローチする場所や方法など相談しあうことができた。
- ・当センターの持つ市民活動や課題解決の視点から情報共有することができた。

○課題

- ・課題解決に向けた取り組む連携・協力体制がさらにできるような場とする。

③中央地区生活支援体制整備事業第2層協議体「ちゅうおう盛り上げ隊 たが和つか」

中央地区における見守り体制やコミュニティ支援について情報共有をしていくための協議体。

○参加団体・機関

- ・中央地域包括支援センター ・社会福祉協議会 ・シルバー人材センター
- ・せいふう多賀城駅前 ・アースサポート多賀城 ・デイサービスヒマワリ
- ・癒志の里 ・八幡沖区町内会 ・向山地区民生委員 ・志引地区住民
- ・伝上山地区住民 ・隅田地区住民

○当センターの役割

- ・市民活動団体等の取り組みの共有。
- ・多様性を持った視点での情報共有。
- ・中央地区の活動者や活動を知り、当センターの事業などに活かす。

○実施状況

| | 実施日 | 内容 | 参加 |
|-----|----------|-------------------------|-----|
| 第1回 | 4月17日（木） | 前年度のまとめ | 小笠原 |
| 第2回 | 5月14日（水） | 「たが和つか」の役割、今年度の取り組みについて | 欠席 |
| 第3回 | 6月17日（火） | 防災チーム・居場所チームでの話し合い | 小笠原 |

| | | | |
|------|-----------|---------------------|-----|
| 第4回 | 7月14日(月) | 地域出張報告会について | 小笠原 |
| 第5回 | 8月12日(火) | 地域出張報告会について | 小笠原 |
| 第6回 | 9月17日(水) | 地域出張報告会のリハーサル | 欠席 |
| ※ | 9月18日(木) | 地域出張報告会(東能ヶ田多賀モリ会) | 小笠原 |
| 第7回 | 10月15日(水) | 地域支え合い講座(中央地区会場)に参加 | 欠席 |
| 第8回 | 11月17日(月) | 活動報告会の内容について | 小笠原 |
| 第9回 | 12月18日(木) | 活動報告会の準備・話し合い | 小笠原 |
| 第10回 | 1月15日(木) | 活動報告会のリハーサル | 小笠原 |
| 第11回 | 2月17日(火) | たが和っか活動報告会 | 小笠原 |
| 第12回 | 3月16日(月) | 活動報告会の振り返り | 小笠原 |

○成果

- ・当センターの役割や取り組みを協議体メンバーに知ってもらうことができた。
- ・協議体の取り組みを積極的に発信することを提案し、地域に出向いて報告会を行う出張報告会の開催につながった。

○課題

- ・地域課題の解決に向け、住民と連携するためのさまざまな提案を協議体メンバーに向けておこなっていく。

④多賀城市環境審議会

「第三次多賀城市環境基本計画」の改定案の検討を実施。当センターからは、中津センター長が委員に委嘱されている。(任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日)

○主管

環境施設課

○構成メンバー

- ・学識経験者
- ・関係行政機関
- ・市長が必要と認めた者

○当センターの役割

- ・市民活動・地域活動支援、協働促進に取り組む立場から、地域の課題、団体の運営課題を伝え、計画進捗管理・評価に反映させる。

○実施状況

| 実施日 | 内容 | 参加 |
|-----------|----------------------------|------|
| 5月2日(金) | 「第三次多賀城市環境基本計画」の改定の方向性について | 中津 |
| 7月8日(火) | 「第三次多賀城市環境基本計画」の改定の要点について | 中津 |
| 10月15日(水) | 「第三次多賀城市環境基本計画」コラム再編について | 書面提出 |
| 12月19日(金) | 改定案について | 書面提出 |

⑤令和7年度 多賀城市地域学校協働本部会議

学校運営に地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えていく。
地域と学校が相互にパートナーとして連携協働して行っていく。

○主管

生涯学習課

○構成メンバー

- ・地域学校協働推進委員 ・各小学校放課後子どもコーディネーター
- ・小中学校教員 ・公民館職員 等

○当センターの役割

- ・地域と学校のつながりのサポート。関係団体や取り組みの紹介。
- ・地域のキーパーソンとのつながりづくり。

○実施状況

| 実施日 | 内容 | 参加 |
|----------|--|----|
| 4月24日（木） | 第1回地域学校協働本部会議
・地域学校協働活動事業について
・情報交換 | 川口 |
| 7月25日（金） | 多賀城市協働教育研修会
・研修「地域×学校＝子どもが大好きと思えるまちづくり」 | 川口 |
| 2月10日（火） | 第2回地域学校協働本部会議
・地域学校協働活動報告 | 川口 |

⑥令和7年度地域懇談会

地域に開かれた児童館・児童クラブを目的に、地域との情報交換や児童館・児童クラブの取り組みを報告。地域との関わりを増やしていくための懇談会。

○主管

鶴ヶ谷児童館 /西部児童センター（NPO 法人 MIYAGI 子どもネットワーク）

○構成メンバー

- ・各小中学校 ・地域の幼保施設 ・自治会・町内会 ・地域の主任児童委員
- ・多賀城市子育てサポートセンター ・ボランティア連絡会 ・市民活動団体等
- ・学校ボランティア ・各公民館 ・老人クラブ 等

○当センターの役割

- ・児童館の役割を知り、市民活動団体や取り組みを紹介。
- ・地域とのつながりや連携しての取り組みを推進していく。

○実施状況

| 実施日 | 内容 | 参加 |
|----------|--|----|
| 2月24日（火） | 鶴ヶ谷児童館
・鶴ヶ谷児童館、放課後児童クラブの活動報告（多賀城小学校・多賀城東小学校・天真小学校）
・意見交換 | 川口 |
| 2月27日（金） | 西部児童センター
・児童センター・放課後児童クラブ活動報告（山王小学校・城南小学校・八幡小学校） | 川口 |

| | | |
|--|-------|--|
| | ・意見交換 | |
|--|-------|--|

⑦多賀城市地域福祉活動計画策定委員会

「第 2 期多賀城市地域福祉活動計画」案の検討を実施。当センターからは、中津センター長が委員に委嘱されている。

○主管

社会福祉法人多賀城市社会福祉協議会

○構成メンバー

・学識経験者 ・地元住民 ・民生委員児童委員 ・福祉関係者 ・地域福祉活動実践者
・NPO ・行政 ・社会福祉協議会

○当センターの役割

・市民活動・地域活動支援、協働促進に取り組む立場から、地域の課題、団体の運営課題を伝えるとともに、関係機関との連携の視点をもって計画に反映させる。

○実施状況

| 実施日 | 内容 | 参加 |
|--------------|------------------------------|----|
| 10 月 8 日（木） | 第 2 期計画の策定について、第 1 期計画の評価と検証 | 欠席 |
| 11 月 27 日（木） | 第 2 期計画の素案について | 中津 |
| 1 月 23 日（金） | 第 2 期多賀城市地域福祉活動計画（案）について | 中津 |

⑧宮城県貞山高等学校学校評議員

開かれた学校づくりを推進していくため、保護者や地域住民等の意向を把握・反映し、その協力を得るとともに、説明責任を果たしていく。当センターからは、中津センター長が委員に委嘱されている。（任期：令和 7 年 5 月 8 日～令和 8 年 3 月 31 日）

○主管

宮城県貞山高等学校

○構成メンバー

・周辺公共施設等

○当センターの役割

・市民活動・地域活動支援、協働促進に取り組む立場から、地域と学校の接点づくりや生徒が地域の担い手として活躍できる視点を持って参加

○実施状況

| 実施日 | 内容 | 参加 |
|-------------|--------------------------------|----|
| 5 月 8 日（木） | 令和 7 年度学校運営方針・活動状況について | 中津 |
| 1 月 30 日（金） | 令和 7 年度教育活動、令和 8 年度学校運営方針案について | 中津 |

2) 他団体・他機関との連携事例

他セクターとの協力で課題解決へ向けて実践した事例をまとめた。

①他団体との連携事例

ア) 地域と連携した幼保施設の避難訓練

○鈴の花保育園（八幡地区）

【企画について】

日 時：令和7年5月20日（火）13:30～15:00（ルート確認・情報交換）

令和7年5月27日（火）9:45～10:45（避難訓練）

避難ルート：保育園→桜木方面→ホテルキャッスルプラザ多賀城へ避難

内 容：津波想定地域での訓練のため、園から備蓄もしてくれるというホテルキャッスルプラザ多賀城へ避難した。

参 加：39人（情報交換12団体12人、避難訓練10団体27人）

【連携について】

概 要：自治会・町内会への声かけ

八幡地区と保育園の情報交換会への参加

連携団体：鈴の花保育園（主催）

- ・沖区振興会 ・民生委員 ・八幡地区住民
- ・地区の郵便局長（多賀城・大代） ・一般社団法人Bird's-eye
- ・危機管理課等

成 果：今年度で2度目の訓練の実施となった。前年度は3保育園合同でおこなったが、今年度は単独での訓練実施となった。前年度の反省点から、避難後の体制も検討し、企業と連携し訓練を行った。地区住民からは避難の方向や人の流れなどについて意見があり、より実状を踏まえた具体的な訓練となった。

○つめ草保育園（南宮地区）

【企画について】

日 時：令和7年6月6日（金）13:30～16:00（ルート確認・情報交換）

令和7年6月19日（木）10:00～11:30（避難訓練）※猛暑のため延期

令和7年10月30日（木）10:00～（避難訓練）※熊出没のため延期

避難ルート：保育園→多賀城第二中学校（避難場所）

内 容：大雨での洪水を想定した避難訓練

参 加：20人（情報交換12団体20人）

【連携について】

概 要：地域と幼保施設の情報交換会への参加

連携団体：つめ草保育園（主催）

- ・南宮自治会 ・南宮長寿会 ・南宮いろは会 ・南宮地区住民
- ・民生委員 ・山王公民館 ・防災人メンバー ・わんぱく保育園（大崎市）
- ・地区の郵便局（多賀城） ・一般社団法人Bird's-eye ・危機管理課等

成 果：今年度はじめての実施だった。情報交換では地区の役割を担う多くの団体が参加し、有意義な情報交換だった。大雨での内水氾濫を想定しての訓練だったが、猛暑や熊の目撃情報などで実施が見送られた。

○多賀城はるかぜ保育園（高橋地区）

【企画について】

日 時：令和7年10月6日（月）13:30～15:00（情報交換）

令和7年10月14日（火）14:00～16:00（ルート確認・避難訓練）

避難ルート：保育園→山王小学校（避難場所）

内 容：保育園から指定避難場所へ避難し、引き渡し訓練まで行う。

参 加：154人（情報交換会5団体22人、避難訓練21団体132人）

【連携について】

概 要：自治会・町内会への声がけ

保育園と自治会・町内会の情報交換会への参加

連携団体：多賀城はるかぜ保育園（主催）

- ・フラワーファーム四季彩
- ・地域の郵便局長（多賀城・高橋・下馬等）
- ・一般社団法人Bird's-eye
- ・危機管理課等

成 果：避難場所まで距離がある地域であるが、保護者や周辺の事業者にも声がけしながら2年目の実施となった。

○認定こども園つむぎ野（鶴ヶ谷地区）

【企画について】

日 時：令和7年10月28日（火）10:00～11:00（ルート確認・情報交換）

令和7年11月20日（木）10:30～11:00（避難訓練）

避難ルート：保育園・各施設→天真小学校（避難場所）

内 容：園内での地震発生を想定し、避難場所の天真小学校に避難を行った。隣の鶴ヶ谷児童館の柵のカギを開け、そこから貞山高校も避難行動を行った。

参 加：122人（情報交換9団体12人、避難訓練9団体110人）

【連携について】

概 要：地域と幼保施設の情報交換会への参加

連携団体：認定こども園つむぎ野（主催）

- ・鶴ヶ谷親和会
- ・天真小学校
- ・多賀城中学校
- ・宮城県貞山高等学校
- ・鶴ヶ谷児童館
- ・地区の郵便局長（下馬）
- ・一般社団法人Bird's-eye
- ・危機管理課等

成 果：3年目になる鶴ヶ谷地区では、実際の災害時を想定し、保育園に集まってからの避難する方法ではなく、近隣の施設はそれぞれの場所で同じ時間から避難行動を開始し、避難経路の柵をあけてより早く避難できるように訓練した。また、地区の見守り隊などの見守りもあり、車道での安全を確保しての訓練を実施した。

イ) 多賀城市長杯交流将棋大会

【企画について】

日 時：令和 8 年 3 月 20 日（金・祝）9:30～16:00（一般の部）
令和 8 年 3 月 21 日（土） 13:30～15:45（こどもの部）
会 場：当センター 大会議室
内 容：・小学生以下を対象の大会の実施
・地域・多世代交流を目的とした将棋大会の実施
・友好都市の山形県天童市との友好事業の一環
参 加：99 人（小学生以下の部 48 人 一般の部 51 人）

【連携について】

概 要：当センターは令和 4 年度の開催時から主催する市民活動団体、市内の事業所、観光協会、行政をつなぐ役割を担った。今年度は準備、広報等。
連携団体：多賀城将棋ラボ（主催）
・市民文化創造課 ・多賀城市観光協会 ・市内事業者 22 団体等
成 果：市民活動団体と事業所や行政、観光協会をつなげ、連携して次世代への将棋文化継承のための事業への協力を行うことができた。

ウ) 多賀城市内のボランティア人材の情報交換（たがさぼ市民ミーティング）

【企画について】

日 時：令和 8 年 2 月 19 日（木）14:00～16:00
会 場：当センター 301 会議室
内 容：多賀城市内のボランティア人材の活用についての情報共有や課題共有、取り組みのアイデアだしを行う
参 加：8 機関 8 人

【連携について】

概 要：前年度に引き続き市内のボランティアを受け入れている機関や地域に密着している機関に声がけし、情報交換の場をつくった。
連携団体：当センター（主催）
・大代地区公民館 ・山王地区公民館 ・社会福祉協議会
・生涯学習課 ・健康長寿課
・西部児童センター ・子育てサポートセンター
・鶴ヶ谷児童館 ・文化センター ・市立図書館 ・総合体育館
成 果：多賀城市内のボランティアや地域の人材に関する情報交換を通じ、新たなボランティア情報の収集、また情報ツールの設置機関が前年度より 6 機関増え 7 機関となり、市民が情報を得られる場が増えた。

エ) かえっこバザール、Book Swap、たがさぽきっず広場

【企画について】

日 時：令和7年5月18日（日）11:00～15:00

会 場：多賀城市文化センター、多賀城市立図書館、当センター

内 容：市民活動団体のワークショップとかえっこバザールとの連携で参加者やお手伝いによるスタンプラリーの実施。

参 加：217人（当センターへの来館分のみ）

【連携について】

概 要：文化センターで毎年開催している「かえっこバザール」と連携し、各施設が連携し、それぞれの企画を行うとともに、かえっこバザールのスタンプをもらえ、おもちゃに交換できる仕組み。

連携団体：文化センター、市立図書館、当センター（主催）

・NPO法人宮城県森林インストラクター協会 ・手話サークルあすなろ

・Player4 ・絵本の国コロタン with フレンズ

・一般社団法人Bird's eye ・大学生ボランティア

成 果：多賀城市内の文化施設との連携事業。令和6年から実施し2回目の実施となった。当センターの利用者だけではない、新しい参加者の掘り起こしにつながり、市民活動団体に触れるきっかけを創出できた。

オ) 防災キャンプ

【企画について】

日 時：令和7年11月23日（日）9:00～16:00

会 場：さんみらい多賀城イベントプラザ（STEP）

内 容：中央公民館が主催している小学生向けの防災キャンプ。防災食づくりや防災ワークショップ、防災散歩などを実施した。

参 加：40人

（市内小学4年生～6年生20人 ジュニアリーダー10人 関係団体等10人）

【連携について】

概 要：毎年開催されている各公民館で実施している「防災キャンプ」。小学生と地区の人が出会い、震災時の教訓を共有する。当センターで実施している防災ミーティングの参加者で防災スキルのある人材を紹介した。

連携団体：中央公民館（主催）

・食生活改善推進員 ・ジュニアリーダー「エステバン」

・城南自治会 ・わしん倶楽部 ・一般社団法人Bird's-eye

成 果：防災スキルのある人材を、小学生向けのイベントの講師としてコーディネートできた。小学生にとっても身近な人たちで活動している人を知り、身近な防災について学ぶことができた。

②学校との連携事例

ア) 高崎中学校 3 学年「総合的な学習の時間」

【企画について】

日 時：①令和7年9月8日（月）10:30～12:10

②令和7年11月14日（金）9:35～12:10

会 場：高崎中学校

内 容：3 学年の総合的な学習の時間での、課題を知り、調べ、発表し自ら参加するところまでを目指す授業の一環。①ゲストの話を聞く学習の時間 ②探究学習の発表の時間。

参 加：①②4 団体 4 人 3 学年 162 人

【連携について】

概 要：多賀城市を中心とした課題に取り組む市民活動団体を紹介し、講話を実施。

連携団体：高崎中学校（主催）

- ・城南自治会
- ・NPO 法人いのちのパン
- ・高橋商店会はしご部
- ・株式会社プラスヴォイス

成 果：市民活動団体の取り組んでいる社会課題について講話を行い、生徒が自ら考え改善に向けてできることを考え、調べて一人ずつ発表した。市民活動団体にとっては、若い世代に活動を知ってもらうきっかけになった。

イ) 多賀城第二中学校 専門家の話を聞く会

【企画について】

日 時：令和7年6月23日（月）14:05～14:50

会 場：多賀城第二中学校

内 容：仕事内容を探究している専門家の話を聞き、生徒の探究につなげていく。
6 人の専門家を呼び、生徒は希望する 2 人の話を聞いた。

参 加：6 団体 7 人 1 学年 148 人

【連携について】

概 要：当センターから専門家 2 人を紹介した。

連携団体：多賀城第二中学校（主催）

- ・東北緑化環境保全株式会社
- ・書道家大塚耕志郎
- ・東邦アセチレン株式会社
- ・オレンジフィールド
- ・たたら製鉄
- ・自衛隊

成 果：多賀城市内の企業や活動者など、多様な活動や想いを聞く機会となった。
当センターからは、多賀城碑に関する話を書道家から話していただいたのと、東北緑化環境保全株式会社からは多賀城の自然についてお話いただき、身近な自然環境を知ることができた。

ウ) 多賀城第二中学校 英語の授業で外国の方に直接話をしてみよう

【企画について】

日 時：令和7年10月1日（水）14:05～14:50

令和7年10月2日（木）14:05～14:50

令和7年10月3日（金）14:05～14:50

令和7年10月6日（月）14:05～14:50

令和7年10月9日（木）13:30～14:10

会 場：多賀城第二中学校

内 容：英語学習において、外国人と楽しくコミュニケーションがとれる場面を設定し、今後の国際理解につなげる。

参 加：ボランティア7人 1学年5クラス148人

【連携について】

概 要：NPO法人いのちのパンのつながりからの紹介、以前ボランティアを希望していた外国人の方をつないだ。

連携団体：多賀城第二中学校（主催）

・外国人ボランティア6人 ・牧師2人

成 果：学校とボランティア希望者をつなぐことができた。

エ) 多賀城中学校 太宰府の中学生との交流

【企画について】

日 時：令和7年10月9日（木）9:00～10:00

会 場：多賀城中学校

内 容：太宰府との交流事業。交流できるものや防災をテーマとしたワークショップとの相談があった。

参 加：1団体4人 3学年144人＋太宰府からの生徒4～5人

【連携について】

概 要：高崎中学校で実施した防災のワークショップ「クロスロード」についての相談があったため、わしん倶楽部を紹介。

連携団体：多賀城中学校/太宰府の生徒

・わしん倶楽部

成 果：前年度に引き続き、防災の活動を行う市民活動団体を中学校につなぐことができた。防災についての意識が高まった。

オ) 宮城県貞山高等学校 総合的な探究の時間における地域国際理解講話・交流活動

【企画について】

日 時：①令和7年9月24日（水）13:00～13:45 【3・4年次】

②令和7年12月3日（水）13:00～13:45 【3・4年次】

会 場：宮城県貞山高等学校

内 容：地域で働く外国人技能実習生とのコミュニケーションを通じて、異なる価値観や多角的な視点に気づき、探究的な物の見方や考え方を養う。

①講話「宮城の『多文化』の現状～外国人労働者のことを中心に～」

②国際交流活動

参 加：①64人 ②68人

【連携について】

概 要：NPO 法人地球対話ラボとつなぎ、団体が実践している活動や障壁についての講話と交流を行った。技能実習生を受け入れている多賀城市内の企業を初年度はおつなぎしたが、その後は学校から企業へ直接依頼となっている。

連携団体：宮城県貞山高等学校（主催）

・NPO 法人地球対話ラボ ・株式会社武蔵野（ベトナム人技能実習生5人、インドネシア1人）・管理団体 BCB ・管理団体 IPM

成 果：宮城県、多賀城市の多文化共生の現状と、自分の暮らしている地域で働いている外国人技能実習生との交流で文化や価値観を学び、同じ地域の一員として理解することが出できた。

カ）宮城県貞山高等学校 「総合的な探究の時間」における地域理解講話

【企画について】

日 時：令和7年10月22日（水）13:00～14:40 【2年次】

会 場：宮城県貞山高等学校

内 容：社会的視野を広げるとともに、自己の在り方生き方について考えるきっかけになる講話。

参 加：2団体2人 生徒68人

【連携について】

概 要：活動をはじめたきっかけ、想いを話していただける団体であり、生徒が活動に参加することができる団体を紹介。

連携団体：貞山高等学校（主催）

・市民活動 KuuU FuUU ・Art Café Bar SEASAW/合同会社 fluit

成 果：地域で活動している団体を広く知ってもらうことができた。それぞれの紆余曲折を知ることで、自ら進んでいくという意思を持つことができたという感想が多くあった。

キ）貞山高等学校生徒会 みやぎ高校生フォーラム～私たちの志と地域貢献～

【企画について】

日 時：①令和7年8月1日（金）12:50～13:30 14:30～15:30

②令和7年9月16日（火）15:00～16:00

③令和7年9月26日（金）15:00～16:00

④令和7年9月29日（月）15:00～16:00

⑤令和8年1月24日(土) 12:00～15:30

会 場：①SHARE LOUNGE 多賀城・貞山高等学校

②③当センター

④個人宅 ⑤宮城県庁講堂・ロビー

内 容：戦後80年を機に、自分たちが暮らす地域のことや今後できることを考えた。

参 加：2団体2人 個人2人 生徒会8人 ⑤県内の高校生

【連携について】

概 要：市民活動団体、地区住民、戦時中体験者などを紹介し、学びのきっかけづくりを行った。

連携団体：貞山高等学校生徒会（主催）

- ・Conné～こんね～長崎の語り部から学ぶ会 ・旭ヶ岡町内会
- ・戦時中体験者（米倉さん、伊藤さん）

成 果：戦後80年を機に、若い世代が戦争当時の話を聞き、自らの視点で発表することができた。知ったこと、考えたことを、同じ高校生同士で伝え合う機会となったこと。

ク) 宮城大学事業構想学群 (CPFW 演習) Weeeeeeee k

【企画について】

日 時：令和7年6月～10月

会 場：当センター、多賀城駅前等

内 容：地域連携型実践教育の一環として「多賀城記憶の壁～あなたの記憶が、多賀城の歴史となる場所～」プロジェクトの実施。

参 加：団体7人 プロジェクト120人

【連携について】

概 要：地域のステークホルダーと連携しながらプロジェクトを構想・実践することと、地域の魅力（特に歴史文化）を再発見するイベントを開催し、市民に地域の魅力や文化を伝えることを目的としている。企画の内容の相談から市内での実施に関するアドバイス、当センターでの展示等を行い、多賀城市内のイベントを紹介した。

連携団体：Weeeeeeee k（主催）

- ・たがマルシェ実行委員会 ・高橋商店会はしご部

成 果：当センターのフリースペースを利用し展示し、市内のイベントでは出店をして多くの市民に参加や成果物を見てもらうことができた。

(6) スタッフの研修への参加

1) 外部研修

各スタッフに外部研修への参加を促し、業務の参考としていくとともに、他スタッフにも共有し、全体の学びとなるように心がけている。

| No | 研修等名称 | 主催 | 日程 | 参加 |
|----|--|--------------------------|--------------------------|-----|
| 1 | 組織基盤強化の一步目に！
ともしび・NPO スクール【組織の基盤】編① | NPO 法人日本 NPO センター | 7 月 17 日（木） | 小林 |
| 2 | 組織基盤強化の一步目に！
ともしび・NPO スクール【組織の基盤】編② | NPO 法人日本 NPO センター | 8 月 5 日（火） | 小林 |
| 3 | 組織基盤強化の一步目に！
ともしび・NPO スクール【組織の基盤】編③ | NPO 法人日本 NPO センター | 8 月 21 日（木） | 小林 |
| 4 | NPO 支援センター初任者研修会 | NPO 法人日本 NPO センター | 8 月 29 日（金） | 阿部 |
| 5 | 地域の活動を伝える力を高めよう！
～取材と情報発信の学び合い勉強会～ | 被災者支援コーディネート
事業 宮城チーム | 9 月 12 日（金） | 阿部 |
| 6 | 県内支援施設情報交換会 | みやぎ NPO プラザ | 9 月 25 日（木） | 西條 |
| 7 | 地域の活動を伝える力を高めよう！
～取材と情報発信の学び合い勉強会～② | 被災者支援コーディネート
事業 宮城チーム | 10 月 10 日（金） | 阿部 |
| 8 | 地域の活動を伝える力を高めよう！
～取材と情報発信の学び合い勉強会～③ | 被災者支援コーディネート
事業 宮城チーム | 12 月 12 日（金） | 阿部 |
| 9 | NPO 支援センター研修 AI 時代の NPO・市民活動
支援を考える～生成 AI 活用研修～ | みやぎ NPO プラザ | 12 月 19 日（金） | 川口 |
| 10 | ともしび・NPO スクール 市民主体のまちづく
りを目指して【NPO と行政の協働】編 | NPO 法人日本 NPO センター | 1 月 8 日（木） | 西條 |
| 11 | ともしび・NPO スクール 市民主体のまちづく
りを目指して【NPO と行政の協働】編② | NPO 法人日本 NPO センター | 1 月 15 日（木） | 西條 |
| 12 | ともしび・NPO スクール 市民主体のまちづく
りを目指して【NPO と行政の協働】編③ | NPO 法人日本 NPO センター | 1 月 22 日（木） | 西條 |
| 13 | 令和 7 年度 NPO 支援施設等フォローアップ事業
委託業務人材育成研修
支援力を高める！中期ビジョン・中期計画の基礎
理解 | みやぎ NPO プラザ | 2 月 5 日（木）
2 月 6 日（金） | 伊藤 |
| 14 | アドボカシーを学ぼう！
ともしび・NPO スクール【政策の提言】編 | NPO 法人日本 NPO センター | 2 月 5 日（木） | 小笠原 |
| 15 | アドボカシーを学ぼう！
ともしび・NPO スクール【政策の提言】編② | NPO 法人日本 NPO センター | 2 月 12 日（木） | 小笠原 |
| 16 | アドボカシーを学ぼう！
ともしび・NPO スクール【政策の提言】編③ | NPO 法人日本 NPO センター | 2 月 19 日（木） | 小笠原 |
| 17 | みやぎ地域コーディネーター情報交流会 | 被災者支援コーディネート事
業宮城チーム | 2 月 16 日（月） | 中津 |
| 18 | NPO 支援施設 情報交換会 | みやぎ NPO プラザ | 3 月 12 日（木） | 川口 |

I-4 事業実施状況

(1) まちをともに創る人を増やす事業

1) 当センター運営への市民参画機会創出事業

| | |
|-----------|--|
| 目 的 | ○市民と一緒に地域の状況を共有し、課題を設定し、めざすまちの姿を描き、解決に向けて必要なアイデアを出し合い、多賀城市市民活動サポートセンターの運営に活かす場づくりを通して、主体としての市民を増やす。 |
| 背 景 | ○「多賀城市市民活動促進指針（平成 18 年 6 月策定）」「多賀城市地域づくり基本方針（平成 26 年 11 月策定）」の策定から時間が経過し、地域状況の変化に応じた対応の必要性が課題として課題があがっている。市全体では、公共施設のあり方の検討が進み、今後、市民活動、地域活動をどのように促進していくのかの転換期ともいえる。このようなプロセスから、市民の声をセンターの運営に活かす場として、令和 5 年度から「たがさぼ市民ミーティング」を実施している。令和 5 年度はセクターごとのキーパーソンと、地域状況を共有し、今後の地域づくりについて意見を聞く機会となった。出た意見の中から、令和 6 年度は、「雑貨市の運営」と「地域で活躍する人材」について、関係する団体・機関と課題の共有を行い、具体的な取り組みにつなげている。
○市民が公共に関わること、公共を担うことを考える機会や実感する機会が少なくなっている。 |
| 対 象 | ○市民活動団体、自治会・町内会、事業者、学校等の地域のさまざまな主体 |
| 成果目標 | ○所属や役職等にとらわれず、多様な人が地域について考え、意見やアイデアを出し合える場を設け、出た意見をもとに、より効果的な取り組みを、関係機関・団体と連携し実践する。(2 テーマ) |
| 成 果 | ○テーマ (1) 持続可能な地域のための人財（ボランティア）
・より多くの人が地域に関われる状態にするために、工夫すべき点やアイデアなどを出し合うとともに市民ミーティングの目的を改めて確認し、施設間の情報共有の必要性や共に地域をつくる仲間であることの意識も強まった。
・市民ミーティングに参加した機関のボランティア情報が 4 件増え、ファイルの設置協力機関は前年度 1 件だったが 6 件増え 7 件となった。次年度の更新後設置可能と回答があった機関も 3 件あった。
○テーマ (2) 市の公共施設の見直しに関連し、「公共空間」「当センターの役割」
・活動者、公共施設職員、市職員などの多様なセクターの参加があり、公共施設のあり方関わり方について学ぶことができた。またグループワークでは立場や分野関係なく、それぞれのアイデアを持ち寄り話し合い、一緒に考える機会となった。
・イベント参加後に自分で何か行動を起こさなければと情報収集など行った方がいた。
・イベント後の伴走支援として開催した持ち寄り会議では、参加者同士がアドバイスをを行うことができた。 |
| 次年度に向けた課題 | ○イベント参加者のその後の状況や展開のヒアリング不足、企画や構想の深堀が不足したこともあり、市民が考えたアイデアなどの周知を年度内に行うことができなかった。定期的な後追いとフォローが必要。 |

実施概況

(1) まちをともに創る人を増やす事業 2) 当センター運営への市民参画機会創出事業

1. テーマ：持続可能な地域のための人財（ボランティア）

(1) 取り組みの実践

目 的：ボランティア情報が得やすい環境を整える（情報の集約と情報が得られる場所を増やす）

対 象：市内機関

社会福祉協議会（ボランティア連絡会事務局）

文化センター、中央公民館、大代地区公民館、

鶴ヶ谷児童館、西部児童センター、山王地区公民館、

子育てサポートセンター、生涯学習課（地域学校協働

活動）、健康長寿課（介護予防ボランティアポイント事

業）、地域コミュニティ課

成 果：・上記機関のボランティア募集情報の収集

新規2機関4件増（鶴ヶ谷児童館、西部児童センター）

・ボランティア情報ファイルの設置 6件増

新規設置協力施設（鶴ヶ谷児童館、西部児童センター、

中央公民館、大代地区公民館、山王地区公民館、子育て

サポートセンター）

・令和8年度に更新後設置予定 3件（中央地域包括セ

ンター、東部地域包括センター、総合体育館）

(2) たがさぼ市民ミーティング

テーマ「持続可能な地域の人財」

日 時：令和8年2月19日(木)14:00～16:00

会 場：当センター 301 会議室

対 象：市内各機関

内 容：前年度に引き続き市内のボランティア活動についての情

報・課題共有や、ファイルの活用状況などについてや、

より多くの人に関わってもらうため取り組みのアイデア

だし、人財を活かすための工夫などを話し合う

参 加：8機関8人

多賀城市社会福祉協議会、鶴ヶ谷児童館、

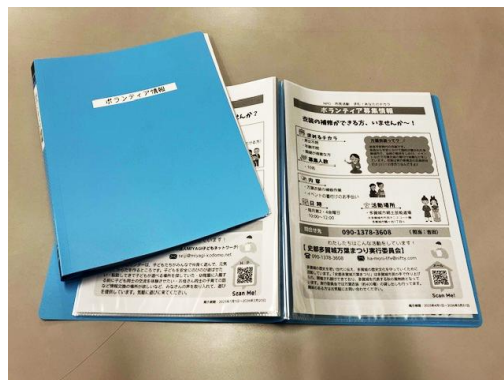
西部児童センター、文化センター、総合体育館、

市立図書館、大代地区公民館、山王地区公民館

成 果：より多くの人々が地域に関われる状態にするため、工夫す

べき点やアイデアなどを出し合うとともに市民ミーテ

ィングの目的を確認し、施設間の情報共有の必要性や一緒



1. (1) 前年度出た意見から各機関で設置協力
いただいているボランティア情報ファイル



1. (2) 各機関から地域の人財に関連する情報
共有や課題について、また今後どのように連
携・協力できるかの話し合いを行った

に地域をつくる仲間であることの意識も強まった。

2. テーマ：当センターの役割を軸に公共空間を考える

(1) まちをもっとおもしろくする

「私のだいじな場所」のつくり方

日 時：令和 7 年 9 月 23 日（火）13:00～16:00

会 場：当センター 大会議室

対 象：市民活動団体、自治会・町内会、事業者、

学校等の地域のさまざまな主体、市民

ゲスト：西川正さん（NPO 法人ハンズオン！埼玉）

内 容：ゲストの取り組みや公共施設や公共空間（公園、道路、川など）を利用した事例を聞き、公共施設・公共空間はサービスを受けるだけの場ではなく、市民が自ら参加できつくることができる場であるという気づきや学びの機会をつくる。

参 加：29 人

成 果：活動者、公共施設職員、市職員など、10～80 代の多様な人の参加があった。ゲストトークで公共施設のあり方関わり方について学び、グループワークでは立場や分野関係なく、それぞれのアイデアを持ち寄り話し合い、一緒に考える機会となった。参加者からは、持ち寄って場を一緒につくること、対話の大切さに気づいたとの感想があった。

(2) 伴走支援：

企画持ち寄り望年会議@私のだいじな場所のつくり方

日 時：令和 7 年 12 月 18 日（木）19：00～20：30

場 当：当センター 3 階交流サロン

対 象：9/23 に行ったトークイベント参加者

参 加：4 人

成 果：・企画を発表することで、参加者への共有だけでなく今後参考となる情報やアドバイスをしあうことができた。
・企画内容と関連する講座を TSC スタッフから案内し受講した方がいた（1 人）



2. (1) ゲストの西川さん（NPO 法人ハンズオン埼玉副代表理事）からは、取り組みや活動の中で大切にされていることをお話していただいた



2. (1) 多賀城市の MAP を見ながらグループ内で、こんなことができたらいいなと考えていることやアイデアを話あった



2. (1) 企画資料を PowerPoint で作成し発表した参加者もいた

アンケート集計結果

2. (1) まちをもっとおもしろくする「私のだいじな場所」のつくり方 (26 件回収／29 人参加)

①年代 (人)

| 10 代以下 | 20 代 | 30 代 | 40 代 | 50 代 | 60 代 | 70 代 | 80 代以上 |
|--------|------|------|------|------|------|------|--------|
| 1 | 2 | 2 | 6 | 6 | 4 | 4 | 1 |

②多賀城との関わり (人) (複数回答可)

| 住んでいる | 職場 | 活動場所 | その他 |
|-------|----|------|-----|
| 14 | 3 | 1 | 5 |

その他 5 名…以前働いていた、近隣に住んでいる、以前多賀城で働いていた、企画に興味がある、利用者

③講座をどこで知ったか (人) (複数回答可)

| スタッフ | HP・ブログ・SNS | チラシ | 市の SNS | 知人・友人 |
|------|------------|-----|--------|-------|
| 16 | 3 | 5 | 2 | 0 |

④満足度 (人) (5 段階評価)

| 5 (満足) | 4 | 3 | 2 | 1 (不満) |
|--------|---|---|---|--------|
| 20 | 5 | 0 | 0 | 1 |

「5」を選んだ理由 (抜粋)

- ・リーダー論やイベンターとしての大切な考え方を学んだ
- ・これから体育施設という公共空間をデザインするにあたり大切な視点を学べました
- ・西川さんのお話もありながら、まちのことに関心のある多くの人に出会えたことが宝
- ・誰かと「一緒につくる」上で大切なこと、仕事にも市民活動として取り組んでいることにもとても大事な事を言葉にしてもらえました。(うっすら感じていたこと、感じていたのに忘れていたり置いてきたりしていた事)
- ・「居場所づくり」を目的としたイベント企画をしている我々の団体としては、ぴったりくる内容でした。
- ・「答え」ではなく「応え」に、そして人数結果より、内容重視で相変わらず楽しくやっていきたいと思います。

「4」を選んだ理由 (抜粋)

- ・たくさんの方の地域の意見を聞けて今後の活動にも活かせたらと思う。子どもたちのへの思いは一緒なんだと実感 (大人が楽しめば子どもたちも楽しくなる)
- ・西川さんのお話とても面白く聞きました。グループごとの設定が良かったと思います。

⑤感想・得られたこと (抜粋)

- ・西川さんの話からプレーワークで大事にしている「みんなでつくる場」というところが、改めて大事にしている部分だと確信しましたし、できているか意識しなければと思いました
- ・公共施設で働いていて、利用してくれる方の居場所、気軽に来れる工夫など自分にはなかった部分を聞くことができた。話し合いはしやすい環境の職場であると思うが、もう一度良い案を出せるよう意識したい。
- ・①良い施設はどこから生まれる？おしゃべりで生まれるって言葉は「明言」です。
- ②苦情が増えると禁止が増える⇒なるほどです。

③声をかけてもらえることを待っている人がいるかも⇒それが自分の場所となる⇒あるあるです！

我々の団体もそれに近いことをしているのでめっちゃよかったです。“まちづくりに必要な人！！”になりたいです。

- ・まちづくりに必要な人は「応え」てくれる人ということが公共施設などを運営する立場としては肝に銘じたいと思いました。
- ・ドキドキワクワクの素敵な図書館をつくられているなどと思いました。ただ現実を考えると西川さんほどの太っ腹なトップはなかなかいないかなあ。
- ・「持ち寄り」での企画は参加意識を高め楽しめるキーワードかと思う

【ワーク】(抜粋)

- ・目指したい部分を共有し、みんなのアイデアを持ち寄れたのがよかった
- ・何か（活動）しているわけではなくちょっとむずかしかった。
- ・自分のやっていることを客観視できた。
- ・どうしたら興味をもってもらえるか？を場所や内容を重視して考えることがよかったです。リスクを考えるより楽しいことを考えた方がいいと思いました。
- ・意外に住民は公共スペースを自由に使いたいと思っているのだと思った。当事者となら住民同士で解決できる関係性ができるとよい。

【全体的な感想】(抜粋)

- ・「よい施設」はおしゃべりから生まれる、「正しく」あろうとするとつまらない施設になる。おもしろいアイデアが生まれるように、心理的安全性を保つためにコミュニケーションが大切であるということを再認識した。
- ・参加者の方がおもしろかった。西川さんの真剣さとゆるさが最高でした！！
- ・いろんな居場所づくりを考えている市民団体なのでもう一度初心に戻って、数々のイベントを企画して居場所づくりに貢献していきたいです。ぜひ、逃走中多賀城バージョンをたがさばさんで（笑）
- ・西川さん本人が一番楽しんでいる様子。私も楽しんでいることの方が多いのですが…（笑）
- ・他市からの参加ということもあり、一方的に聞くことが多くなるかと思っていましたが、私の発表にも興味を持っていただいととても嬉しかったです。ありがとうございました！！
- ・公共施設の場所づくりで参考にしていきます。楽しいから元気が出る。おしゃべりでよい場所が生まれるが印象に残りました
- ・とても楽しくワクワクしながら、うなずきながら参加できました。図書館でこんなにステキなことを企画し多くの方が参加されている様子がうれしく、希望が持てました。
- ・イベントするとき、準備を整えてお迎えすると思いがちでしたが、持ち寄ってもらい、一緒につくっていく楽しさを知りました。今後の活動に活かしたいです。
- ・関わった場所であるほどに「だいじな場所」になる。この意味が講座を終えて深く理解できました。

⑥今後考えてみたいこと、活動してみたいこと

- ・自分もワクワクしながら新しい体育館の姿を考えてみたいです。
- ・やはり実際に動いてやってみなければ。仕事でやっている身、ちょっと市民活動の場だとひっこめてしまうけど（先生にならない答えにならないのを意識して）プレーワーカーであることをもっと出してもよいのかしらと思いました。
- ・市内公園改修などで参考にしていきます
- ・隣地域の公民館（カラオケイベント）に行ってみようと思欲（地域で実施するための参考にしたい）

- ・サポセンの庭で「七輪イベント」をやってみたい。さんまを焼く。他の材料を持ち寄りとして
- ・図書館や児童館のない七ヶ浜、来年度は公民館が指定管理に…ことあるごとに今日の事例など紹介していきたいと思います。

2. (2) 企画持ち寄り望年会議@私のだいじな場所のつくり方 (4 件回収/4 人参加)

①年代 (人)

| 10 代以下 | 20 代 | 30 代 | 40 代 | 50 代 | 60 代 | 70 代 | 80 代以上 |
|--------|------|------|------|------|------|------|--------|
| 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 |

②多賀城との関わり (人) (複数回答可)

| 住んでいる | 職場 | 活動場所 | その他 |
|-------|----|------|-----|
| 4 | 0 | 0 | 0 |

③満足度 (人) (5 段階評価)

| 5 (満足) | 4 | 3 | 2 | 1 (不満) |
|--------|---|---|---|--------|
| 3 | 1 | 0 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由

- ・活発な意見交換

④これからやってみたいこと、知りたいこと、つながりたい人など

- ・可能性のある事

⑤このような場がまたあるとよいか? (人)

| 定期的にあるとよい | たまにあるとよい | どちらでもよい | 特に必要ない |
|-----------|----------|---------|--------|
| 3 | 1 | 0 | 0 |

⑥所要時間や、開催の曜日・時間に要望があるか

- ・平日 7:00～、土日はフリー
- ・ちょうどよい
- ・木曜の 19:00 は可能性がある

⑦全体的な感想

- ・ためになりました
- ・多賀城公園に行って歌練習を試してみたい
- ・楽しく話し合うことができ感謝でした

(1) まちをともに創る人を増やす事業

2) 多賀城のまちの未来を描くフューチャーセッション事業

| | |
|-----------|---|
| 目 的 | ○市民が主体となり、多賀城のまちについて考え、課題を設定し、実現可能な対応策を考える場を重ねることで、考え行動する市民を増やす。 |
| 背 景 | <p>○市民活動を促進することは、主体的に考え、行動する市民を増やしていくことであることから、多賀城のまちのことを考え、解決のアイデアを話し合う場「多賀城フューチャーセッション（以下、TFS）」を令和 5 年度から実施している。</p> <p>○主体的に考え、行動する市民を増やすことを目的に、出た意見の実現に向けた伴走を行っている。令和 5 年度の TFS で出た意見から、参加者有志が世代を超えて気軽に話せる場「喫茶来」を企画している。令和 6 年度は 3 回実施。企画メンバーは、チラシ作成、広報、当日の進行等を担った。必要な備品、飲み物などは持ち寄り、当センターは企画メンバーへの連絡、当センターのウェブ媒体での広報、当日の記録などをサポートした。</p> <p>○令和 7 年度末の姿として、市民の提案力向上と、協働の取り組みが進んでいることを描いている。まちのことを考え、対話する場は定着しつつあるが、実現可能な提案を生み出すことには至っていないのが現状であり、新たな参加者を増やしながらか対話の場を重ねていく必要がある。喫茶来で対話の場を重ねていきつつ、TFS では、提案につながるような場づくりを行う。</p> |
| 対 象 | <p>○既活動者</p> <p>○潜在的活動者</p> |
| 成果目標 | ○対話を通して、新たな活動や協働につながるような提案が生まれる。(1 件以上) |
| 成 果 | <p>○TFS や喫茶来では、多賀城の未来に向けて、参加者同士で未来志向の対話をする場を設けることができた。</p> <p>○TFS では、子どもや食、多世代など近いテーマを持った参加者が集まり、連絡先の交換を行うなど、つながりを生む場になった。</p> |
| 次年度に向けた課題 | <p>○市への提案や協働につなげるには、テーマ設定やプロセスの設計の更なる工夫が必要である。</p> <p>○TFS への新規参加者は 1 人だった。新たな参加につながるような企画立案が必要である。</p> |

実施概況

(1) まちをともに創る人を増やす事業 2) 多賀城のまちの未来を描くフューチャーセッション事業

1. 多賀城のまちの未来を描くフューチャーセッション

多賀城フューチャーセッションとは、多賀城のまちのよいところや気になるところ、気になるキーワードを持ち寄り、「こうなったらいいな」という未来の姿を描きながら、実現に向けたアイデアを出し合う。参加者同士、多様な意見を聴きあうことで、新たな気づき、アイデア、関係性、取り組みなどを生み出していこうという場。

(1) プレ企画

日 時：令和7年4月4日（金）15:15～17:00

会 場：当センター 大会議室

内 容：新規採用職員も多賀城のまちの担い手と捉え、「協働」をテーマに、当センター、市民活動、協働、課題の捉え方についての講義とワークを実施。

参 加：市新規採用職員 33 人

成 果：・当センターの見学では、細かい機能にも気づいていたようで、当センターがどんな施設なのか知ってもらうことはできた。

(2) vol.3「人とつながる場づくり」

日 時：令和7年8月30日（土）13:30～16:00

会 場：当センター 大会議室

ゲスト：渡辺一馬さん（一般社団法人ワカツク）

テーマ：人とつながる場づくり

内 容：令和5・6年度のTFSでは、多賀城のまちの未来の姿として「孤独にしない集える場」「やりたいことをぶつける場」「世代をこえてつながる場」「障がいのあるなしに関わらずどんな人でも集まれる場」「若い世代と高齢者の交流」など、場に関する意見が多く出ており、関心が高いテーマだと言える。今年度は「人とつながる場づくり」をテーマに、トークやワーク、ディスカッションを通して、新たな場づくりが始まったり、今ある場がよりよい場になることをめざす。

参 加：10 人

成 果：・子どもや食、多世代など近いテーマを持った参加者が集まり、連絡先の交換を行うなど、今後の活動につながるような場になった。

・TFS、いちから塾等からの参加者がいた。当センター事業の中でステップアップにつながった。



1. (1) 参加者同士のディスカッションの時間をはさみつつ進めた



1. (2) つながりを生む場をつくるために必要な要素を話すゲスト



1. (2) 場づくりについて、それぞれの想いを共有した

2. アイデアを実践する伴走

多賀城フューチャーセッション喫茶来（きっさこ）

（1）喫茶来4回目

1) 実施

日 時：令和7年4月29日（火・祝）14:00～16:00

会 場：多賀城駅前公園東屋→当センター 2階ギャラリー

内 容：予定していたワークショップの内容をデモで実施し
改善点を見出した。

参 加：企画メンバー3人

成 果：・強風のため、紙などを用いたワークショップはできな
い状況と判断し、当センターに会場変更した。
・再度日程調整し、各自広報も行い、参加者を獲得す
ることを確認した。

2) 実施

日 時：令和7年6月29日（日）14:00～16:00

会 場：当センター 2階ギャラリー

内 容：これまでの自分や家族の歴史、未来のなりたい姿を盛り
込んだ自分なりの年表を書いて、参加者同士で発表し
合う。年代による違いや共通点を楽しみながら、歴史か
ら未来を考えるためのヒントを探る。

参 加：5人（新規参加者2人＋企画メンバー3人）

成 果：10代、40代、50代、70代と幅広い参加があり、時代
背景とともに、自身の現在につながる経緯を共有し合
い、交流の場になった。

（2）喫茶来5回目

日 時：令和7年9月26日（金）18:30～20:30

会 場：当センター 第1和室

テーマ：豊かさって何？

参 加：10人（うち企画メンバー4人）

成 果：・何を豊かだと感じているかを話すことで、その豊かさ
を将来につなげるために、何ができるかを考える機会
にしたいという、企画メンバーの提案によりテーマを
決定。

- ・当日は企画メンバーのほかに、8/30（土）実施の
TFSvol.3の参加者、SNSを見て参加した新規来館者な
どの参加があった。
- ・進行を担当した企画メンバーにより、板書やトークン



2. (1)1) 多賀城駅前公園で実施の準備を行
ったが、強風により会場変更を行った



2. (1)2) 自分年表をもとに、違いや共通点を
探る



2. (2)企画メンバーによる進行のもと、豊か
さをテーマに、世代を越えてお互いの話を
聞き合った

グボールなど安心して発言できる場づくりの工夫が行われ、それぞれが感じていることを話すことができた。

(3) 喫茶来6回目

日 時：令和7年12月14日(日)10:00～15:00

会 場：当センター2階給湯室

内 容：「最近気になること」をテーマに、雑貨市会場内で意見を集めたり、居合わせた人で話す機会を設ける。

参 加：8人

成 果：気軽にまちのことを話す機会をつくろうと、雑貨市にコーナーを設けた。当日の運営は企画メンバー1人で実施。出た意見は、図書館3階飲食店跡、工学部跡地開発、町内会の防災、受験期の過ごし方、多世代交流、後発地震注意情報、熊の話からエネルギーの話に展開、不登校の子ども居場所について。気軽に参加してもらうテーマ設定をしたが、じっくり対話することによって、話題の深堀ができた。



2. (3) 雑貨市来場者にまちの気になることをテーマに情報収集

アンケート集計結果

1. 多賀城のまちの未来を描くフューチャーセッション vol.3 (9件回収/10人参加)

①年代(人)

| 10代以下 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 0 | 1 | 0 | 4 | 0 | 3 | 1 | 0 |

②お住まい(人)

| 多賀城市 | 塩竈市 | 七ヶ浜町 | 利府町 | 松島町 | 仙台市 | その他 | 未回答 |
|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |

その他の回答…名取市

③今回の講座を何で知りましたか？ ※複数回答可(人)

| スタッフ | HP・SNS | チラシ | 新聞 | 広報紙 | 市のSNS | 知人・友人 | その他 |
|------|--------|-----|----|-----|-------|-------|-----|
| 6 | 2 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 1 |

※その他の回答…市のLINE

④本日の講座の満足度(5段階評価)(人)

| 5(満足) | 4 | 3 | 2 | 1(不満) |
|-------|---|---|---|-------|
| 7 | 1 | 1 | 0 | 0 |

[5]の理由

- ・分りやすく、楽しかった。新しいつながりができた。
- ・参加された方と意見交換ができてとても良い学びとなりました。

- ・色々参加者の方々と考える場を与えられたのでよかったと思います。
- ・グループでやりたい方向がほぼ同じ。なにか明るい光が見えてきた。
- ・同じような意識を持った方々と話せたこと。
- ・やりたいこととつながりのヒントがあった様に思った。

⑤本日のイベントに参加して得られたことや感想などを教えてください。

- ・活動するうえでの考え方を学びました。ありがとうございました。
- ・想いを言葉にしなければ相手に伝えられないということがわかりました。ありがとうございました。
- ・途中からの参加でしたがたのしい時間でした！
- ・喫茶来の事を初めて聞いて是非参加したいと思いました。
- ・とても楽しかったです。ありがとうございました！
- ・自分が今後どう動いていったら良いか具体的にわかった。当たり前とは何か考えさせられた。
- ・多賀城でやりたい！と思うことがある市民がいて、発信できる場があるのは、とても良いことと思います。
- ・「目的は折り合わない」の中でどうするか。

⑥今後のフューチャーセッションについて、取り上げてほしいテーマや開催方法などを教えてください。

- ・コミュニティ作りをどうするか是非テーマにして頂きたいです。
- ・子育て、子どもの未来

(2) 関わりしるを増やす支援事業 1) 自治会・町内会等の関わりしるを増やす支援事業

| | |
|---------------|--|
| 目 的 | <p>持続可能な地域運営のため、</p> <p>○既存の取り組みの棚卸の支援、既存の活動の見直しや新たな取り組み開始の支援を行う。</p> <p>○様々な人が関われる地域のあり方を模索していく。</p> |
| 背 景 | <p>○「防災人ミーティング」や「地域と幼保施設の連携による避難訓練」等、防災をテーマに他セクターのつながりをつくることで、地域の防災機能の強化（＝地域力の強化）を進めてきた。今年度はこれまでの関わりを活かしながら、他の地区でも防災機能の強化を展開していく。</p> <p>○令和 5 年度から始めた「みらい自治トーク」では、昨年度は「子ども会」をテーマに 30～40 代の参加者を中心に現状の課題や課題解決のためのアイデアなどを共有してきた。今年度は 10 年後のみらいと「今」をどのように融合させていくのかも検討しながら、次世代や他セクターと連携して活動している地域や広域で取り組んでいる地域の事例を共有しつつ、今後の地域の形を描いていく。</p> |
| 対 象 | <p>○自治会・町内会の会長、役員等</p> <p>○これまで町内会にあまり関わっていなかった人・団体</p> <p>○地域活動に興味がある人</p> |
| 成果目標 | <p>1) 自治会・町内会、また地区の取り組みに関心のある人たちが情報交換やアイデアを出し合う場を持つ（2 テーマ以上）</p> <p>2) 既存の活動の見直しや新しい人材の活用や取り組みが始まる（1 事例以上）</p> <p>3) 住民が自らの地域の魅力に気づき、発信する地域が生まれる（新たに 1 事例以上）</p> <p>4) 自治会・町内会の活動のヒアリングを通して事例の蓄積と情報発信を当センターが行う（情報発信：10 回以上）</p> |
| 成 果 | <p>○地域方程式を 2 回実施し、他地区の成功事例を聞きつつ、自分の地域の資源や人材に目を向け、連携して課題解決に取り組むワークを行った。それぞれの地区の課題について、市民活動団体と連携をしたり、理解し合う場をつくることができた。テーマは「地域での次世代連携について」「子どもを地域でどう見守るか」について行い、関わる若い世代の参加があり、町内会だけでなく共に考えることができた。</p> <p>○地域方程式では、自治会・町内会以外の市民活動団体などの参加も促し、町内会と団体が知り合う場、協働の可能性を探ることができた。</p> <p>○防災人ミーティングの参加者が自ら自分の地域の防災の取り組みや、団体としての防災の取り組みを情報交換したことで、公共施設での小学生向けの防災講座に講師として参加することができた。</p> <p>○自治会・町内会から相談が多かった「夏まつり」「子ども会と町内会の関わり」「地区の防災訓練」などのヒアリングを行い、26 件ブログで発信することができた。</p> |
| 次年度に
向けた課題 | <p>○地域方程式で出てきた地区の課題などを考える分科会などを継続的に実施する。</p> <p>○地域コミュニティ課と連携を取りつつ、地区ごとに人材やネットワークを構築できる取り組みを実施していく。</p> |

実施概況（2）関わりしるを増やす支援事業 1）自治会・町内会等の関わりしるを増やす支援事業

1. 地域に新たな人材や世代が関わるための支援、

新たな取り組みの支援

（1）TAGAJ0 地域方程式 I 次世代×町内会 高橋地区のひみつ

日 時：令和7年6月8日（日）10:00～11:30

会 場：当センター 大会議室

ゲスト：布川育美さん（高橋商店会はしご部）

田口貴浩さん（高橋南区町内会会長）

内 容：次世代や他セクターと連携して取り組んでいる地域事例を共有し、自分の住む地域の資源を考えるきっかけをつくる。

対 象：自治会・町内会に参加している人

自治会・町内会に興味・関心のある人

地域活動に興味がある人、活動している人

参 加：23 団体 31 人

自治会・町内会（城南・旭ヶ岡・八幡下一・八幡沖・

浮島・高崎・黒石崎・桜木南・高橋北・高橋南・高橋東

七ヶ浜）子ども会（高橋北）市民活動団体、個人

行政等

成 果：次世代がどのようなことを感じ、地域での活動をはじめたのか、どのようなサポートをしたかの話からはじまり、参加者の自分の地域の資源からアイデアを書き出してみるワークを行った。さまざまな地域のアイデアを共有することができた。

（2）TAGAJ0 地域方程式 II

子ども×地域 どうする!!どうなる!!子ども会と町内会

1) 情報交換会

日 時：令和7年12月5日（金）10:00～11:30

会 場：当センター 大会議室

ゲスト：長谷部明さん（南宮いろは会）

千葉清夏さん（南宮自治会副支部長）

内 容：子ども会が無くなっていく地域が多い中、地域で子どもたちを見るという事はどういうことかを考える。

対 象：自治会・町内会に参加している人

自治会・町内会に興味・関心のある人

地域活動に興味がある人、活動している人

参 加：22 団体 26 人

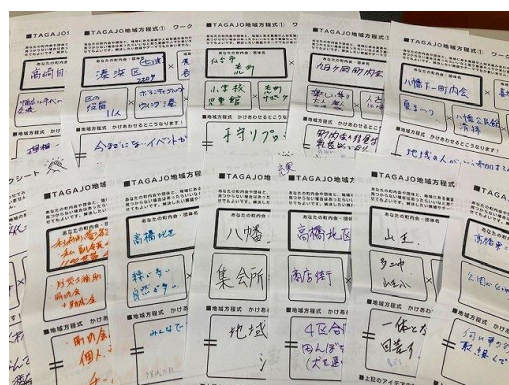


1. (1) TAGAJ0 地域方程式 I

次世代×町内会 高橋地区のひみつ



1. (1) ゲストトークの様子



1. (1) 参加者が取り組んだワークシート



1. (2) 1) TAGAJ0 地域方程式 II 1 回目の情報交換会から行った

自治会・町内会（南宮・桜木南・桜木東・志引・旭ヶ岡・新田一・城南・高橋南・鶴ヶ谷親和・下馬南）

子ども会・育成会・PTA（城南・旭ヶ岡西・新田中・高橋・新田三・浮島・浮島小）市民活動団体、行政等

成 果：町内会・子ども会・市民活動団体・行政など、さまざまな人が参加し、「地域で子どもを育てる」ことについて、情報交換を行った。会の存続をどうするかだけでなく、どのような機能を残していくかなどの話もあり、時代に合ったあり方を模索する意見もあった。

2) ゲストトーク・ワーク・グループトーク

日 時：令和8年1月16日（金）10:00～11:30

会 場：当センター 大会議室

内 容：ゲストトーク・情報交換

参 加：20 団体 28 人

自治会・町内会（南宮・桜木北・桜木南・桜木東・桜木中・旭ヶ岡・新田一・城南・志引・下馬南・下馬東・西能ヶ田・七ヶ浜）子ども会・育成会（新田中・高橋・浮島）市民活動団体、個人、行政等

成 果：2 回目の地域方程式では、1 回目に出た課題を振り返り、南宮地区の事例を聞いた。その後、ワークを通して、自分たちの地区で残したいもの、目的、削ってもいいものなどを考えた。今後の支援や情報交換につなげていく。

2. 自分の住む地域のことを知り、自ら発信することをサポート

戦後 80 年を機に地域の歴史を調べる貞山高等学校の生徒に、地元の住民が地域の歴史と経験を伝える機会を作った。

（1）戦後 80 年を考える情報交換

日 時：令和7年8月1日（金）14:30～15:30

会 場：宮城県貞山高等学校

ゲスト：奥村志都佳さん

（Conné～こんね～長崎の語り部から学ぶ会）

内 容：戦争経験から疎開先での経験や当時の生活の様子等

参 加：9 人（貞山高等学校生徒会）



1. (2)2) ゲストトークで南宮地区の事例



1. (2)2) グループワークの様子



1. (2)2) 参加者が取り組んだワークシート



2. (2)1) 貞山高等学校の生徒会の生徒がヒアリング。戦争当時の記憶を語る。

(2) 高校生との交流

1) 伊藤節子さんの話

日 時：令和 7 年 9 月 16 日（火）15:00～16:00

会 場：当センター フリースペース

聞き手：貞山高等学校 生徒

内 容：戦争経験から疎開先での経験や当時の生活の様子等

2) 富田貞則さんの話

日 時：令和 7 年 9 月 26 日（金）15:00～16:00

会 場：当センター フリースペース

聞き手：貞山高等学校 生徒

内 容：旭ヶ岡町内会新聞に連載した地区の歴史を中心に、
地区の変遷や海軍工廠のことなど

3) 米倉末吉さんの話

日 時：令和 7 年 9 月 29 日（月）16:30～17:30

会 場：米倉さん自宅

聞き手：貞山高等学校 生徒

内 容：戦中・戦後の経験談や当時の生活の様子など。当時に
思い出して描いた絵の解説など

(3) みやぎ高校生フォーラム～私たちの志と地域貢献～

日 時：令和 8 年 1 月 24 日（土）12:50～

会 場：宮城県行政庁舎 2F 県民ロビー

参 加：県内の高校生

内 容：戦後 80 年の節目の年に、高校生同士が平和について
考え、話し合う機会を持った。戦後 80 年に関連して
調べたことや、未来のことをまとめ、ポスター発
表でのプレゼンを行った。

成 果：戦争当時の記憶がある住民や地域の歴史を調べている
住民は、自らの記憶や想い、調べたことを、高校生に
伝えたこと。高校生は聞いたことに自分たちの考えを
加え、発表し、ほかの高校生へ伝えたこと。

3. 地域の多様なセクターが連携し、ネットワークづくりや取り組みなどを生む支援

(1) 防災人（ぼうさいびと）ミーティング

1) 1 回目

日 時：令和 7 年 8 月 21 日（木）18:30～19:30

会 場：当センター 301 会議室



2. (2)3) 留ヶ谷地区の記憶を語る米倉さん。記憶をたどり描いた絵を見ながら説明した



2. (3) みやぎ高校生フォーラムの様子。県内の高校が参加した。



3. (1)1) 防災人ミーティングの様子。参加者からの防災の情報提供があった。

内 容：参加者の取り組み紹介と情報交換会

城南自治会の防災 LINE の活用に関する情報提供

東田中南自治会からマンション防災の取り組み

対 象：防災に興味にある人、地区の防災担当者、

防災スキルを活かしたい人

参 加：11 人（高崎・新田中・城南・東田中南・旭ヶ岡・

桜木東・利府町・七ヶ浜町）

成 果：新しく自治会の防災担当になった人の悩みを、防災士や先輩役員からアドバイスをしたり、近隣からの参加もあり、市域を越えた防災の取り組みの情報交換の場になった。次回は市の防災訓練後の情報交換を行いたいとの声から、2 回目の実施につながった。

2) 2 回目

日 時：令和 7 年 11 月 21 日（金）18:30～19:30

会 場：当センター 301 会議室

内 容：11/8 に実施の多賀城市総合防災訓練や、他地域との防災に関する情報交換など

参 加：14 人（新田中・高崎・桜木東・旭ヶ岡・東田中南・城南・志引・塩竈市・利府町）

成 果：防災訓練の各地区の振り返り、障害児の避難や避難所について、防災国体の報告など。志引、高崎、城南、東田中南、新田中、旭ヶ岡から報告があった。

3) 実践 防災キャンプ（主催：中央地区公民館）

日 時：令和 7 年 11 月 23 日（日）13:00～15:00

会 場：さんみらい多賀城イベントプラザ（STEP）

内 容：中央公民館主催の防災キャンプに防災人ミーティング参加者が、防災ボードゲーム「防災駅伝」や防災散歩、防災講話等の講師として参加した。

ゲスト：高橋 伸さん（城南自治会）

大山真由美さん（わしん倶楽部）

菅原淳一さん（一般社団法人 Bird's-eye）

対 象：小学 4～6 年生

参 加：約 40 人（小学生 20 人、ジュニアリーダー 10 人、市民活動団体、自治会・町内会、行政等 10 人）

成 果：防災に関心のある防災人たちが、公民館の小学生向けの防災イベントに講師として参加。より地域の課題など共有することができた。



3. (1)2) 2 回目の防災人ミーティングの様子。
市の防災訓練後の共有を中心に行った



3. (1)3) 防災キャンプ 日本付近の海溝を 3D
メガネで確認



3. (1)3) 防災キャンプ 防災バックに何が入っ
ているのかを確認した



3. (2)1)① 八幡沖公民館で行った情報交換の
様子。被災経験を語る参加者もいた。

(2) 幼保施設と地域の避難訓練

幼保施設の避難訓練に地域の自治会・町内会や様々なセクターが参加することで、地域の連携の輪を日常から育て、共助の意識を地域で育てていく。新しく取り組む地域には交流をもつきっかけの支援、継続する地域には、より強いネットワークづくりのサポートを行う。危機管理課、一般社団法人 Bird's-eye と連携協力し取り組んでいく。

①ルートの確認・地域との情報交換：

- ・地域の人と東日本大震災時の状況や浸水地域などの情報の共有や避難ルートの相談などの情報交換

当センターは地域とのコーディネートを中心に協力

②避難訓練本番：地域や企業と連携した避難訓練を実施

主 催：避難訓練実施の各幼保施設

協 力：一般社団法人 Bird's-eye、地区の郵便局長、
多賀城市危機管理課、当センター

1) 鈴の花保育園（八幡地区）※継続2年目

①ルートの確認・地域との情報交換

日 時：令和7年5月20日（火）13:30～15:00

会 場：八幡沖公民館

参 加：12 団体 12 人（鈴の花保育園、沖区振興会、八幡下二
住民、ホテルキャッスルプラザ多賀城、地区の郵便局
長（多賀城・大代）、市議会議員、一般社団法人 Bird's-eye、危機管理課等）

②避難訓練当日

日 時：令和7年5月27日（火）9:45～10:45

ルート：鈴の花保育園～コアラ保育園前の道路を通り、桜木
方面へ～横断報道を渡り、ホテルキャッスルプラザ
多賀城へ

参 加：10 団体 27 人（鈴の花保育園、沖区振興会、民生委
員、ホテルキャッスルプラザ多賀城、地区の郵便局
長（多賀城・明月）、地区住民、市議会議員、一般
社団法人 Bird's-eye、危機管理課等）

2) つめ草保育園（南宮地区）※初めて実施

①ルートの確認・地域との情報交換

日 時：令和7年6月6日（金）13:30～16:00

会 場：南宮集会所

参 加：12 団体 20 人（つめ草保育園、南宮自治会、南宮寿



3. (2)1)②鈴の花保育園から避難開始



3. (2)1)②ホテルキャッスルプラザと連携しての初めての避難訓練



3. (2)2)南宮地区では初めての情報交換。
訓練本番は、猛暑と熊目撃情報により中止



3. (1)3)①はるかぜ保育園での避難経路確認

会、南宮いろは会、地区住民、民生委員、山王公民館、防災人メンバー、わんぱく保育園（大崎市）、地区の郵便局長（多賀城）、一般社団法人 Bird's-eye、危機管理課等）

②避難訓練当日

日 時：令和7年6月19日（木）10:00～（猛暑のため延期）

ルート：つめ草保育園～第二中学校

（園南側のローソンの横断歩道を渡り二中方面へ）

日 時：令和7年10月30日（木）10:00～（熊目撃で中止）

3) 多賀城はるかぜ保育園（高橋地区）※継続2年目

①ルートの確認・地域との情報交換

日 時：令和7年10月6日（月）13:30～15:00

会 場：多賀城はるかぜ保育園

参 加：5団体22人（多賀城はるかぜ保育園、フラワーファーム四季彩・地区の郵便局長（多賀城・高橋・下馬）、一般社団法人 Bird's-eye、危機管理課等

②避難訓練当日

日 時：令和7年10月14日（火）14:00～16:00

ルート：多賀城はるかぜ保育園～山王小学校

（引き渡し訓練）

参 加：21団体132人（多賀城はるかぜ保育園、地区の郵便局長（多賀城・高橋・下馬等）、一般社団法人 Bird's-eye、危機管理課等

4) 認定こども園つむぎ野（鶴ヶ谷地区）※継続3年目

①地域との情報交換

日 時：令和7年10月28日（火）10:00～11:00

会 場：認定こども園つむぎ野 ランチホール

参 加：9団体12人（認定こども園つむぎ野、多賀城中学校、貞山高等学校、天真小学校、鶴ヶ谷児童館、地区の郵便局長（下馬）、一般社団法人 Bird's-eye、危機管理課等）

②避難訓練当日

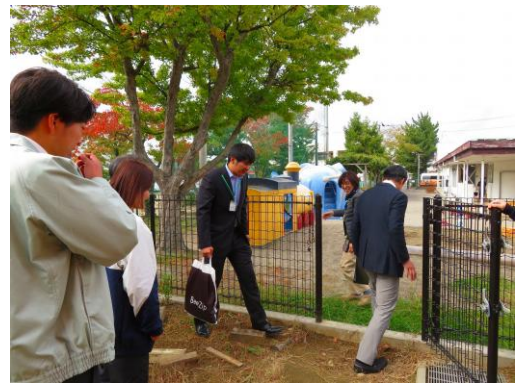
日 時：令和7年11月20日（木）10:30～11:00

ルート：つむぎ野・各施設～天真小学校へ避難

参 加：9団体110人（認定こども園つむぎ野、鶴ヶ谷みまもり隊、多賀城中学校、貞山高等学校、地区の郵便局長（多賀城・下馬）、一般社団法人 Bird's-eye、危機管



3. (1)3) ②避難先での引き渡し訓練を実施



3. (1)4) ①つむぎ野と鶴ヶ谷児童館の柵のカギを共有し、より避難しやすい環境になった



3. (1)4) ②つむぎ野の防災バックを高校生が持って避難のサポートをしている



3. (1)4) ②天真小学校への避難が完了。高校生や地域の人から一言ずついただいた

理課等)

成 果：今年度は3地区の保育園で実施した。鶴ヶ谷地区は3回目ということもあり、地区の見守り隊や貞山高校との連携や小中学校との連携がスムーズに行われた。助ける、助けられる関係ではなく、共に助かるという視点をもって続けていければと感じた。

4. 自治会・町内会活動のヒアリング、情報の蓄積と情報発信事業

(1) 自治会・町内会ヒアリング/相談対応

日 時：通年（ヒアリング）

内 容：夏まつり・秋まつり、地域の防災訓練、子ども会、町内会組織などを主テーマにヒアリングを行った。

成 果：相談であがった「子ども会」についてや、地区の防災訓練、夏まつりなどに関してヒアリングし、さまざまな情報をブログで発信し、事業等でも紹介し他地区の参考にすることができた。

1) ヒアリング

| | | |
|----|-----------------|--------------------------------|
| 1 | 令和7年
6/23（月） | 東田中南自治会
「マンション防災を考える」イベント |
| 2 | 6/28（土） | 下馬東町内会 ふれあいカフェ |
| 3 | 7/6（日） | 城南自治会 城南マルシェ 2025 夏 |
| 4 | 7/26（土） | 地区の夏まつり取材（黒石崎、新田三区、城南、高橋地区、向山） |
| 5 | 7/28（月） | 旭ヶ岡町内会 こども防災イベント |
| 6 | 8/2（土） | 南宮自治会 夏まつり |
| 7 | 8/2（土） | 八幡下一町内会 夏まつり |
| 8 | 8/3（日） | 東田中南 夏まつり |
| 9 | 8/10（日） | 下馬地区 夏まつり |
| 10 | 8/17（日） | 桜木中区 公園活用「リアル野球盤」 |
| 11 | 8/23（土） | 桜木中区 夏まつり |
| 12 | 9/15（月） | 利府町菅谷台 防災リーダー研修 |
| 13 | 10/11（土） | 志引町内会 志引文化祭・秋まつり |
| 14 | 10/12（日） | 桜木南区町内会 秋まつり |
| 15 | 10/19（日） | 城南子ども会育成会
城南ハロウィンウォーク |
| 16 | 10/19（日） | 八幡上一町内会秋まつり |



4. (1)1 東田中南自治会 「マンション防災を考える」



4. (1)1 下馬東町内会 ふれあいカフェ



4. (1)1 城南自治会 城南マルシェ 2025 夏



4. (1)1 下馬夏まつり

| | | |
|----|-----------------|------------------------------|
| 17 | 10/19（日） | 桜木中区町内会
リアルバッティングプレーパーク |
| 18 | 11/3（月） | 七ヶ浜町 防災訓練 |
| 19 | 11/8（土） | 留ヶ谷・高崎・旭ヶ岡・新田中
多賀城市総合防災訓練 |
| 20 | 11/23（日） | 浮島地区子ども会育成会
秋まつり |
| 21 | 11/23（日） | 中央公民館 防災キャンプ@STEP |
| 22 | 令和8年
1/24（土） | 宮城県高校生フォーラム@宮城県庁 |

2) 相談等

| | | |
|----|-----------------|-------------------------------|
| 1 | 令和7年
6/7（土） | 桜木中区町内会 公園・集会所の活用と子どもの見守りについて |
| 2 | 6/12（木） | 桜木北町内会 イベント相談 |
| 3 | 7/14（月） | 八幡下一町内会 敬老会の相談 |
| 4 | 8/19（火） | 桜木中区町内会 公園・集会所の活用 |
| 5 | 8/21（木） | 八幡下一町内会
敬老会の相談 生涯学習団体の紹介 |
| 6 | 10/19（日） | 桜木北区町内会
リアルバッティングプレーパーク実践 |
| 7 | 11/28（金） | 西能ヶ田町内会
個人情報について（地域の子ども） |
| 8 | 12/22（月） | 貞山高等学校→旭ヶ岡町内会
戦後80年について |
| 9 | 令和8年
2/26（木） | 高崎自治会 文化祭の相談 |
| 10 | 3/3（火） | 桜木北区町内会 町内会新聞の相談 |
| 11 | 3/7（土） | 桜木北区町内会 人材に関する相談 |
| 12 | 3/9（月） | 下馬東町内会 夏まつり相談 |
| 13 | 3/23（月） | 新田三区 子ども神輿相談 |
| 14 | 3/25（水） | 城南自治会 セントラルパークでの訓練 |

3) 会議・研修等の参加

| | | |
|---|----------------|--------------------------------------|
| 1 | 令和8年
2/5（木） | 宮城県地域コミュニティ再生支援事業研修・意見交換/みやぎ連携復興センター |
|---|----------------|--------------------------------------|



4. (1)1 志引町内会 志引文化祭・秋まつり



4. (1)1 浮島地区子ども会育成会 秋まつり



4. (1)1 留ヶ谷自治会 多賀城市総合防災訓練



4. (1)2 桜木北区町内会 リアルバッティングプレーパーク実践

| | | |
|---|----------|--|
| 2 | 2/11 (水) | 第 8 回大規模災害公営住宅 自治会交流会
(最終回) /みやぎ連携復興センター等 |
| 3 | 2/19 (木) | テーマ別研究会①/地域コミュニティ課 |
| 4 | 2/21 (土) | テーマ別研究会②/地域コミュニティ課 |

(2) 自治会・町内会の取り組み発信

1) ブログ発信

| | | |
|----|--------------------|--|
| 1 | 令和 7 年
4/15 (火) | 「多賀城みんなの地域学 IV～旭ヶ岡の今は昔～」をアップしました！ |
| 2 | 5/25 (日) | TAGAJ0 地域方程式 I 多賀城高橋地区の秘密を大公開！ |
| 3 | 6/6 (金) | 鈴の花保育園避難訓練に参加しました！ |
| 4 | 6/17 (火) | TAGAJ0 地域方程式 I レポート 高橋地区のひみつ大公開！ |
| 5 | 7/4 (金) | 6 年ぶりの再開！モーニングカフェから「げばひがしふれあいカフェ」へ |
| 6 | 7/6 (日) | 東田中南自治会でマンション防災を考える座談会を開催 |
| 7 | 7/22 (火) | 初の試み！城南マルシェ Vol. 1 |
| 8 | 8/12 (火) | レトロであたたかいこども縁日
黒石崎町内会 |
| 9 | 8/15 (金) | 子どもが主役！
防災意識向上の新田三区夏まつり |
| 10 | 8/19 (木) | 高橋 4 区合同大規模夏まつり
新旧の盆踊りの魅力 |
| 11 | 8/24 (日) | 子どもも大人も一緒に学ぼう！ 旭ヶ岡町内会・東地区西区子ども会の防災イベント |
| 12 | 9/14 (日) | 地元中学校で若い世代も参加！高崎自治会夏まつり |
| 13 | 9/16 (火) | 野田の玉川で花火！向山町内会 |
| 14 | 9/18 (木) | 利府町菅谷台町内会 第 2 期防災リーダー研修を見学しました！ |
| 15 | 9/25 (木) | いろいろな団体が子どもたちを見守る
南宮自治会の夏まつり |
| 16 | 9/26 (金) | タガレンジャーと吹奏楽が盛り上げる！
八幡下一ふれあい夏祭り |



4. (1)3 地域コミュニティ再生支援事業研修・意見交換



4. (1)3 テーマ別研究会①の様子



4. (2)1 レトロであたたかいこども縁日黒石崎町内会



4. (2)1 高橋 4 区合同大規模夏まつり 新旧の盆踊りの魅力

| | | |
|----|-------------------|---|
| 17 | 10/3（金） | 住民交流の灯火を照らす光
東田中南自治会夏祭り |
| 18 | 10/5（日） | リアル野球盤あそびの 2 本立て！
桜木中区町内会 |
| 19 | 10/20（月） | 多賀城はるかぜ保育園の避難訓練に参加 |
| 20 | 10/21（火） | 若い世代の活躍が地域をつなぐ下馬夏祭り |
| 21 | 11/28（金） | TAGAJ0 地域方程式 II 子ども会×地域 |
| 22 | 12/15（月） | 2 回目を開催します！
「TAGAJ0 地域方程式 II」 |
| 23 | 12/26（金） | 多賀城の町内会秋まつりリポート 11 町内
会と子ども会のコラボで地域の賑わいを！
桜木南区町内会 |
| 24 | 令和 8 年
1/20（火） | 子どもを地域で育てるには TAGAJ0 地域方
程式Ⅱ - ② どうする！？どうなる！？
子ども会と町内会 |
| 25 | 3/27（金） | 地区防災訓練レポート ～旭ヶ岡地区～
（旭ヶ岡） |
| 26 | 3/30（月） | 地区防災訓練レポート ～新田中地区～
（新田中） |
| 27 | 3/31（火） | 城南自治会 新集会所お披露目会（城南） |



4. (2)1) 利府町菅谷台町内会 第 2 期防災リーダー研修



4. (2)1) いろいろな団体が子どもたちを見守る
南宮自治会の夏まつり



4. (2)1) 町内会と子ども会のコラボで地域の賑わいを！ 桜木南区町内会



4. (2)1) 住民交流の灯火を照らす光
東田中南自治会夏祭り

アンケート集計結果

1 (1) TAGAJ0 地域方程式 I 次世代×町内会 高橋地区のひみつ (26 件回収/31 人参加)

①年代 (人)

| 20 代以下 | 30 代 | 40 代 | 50 代 | 60 代 | 70 代 | 80 代以上 | 無回答 |
|--------|------|------|------|------|------|--------|-----|
| 0 | 1 | 2 | 5 | 6 | 10 | 1 | 1 |

②住まい (人)

| 浮島 | 城南 | 高崎 | 山王 | 黒石崎 | 旭ヶ岡 | 笠神 | 桜木南 | 高橋 |
|-----|-----|-----|------|------|-----|-----|-----|----|
| 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 3 | 1 | 1 | 2 |
| 高橋北 | 高橋南 | 八幡沖 | 八幡下一 | 七ヶ浜町 | 塩竈市 | 利府町 | 仙台市 | |
| 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | |

③何で知ったか (複数回答可) (人)

| スタッフ | HP・ブログ・SNS | チラシ | 市 SNS | その他 |
|------|------------|-----|-------|-----|
| 13 | 2 | 11 | 1 | 1 |

④満足度 (人)

| 5 (満足) | 4 | 3 | 2 | 1 (不満) |
|--------|----|---|---|--------|
| 13 | 10 | 2 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由 (抜粋)

- ・色々な活動している方の話が聞けて今後の自分の活動の参考になりました。
- ・また開催してください
- ・ゲストの熱い思いや、人としての楽しさ、大切にしているところから共感と人としてのあたたかさを感じた。
- ・もっと時間があるとよかった。具体的な事例がとてもよかった。
- ・時代に即した内容だった

「4」を選んだ理由

- ・高橋地区の活性化がなぜ図られているのかが理解できた
- ・とてもすごいけど、自分の地域では難しいないと思いました。
- ・町内会としてのいろいろな話を聞くことができた。
- ・地域資源を活かした活動が参考になった
- ・年代の違う方々からの意見が聞けてよかった

⑤感想や他の参加者の話から参考になったこと (抜粋)

- ・地域活性化のためには起爆剤が必要で、高橋地区はそれを担っていると理解できました。しかし、ほとんどの町内会には商店会が少なく、いかにして起爆剤を見つけるかが課題と感じた。
- ・地域協働参画活動に結び付けられればいいと思います。
- ・ワークシートはあらかじめ掲示していただけると考える時間が取れたと思います。
- ・出来ることから行うことが大切だと思いました。いろいろな人材の方と出会うきっかけになりました。
- ・“まわりの人を巻き込むことがポイント”を理解

- ・参加した方々の意見を聞くと自分なりに地域の活性化を考えていることに触発されました。
- ・参加して初めて状況を知りました。多賀城は若い世代の方が多いと思っていましたが、高齢化、世代間の乖離があることを知り、認識が改まりました。
- ・人材をどう見つけるかが課題です。役員も忙しい中でやっているので大変です。
- ・商店街目線での地域活性の事例紹介が参考になると思います。仙台市荒浜商店街の子守りプロジェクトや栗原市六日町通り商店街のイベント運営の仕方など
- ・町内化の交流の在り方、取り組み方、高橋地区の取り組みを具体的に知れて良かったです。
- ・本日は人数が多少多かったので、一人一人の意見をもっと聞きたかったです。各地区の取り組みをもっと細かく知りたいので、定期的にこの方程式をやられたらいいと思います。
- ・地域の役員さんたちがどのような思い出他地域活動をされているのか知れて良かったです。
- ・次世代×町内会の活動のゴール設定について、①ゴールをどこに設定しているのか ②成果の物差しはどこに設定しているのか ③持続性を持たせるための工夫について 機会があれば、今後聞いてみたい。
- ・いかに集客を図るかについて、いくつか参考になりました。
- ・新しい活動を知ることができて良かったです。
- ・高橋地区にはすごい人材がたくさんいることが分かった。自分に何が地域できるのか、考える機会に感謝。
- ・町内会とのつながりは活動の強みになるなと気づきました。ゲストが同年のためよい刺激をいただきました。
- ・ゲストの行動力と地域の方の協力素晴らしいと思いました。まず「楽しそう」と思うような取り組みを考えてみたいです。
- ・方程式の考え方
- ・他地区の実状
- ・当町内会と地域事情が大きく異なるが、地域資源（工業地帯）を活かした活動展開を検討していきたい。
- ・ゲストの実験（集客）が面白かったです。基本楽しくやる、やれることをやれるときに同感です！
- ・参考になったことは、高齢者が増える昨今、今後のことを考えると介護に対する意識がわかった事。
- ・代表者を助けて盛り上げてほしい。
- ・巻き込むことを恐れない。

⑥今後情報交換したいテーマなど（抜粋）

- ・地域通貨の取り組みの可能性
- ・若い人の参加しやすいイベントの在り方
- ・地域の高齢者のお付き合いの仕方、交流について
- ・町内会企画
- ・子ども食堂
- ・他地区（多賀城に限らず）の取り組み
- ・町内会を現によく展開している事例を取り上げてほしい。
- ・防災

(2) TAGAJ0 地域方程Ⅱ 子ども×地域 どうする!? どうなる!?子ども会と町内会

1) 情報交換会 (19 件回収/26 人参加)

①住まい (人)

| 浮島 | 南宮 | 旭ヶ岡 | 志引 | 新田一 | 新田三 | 下馬南 | 高橋 | 桜木東 |
|-----|----|-----|------|-----|-----|-----|----|-----|
| 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 桜木南 | 大代 | 鶴ヶ谷 | 七ヶ浜町 | 塩竈市 | 富谷市 | | | |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | |

②何で知ったか (複数回答可) (人)

| スタッフ | HP・ブログ・SNS | チラシ | 広報紙 | その他 | 無回答 |
|------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 6 | 1 | 8 | 1 | 2 | 1 |

③満足度 (人)

| 5 (満足) | 4 | 3 | 2 | 1 (不満) |
|--------|---|---|---|--------|
| 10 | 6 | 3 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由 (抜粋)

- ・子どもに対して温かい思いがあり、世代を超えた子どもたちへのやさしい気持ちがうれしかった。
- ・参考になる意見がたくさんあったので、活かしていきたい。
- ・状況を聞いて、スタートラインが同じでないことが改めてわかったこと。(多賀城市内でも)
- ・他地区のたくさんの意見が聞けた。

「4」を選んだ理由

- ・いろいろな情報が聞けた。
- ・いろいろなヒントが得られた。
- ・各地区の実状を聞くことができ参考となった。

⑤感想や他の参加者の話から参考になったこと (抜粋)

- ・大人が楽しんでいる姿が子どもを誘うのかも。
- ・もっと話す時間が欲しいです。
- ・いろいろな意見を聞いて参考になったが、まだ見えてこない。
- ・子ども会、町内会の形に関係なく、子どもも大人も楽しいイベントをやれたら地域の活性につながると思う。
- ・思った以上にみなさん深く考えているなと思いました。
- ・各町内会で子ども会との関わりに差があり、問題となる部分が散らっていて、そこをつめていければ活動が改善される地区もあるのではと感じた。名簿、個人情報の部分はどうすればよいかというのが正直な感想。
- ・課題は数年前から言われていることで、打破するための思い切りの決断する人がいない。少子化、なり手不足なら現状にあったやり方をするのが必要。分科会がよかった。
- ・子ども会、町内会、関係機関の皆さんがそれぞれの課題や今後の目指すべき方向性を共有することに大きな意義があると思う。子どもたちのために尽力している方々のお話を聞くと自分も頑張ろうというエネルギーをいただくことができた。今日集まった皆さんが力を合わせて、何かをやろうと思ったら、きっと素晴らしいものができると思う。

- ・話を聞いていて感じたのは何かの対価を求める親側へのアプローチが今後の課題という点です。子どもはいつの時代も変わらずに生きているので周りの大人がいかに対話するか。こちらもちょうど色々な事を考え抱えながら生きているのでどちらが正しいではなく子どもや地域を真ん中にどうしたいかを一緒に考えられるといいなと感じました。

⑥今後、学びたいテーマや情報交換したいテーマ、知りたいほかの地区の事例など

- ・シニアと子どもの組み合わせでやっている事例
- ・子ども神輿の実施
- ・南宮いろは会の話を知りたい。どのようなイベントをしたのかを知りたい。
- ・子ども会の支援状況を詳しく知りたい

2) ゲストトーク・ワーク・グループトーク (12件回収/28人参加)

①住まい (人)

| 浮島 | 新田一 | 下馬東 | 下馬南 | 桜木北 | 大代 | 多賀城市 | 仙台市 | 七ヶ浜町 |
|----|-----|-----|-----|-----|----|------|-----|------|
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 2 | 1 |

②何で知ったか (複数回答可) (人)

| スタッフ | HP・ブログ・SNS | チラシ | 市 SNS | その他 |
|------|------------|-----|-------|-----|
| 6 | 2 | 2 | 1 | 2 |

③満足度 (人)

| 5 (満足) | 4 | 3 | 2 | 1 (不満) |
|--------|---|---|---|--------|
| 10 | 1 | 1 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由 (抜粋)

- ・まずは目的をはっきりさせてなど参考になることが多く有意義でした。
- ・みなさんからのいろいろな意見が聞けて大変参考になりました。
- ・情報交換が有意義でした。
- ・いろいろな意見、考え方を知ることが出来た。

⑤感想や他の参加者の話から参考になったこと (抜粋)

- ・防災との関係を話すのが不足していました。
- ・グループトークにもう少し時間が欲しかった。
- ・同じような課題の他にその区特有の問題も共有し、話し合いで今後の活動にどのように落としつけていけるかを考えていきたい
- ・他地区との交流ができて、とても参考になりました。
- ・他地域の事例やアイデアを聞いて参考になった。
- ・ワークが今後に生きそうだった
- ・現場で実際に起きている悩みや工夫が具体的に聞くことができ、市民センターとして地域を支える立場から見ても多くの学びがありました。今後、地域団体と関わる際の視点や声かけのヒントが得られ、実践につなげてい

きたいと感じました。

- ・たがさぼがハブとなって開催されたのが素晴らしいと思います。
- ・自分が活動していたこと以外にやれることが見つかったので良かった。

⑥今後、学びたいテーマや情報交換したいテーマ、知りたいほかの地区の事例など

- ・防災と子ども会の関わり方
- ・サポーター制の例を具体的に聞きたい。
- ・町内会等の大きいイベントの企画、ノウハウ
- ・多賀城市以外の子ども、町内会、PTAの事例紹介
- ・子ども会や町内会の担い手不足を支援する具体的な仕組みづくり
- ・町内会、公民館などの効果的な連携事例
- ・役員の負担軽減や、継続しやすい運営方法
- ・世代を超えた参加を促すための工夫や情報発信の方法
- ・町内会や子ども会などの地域の情報
- ・子供も大事ですが高齢化が進み高齢者にたいしても、なんらかの事を考えたい。

3. (1) 1) 防災人ミーティング1回目 (10件回収/11人参加)

①年代 (人)

| 10代以下 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代以上 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 3 | 5 | 0 |

②住まい (人)

| 新田中 | 城南 | 東田中南 | 高崎 | 旭ヶ岡 | 仙台市 | 七ヶ浜町 | 利府町 |
|-----|----|------|----|-----|-----|------|-----|
| 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

③何で知ったか (複数回答可) (人)

| スタッフ | HP・ブログ・SNS | チラシ | その他 | 無回答 |
|------|------------|-----|-----|-----|
| 3 | 0 | 6 | 0 | 1 |

④満足度 (人)

| 5 (満足) | 4 | 3 | 2 | 1 (不満) |
|--------|---|---|---|--------|
| 9 | 1 | 0 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由 (抜粋)

- ・たくさんの取り組みや能動的な意識を聞けてとても勉強になった
- ・参加者の意識が高い

「4」を選んだ理由

- ・自分の知識不足

⑤参考になったこと、感想など (抜粋)

- ・各地域の取り組みが大変参考になった

- ・情報伝達やLINEの活用
- ・いろいろな地区の方たちとの意見交換の大切さがわかった。
- ・初めての参加でいろいろと学ぶ点が数多くありました。
- ・防災人同士つながると相乗効果が出ると思う。
- ・マンション防災について
- ・防災や地域活動について考えることが少ないので、改めて意識を高める良い機会になりました。

⑥今後、防災に関する多賀城で実践してみたいことやアイデア、話したいテーマなど（抜粋）

- ・要支援者の避難について
- ・防災訓練について
- ・防災人でチームを組んで、問題解決を行う
- ・コミュニティの作り方を学びたい
- ・防災士のみなさんの周囲への広報活動の仕方を知りたい。

3 (1) 2) 防災人ミーティング2回目（12件回収/14人参加）

① 住まい（人）

| 高崎 | 城南 | 東田中南 | 新田中 | 志引 | 塩竈市 | 七ヶ浜町 | 利府町 | 無回答 |
|----|----|------|-----|----|-----|------|-----|-----|
| 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 |

②何で知ったか（複数回答可）（人）

| スタッフ | HP・ブログ・SNS | チラシ | その他 | 無回答 |
|------|------------|-----|-----|-----|
| 1 | 3 | 9 | 0 | 0 |

③満足度（人）

| 5（満足） | 4 | 3 | 2 | 1（不満） |
|-------|---|---|---|-------|
| 7 | 5 | 0 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由

- ・実施した総合訓練の報告や課題を聞くことができたから。
- ・内容が濃い意見・発言が多く、みなさん前向きである。一歩踏み出そう。
- ・他地区の状況を知ることができた。
- ・地域の方々の工夫が分かったので、学校でも取り入れたい。

「4」を選んだ理由

- ・全員の話を聞きたかった。
- ・地域での取り組みを知れて良かった。
- ・いろいろな地域の情報が得ることができた。
- ・情報共有ができて良かった。

④参考になったこと、感想など（抜粋）

- ・自治会の行事すべてを防災訓練につなげてみたい。避難している人も支援者であることもテーマに来年の防災訓練につなげたい。

- ・各町内会が精力的に防災活動をされている体験談や情報を聞くことができた。普段知りえない地域の実状を知れて大変学びになった。
- ・改めて地域との連携の大切さを強く感じた。普段から顔の見える交流や各地域に必要な備品がそれぞれ違っているところなど。
- ・城南地区の LINE 活用、東田中南の 100 円ショップで買うことができる防災用品や評価シートの作成など。
- ・多賀城市の各地区には自主防災組織はあるか。セービングにはあるが実際は自治会役員、班長による体制。
- ・城南地区の在宅避難ヘシフトという観点は新しい。これまでの旧態依然としてはいけない。
- ・学校は地域の財産として、防災に活用する。
- ・訓練参加の増加策
- ・防災訓練の振り返り、意見交換できたことに感謝。楽しく訓練することを覚えた
- ・顔の見える関係性づくりを普段からつくる工夫をしていきたい。

⑤今後、防災に関する多賀城で実践してみたいことやアイデア、話したいテーマなど（抜粋）

- ・子どもと防災クッキングをしたい
- ・行政との連携について
- ・多賀城市は他の市町村より取り組みが進んでいる。防災庁ができるので、多賀城の実例等を内閣府に PR。
- ・防災士の資格取得の補助を行政が後押しすると良い。
- ・外でのフィールドワークができると良い（散歩・防災）
- ・防災人でイベントの企画や地区の防災減災イベントに協力する。
- ・ミーティングだけで終わりにせず、イベントで防災意識を高めていけたらよい。

■全体の事業を通じて参加いただいた市内の自治会・町内会（31 カ所） ※相談、他事業との連携も含む

| | |
|------|--|
| 【東部】 | 1. 鶴ヶ谷親和会 2. 黒石崎町内会 3. 下馬東自治会 4. 下馬南自治会 5. 大代北区町内会
6. 桜木東区町内会 7. 桜木中区町内会 8. 桜木南区町内会 9. 桜木北区町内会
10. 八幡上一町内会 11. 八幡下一町内会 12. 沖区振興会 |
| 【中央】 | 13. 高崎自治会 14. 志引町内会 15. 東田中南自治会 16. 新田中区新交会 17. 旭ヶ岡町内会
18. 留ヶ谷自治会 19. 向山町内会 20. 西能ヶ田町内会 |
| 【西部】 | 21. 新田一区町内会 22. 新田二区町内会 23. 新田三区 24. 高橋東一区町内会
25. 高橋東二区町内会 26. 高橋南区町内会 27. 高橋北区町内会 28. 山王自治会
29. 南宮自治会 30. 城南自治会 31. 浮島地区自治会 |

(3) 新たな地域の担い手発掘・育成事業 1) 新しい人材活動支援事業

| | |
|-----------|--|
| 目 的 | <p>○学生（中学生～大学生）を中心とした若い世代に地域について考える場を提供し、地域の活動や課題に目を向ける市民を増やす。</p> <p>○学びの場や想いの整理の場を提供することで、自ら活動を始める市民を増やす。</p> |
| 背 景 | <p>○NP0 いちから塾は、活動を始める一歩目として潜在的活動者が NP0 などへの理解を深める機会になる。若い世代をはじめとした新しい地域の担い手の発掘を目指す。</p> <p>○雑貨市のボランティアではより主体的な活動になるよう NP0 いちから塾を行う。また、今後もボランティアや市民活動に関わるきっかけになることを目指す。</p> <p>○昨年度は、Tagajo Youth Challenge 部（以下 TYC 部）や、講座外での相談対応を通して自らイベントを企画、実践する若い世代が生まれた。</p> <p>自ら活動を起こす次世代をさらに増やすためには、地域で行われている活動や身の回りの課題を自分事として捉える人材の発掘、育成が必要である。今年度の TYC 部では、参加者自らの力で活動を始めるベースの体験となることを目指す。</p> |
| 対 象 | <p>○中高大学生世代を中心とした未来を担う世代</p> <p>○市民活動やボランティア活動、社会課題に関心を持ち始めた市民</p> |
| 成果目標 | <p>○講座参加者の 8 割以上が市民活動団体やボランティア、地域活動への理解が深まる。</p> <p>○NP0 いちから塾全参加者の 6 割以上が市民活動やボランティア活動に参加する。</p> <p>○講座・相談等でアクションを起こした学生の 7 割以上が関心のある地域の課題や活動を見つけ、次のステップにつながるきっかけになる。</p> |
| 成 果 | <p>○いちから塾後のアンケートでは「市民活動・NP0 について知ることはできたか」という質問（5 段階評価）に 55 人中 52 人（9 割）が「5」または「4」と回答。講座後には市内でボランティアに参加する人も生まれ、市民活動に一步踏み出すきっかけになった。雑貨市では講座で市民活動や雑貨市の趣旨を学んだボランティアが活躍した。</p> <p>○雑貨市には合計 35 人のボランティアが参加。活動や団体との交流をきっかけに、寄付を考えた人の相談にも応じ、手話の習得を考えた人に団体を紹介した。</p> <p>○TYC 部講座後のアンケートで、全ての回で「地域で行われている活動について知ることはできたか」の質問に受講生の 10 割が「5」または「4」と回答。地域の活動や課題について理解を深める機会になった。第 4 回終了後には参加者 8 人中 4 人がアイデアの実現に向けて取り組み始め、内 3 人が今年度中の実践に至った。1 人は次年度の実施を目指しており引き続き伴走支援を行っていく。企画にサポートとして参加した受講生も 2 人おり、合計 6 人が講座を通してアクションを起こすに至った。</p> <p>○実践をした TYC 部参加者 3 人全員と VIBES TAGAJ0 の中心メンバーからは、実践後のアンケートやヒアリングで、今回の経験を大学での学びや次回の活動の機会に活かしたいという感想があがった。主体的な活動により、アイデアを実現させる過程や地域の課題・特徴に対する解像度が高まり、次のステップにつながるきっかけとなった。</p> |
| 次年度に向けた課題 | <p>○地域に愛着を持つ人や自ら行動を起こそうとする人の発掘が進んだ。これらの人が実際にアクションを起こしやすくするため、次年度は地域での包括的な人材育成に近づけつつ、想いを引き出し、できることの可能性を広げるような働きかけを意識したい。</p> |

実施概況（3）新たな地域の担い手発掘・育成事業 1）新しい人材活動支援事業

1. NP0 いちから塾

日 時：令和7年6月20日（金）19:00～20:00

会 場：当センター 301 会議室

対 象：市民活動に関心のある人

市民活動やボランティアを始めようと思っている人

講 師：スタッフ伊藤

ガイド：スタッフ小林

内 容：NP0・市民活動やボランティアについての基礎講座
と当センター機能の紹介

参 加：6人

成 果：NP0 や市民活動の基本を知ってもらう機会になった。
また共通の課題意識を持っている参加者が多く、講座
を通して参加者同士のつながりも生まれた。

2. Tagajo Youth Challenge 部 vol.2 (TYC 部)

日 時：令和7年7月～12月の期間中に5回開催

（詳細の日時は下記参照）

会 場：SHARE LOUNGE 多賀城、当センター

対 象：地域活動に興味関心のある学生（中学生～大学生）

内 容：活動者からのお話、フィールドワークを通して市民活
動や地域課題について知り、自身の興味のあることや、
地域の中で挑戦してみたいことを考える。講座内で考
えたことをベースに企画・実践する。

申 込：8人

（1）第1回

日 時：令和7年7月13日（日）13:30～15:30

会 場：SHARE LOUNGE 多賀城

ゲスト：佐々木湧雅さん（個人事業 tenpa 代表）

内 容：TYC 部の説明と、ゲストからの学生時代の活動や現
在の活動、地域に関わりはじめたきっかけのお話。エ
ンゲージメントカードを使ったワーク。

参 加：4人

（2）第2回

日 時：令和7年7月26日（土）14:00～16:00

会 場：当センター 301 会議室



1. (1) 講座の様子



1. (1) 写真でフリースペースの活用例を紹介



2. (1) SHARE LOUNGE 多賀城での講座の様子



2. (2) 書き出した意見を全員で共有

ゲスト：小野寺香那恵さん（市民活動 KuuU FuUU）

内 容：ゲストからの、活動のきっかけや実践の過程での地域とのつながり、現在目指していることのお話。地域の課題・魅力だと思ふ要素を挙げ、そのうち関心のある部分を書き出すワーク。

参 加：6 人

（3）第3回

日 時：令和7年8月23日（土）14:00～16:00

会 場：当センター 301 会議室

ゲスト：菅野伸昭さん（多賀城マルシェ実行委員会）

布川育美さん（高橋商店会はしご部）

内 容：ゲストからの、活動のきっかけや活動を続けていく中で意識していることなどのお話。参加者のやってみたいことについて、ゲストを交えてのトーク。

参 加：3 人

（4）第4回

日 時：令和7年9月27日（土）14:00～16:00

会 場：当センター 3 階フリースペース

ゲスト：佐々木湧雅さん（個人事業 tenpa 代表）

内 容：ゲストから活動をする際に意識していることなどの具体的なお話と、参加者の企画案の共有、実践に向けた企画の具体化するワーク。

参 加：4 人

（5）TYC 部アクション

1) きっずボランティア講座④での実践

日 時：令和7年11月29日（土）13:45～15:00

会 場：当センター 301 会議室

対 象：きっずボランティア講座参加者（小学生）

内 容：企画者自身のボランティア経験についてのお話、カードを使って通学路にある課題や良いところなどを話し合うグループワーク。

実 施：TYC 部受講者1人

参 加：14 人



2. (3) ゲストから参加者それぞれのアイデアに対してアドバイス



2. (4) 企画案をお互いに発表



2. (5)1) グループワークで子どもたちから意見を引き出す TYC 部参加者



2. (5)1) 経験したボランティアについても説明

2) 雑貨市での出店

日 時：令和7年12月14日（日）9:30～16:00
 会 場：当センター 第2和室
 対 象：雑貨市来場者
 内 容：雑貨市での松ぼっくりを飾り付けるワークショップの
 出店
 実 施：TYC 部受講者3人
 参 加：49人



2. (5)2) TYC 部参加者のブースの様子

3) ペタペタ！わくわく！春の工作ワークショップ

日 時：令和8年3月15日（日）11:00～14:00
 会 場：当センター 302 会議室
 対 象：小学生を中心に全年齢
 内 容：シールでデコレーションする葉と、花紙でつくるフラ
 ワーポットのワークショップ
 実 施：TYC 部受講者1人、その他3人
 参 加：30人



2. (5)2) 一緒に手を動かしながら作り方を指南

(6) TYC 部 企画の実施に向けた個別の相談対応

日 時：令和7年7月～令和8年3月の期間に合計13回実施
 会 場：当センター
 参 加：4人
 内 容：TYC 部参加者のうち特に実践したい企画を持ってい
 た4人に対して個別での相談時間を設けた。

成 果：受講者に、ゲスト講話や交流、ワークを通して身近な
 課題や地域との関り、アイデアを実現に必要な考え方
 を学ぶ機会を提供できた。またそれぞれに寄り添って
 企画の整理を行い、企画から当日の実践までを受講者
 自身が主体となっていく機会を提供できた。実践の過
 程では市民活動団体や地域住民などから協力を得られ
 る場面もあり、新しいつながりが生まれた。



2. (5)3) 子どもの目線に合わせて話すボラン
 ティア

3. 学校からの依頼

(1) 仙台育英学園高等学校

1) ボランティア授業 第1回

日 時：令和7年6月20日（金）14:00～15:50
 会 場：当センター 301 会議



2. (5)3) 子どもとの交流が生まれやすいよう
 意識し、材料は受付にまとめて設置

対 象：多賀城校舎 2、3 年次の内、ボランティア授業の受講者
内 容：NPO やボランティアの基礎講座、当センター機能紹介、
tag を使用したワーク
参 加：3 人

2) ボランティア授業 第2回

日 時：令和7年7月4日（金）14:00～15:50
会 場：当センター 301 会議
対 象：多賀城校舎 2、3 年次の内、ボランティア授業の受講者
内 容：当センター事業紹介、フードバンク事業団体とその活
動内容紹介、フードボックス作成
参 加：3 人

（2）多賀城市立高崎中学校

1) 総合的な学習の時間

日 時：令和7年9月8日（月）9:50～11:50
会 場：多賀城市立高崎中学校 3 学年各教室
対 象：多賀城市立高崎中学校 3 学年 4 クラス
ゲスト：1）高橋伸さん（城南自治会）
2）大友幸証さん（NPO 法人いのちのパン）
3）布川育美さん（高橋商店会はしご部）
4）長瀬拓真さん（（株）プラスヴォイス）
内 容：防災、食、地域経済、ユニバーサル、それぞれのテー
マに沿ったゲストから 10 分ずつのプレゼン。プレゼ
ンを聞いて興味を持ったテーマを個人で探究。
参 加：162 人

2) 総合的な学習の時間 探究活動の発表

日 時：令和7年11月14日（金）9:35～12:10
会 場：多賀城市立高崎中学校 3 学年各クラス
対 象：多賀城市立高崎中学校 3 学年 4 クラス
ゲスト：高橋伸さん（城南自治会）
大友幸証さん（NPO 法人いのちのパン）
布川育美さん（高橋商店会はしご部）
長瀬拓真さん（（株）プラスヴォイス）
内 容：9 月のゲストプレゼンを聞き興味を持ったテーマにつ
いて、学生それぞれが探究を進めた内容の発表。
参 加：162 人



3. (1)1) はじめに NPO について説明



3. (1)2) フードボックスのポップなどを作成



3. (2)1) ゲスト長瀬さんの手話を使ったお話
内容は当センタースタッフによる読み上げも
実施



3. (2)2) それぞれのクラスで探究内容を発表

(3) 宮城県貞山高等学校

1) 総合的な探究の時間「地域国際交流活動」第 1 回

日 時：令和 7 年 9 月 24 日（水）13:00～13:45

会 場：宮城県貞山高等学校 多目的室

対 象：宮城県貞山高等学校 3・4 年次

ゲスト：中川真紀子さん（NPO 法人地球対話ラボ）

内 容：宮城県、多賀城地域の現状から、どうして技能実習生は日本にやってきたのか、どうやってきたのかなどのお話。

参 加：64 人

2) 総合的な探究の時間「地域国際交流活動」第 2 回

日 時：令和 7 年 12 月 3 日（水）13:00～13:45

会 場：宮城県貞山高等学校

対 象：宮城県貞山高等学校 3・4 年次

ゲスト：中川真紀子さん（NPO 法人地球対話ラボ）

株式会社武蔵野仙台工場のベトナム人技能実習生 5 人、
インドネシア人技能実習生 1 人

株式会社武蔵野仙台工場管理組合 2 団体

内 容：ベトナム人とインドネシア人技能実習生を交えてなんでもバスケットと質問タイムを実施。全体のコーディネートに NPO 法人地球対話ラボが担当。

参 加：68 人

3) 総合的な探究の時間「地域理解講話」

日 時：令和 7 年 10 月 22 日（水）13:00～14:40

会 場：宮城県貞山高等学校

対 象：宮城県貞山高等学校 2 年次

ゲスト：小野寺香那恵さん（市民活動 KuuU FuUU）

久保田靖郎さん（カフェレストラン SEASAW）

内 容：ゲストそれぞれからの、経験から学んだことや今の取り組みについての講話。

参 加：68 人

成 果：中高生が市民活動団体や地域住民と直接交流し、活動の話を聞き地域課題を知る機会を提供できた。また、地域に暮らす外国人との交流の機会を提供できた。



3. (3)1) 多目的室の様子



3. (3)2) 4 クラスを 2 クラスごとに分けて実施



3. (3)3) Instagram も活用し生徒に活動を説明

4. 「たがさぼのクリスマス雑貨市」ボランティア

※たがさぼのクリスマス雑貨市、雑貨市集会の詳細については、107 ページ「市民参画促進事業」の報告書を参照。

(1) 雑貨市ボランティア事前説明会

日 時：令和7年11月29日（土）13:30～14:00

会 場：当センター 302 会議室

内 容：雑貨市の目指すところや市民活動の意味などの説明、雑貨市当日の活動についての説明。

参 加：20 人

成 果：当センターが雑貨市で目指すところをボランティアと共有することができた。講座後の雑貨市集会での団体との交流、前日と当日のボランティア活動への意欲向上の機会となった。

(2) 雑貨市ボランティア前日準備講座

日 時：1) 令和7年12月13日（土）10:00～12:00

2) 令和7年12月13日（土）13:00～15:00

会 場：当センター 全館

内 容：市民活動について説明する NPO いちから塾の実施。机や椅子などの移動といった会場準備や装飾、パンフレットの帳合作業などのボランティア活動。

参 加：23 人

成 果：講座後、リーダーシップを発揮する人や装飾のアイデアを提案する人など自発的に動く参加者が生まれた。学校や地域をまたいだ近い世代同士の交流の機会にもなっていた。

(3) 雑貨市ボランティア当日

日 時：令和7年12月14日（日）8:30～16:00

会 場：当センター 全館

内 容：雑貨市での運営の補助または出店団体の販売やワークショップなどの補助を行うボランティア活動。雑貨市終了後には活動の振り返りを実施。

参 加：14 人

成 果：新たな試みとして行ったボランティアによる館内アナウンスをはじめ、それぞれが担当場所で力を発揮した。活動を通して団体などと交流しつながりが生まれるなど参加者にとって次の一歩につながるような新たな気づきや出会いの機会になった



4. (1) 雑貨市集会・雑貨市に向け説明を受ける参加者



4. (2) ボランティア同士で協力し机を移動



4. (2) 一斉にパンフレットにマップなどを帳合



4. (3) ボランティアと担当団体の交流の様子

5. 若い世代の活動実践の支援

(1) VIBES TAGAJ0 高校生によるイベント実施に向けた相談対応

期 間：令和7年2月～8月

内 容：昨年度から継続し、ボランティアの受け入れや運営の相談、広報の協力など、ポイントで支援を行った。

成 果：若者の力で地域を盛り上げたいという想いの通り、高校生の実行委員11人を中心にイベントが開催された。前年度紹介をしたTAP多賀城など市民活動団体のサポートがあった一方で、VIBES TAGAJ0のメンバーが団体の活動を手伝うなど、活動年数の長い団体と次世代の活動の間で新しい関係も生まれた。

(2) WeeeeeeeK（宮城大学事業構想学群）実施に向けた伴走支援

期 間：令和7年6月～10月

内 容：主に、企画の整理や市内での実施方法について相談を受けた。また、昔の多賀城の写真を提供した。

成 果：複数ある企画案についてアドバイスを行ったところ、「多賀城 記憶の壁」プロジェクトの実施に至った。実施や展示場所として当センターフリースペースとたがマルシェ、高橋商店会はしご部を紹介。各団体とつないだ。プロジェクトには合計で約120人が参加した。



4. (3) 振り返りでは、各自感想を共有



5. (1) ステージの様子。フリマ・飲食ブースにも同様に多くの市民が訪れた



5. (2) たがマルシェや同日開催の万葉まつりに訪れた市民が立ち寄っていた

アンケート集計結果

1. NP0 いちから塾（6 件回収/6 人参加）

①年代（人）

| 10 代以下 | 20 代 | 30 代 | 40 代 | 50 代 | 60 代 | 70 代 | 80 代以上 |
|--------|------|------|------|------|------|------|--------|
| 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 |

②住まい（人）

| 多賀城市 | 塩竈市 | 七ヶ浜町 | 利府町 | 松島町 | 仙台市 | その他 |
|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |

③講座をどこで知ったか（複数回答可）（人）

| スタッフ | HP・ブログ・SNS | チラシ | 市 SNS | その他 |
|------|------------|-----|-------|-----|
| 3 | 2 | 1 | 0 | 1 |

④満足度（5 段階評価）（人）

| 5（満足） | 4 | 3 | 2 | 1（不満） |
|-------|---|---|---|-------|
| 4 | 2 | 0 | 0 | 0 |

⑤NP0・市民活動への理解度（5 段階評価）（人）

| 5（理解） | 4 | 3 | 2 | 1 |
|-------|---|---|---|---|
| 4 | 2 | 0 | 0 | 0 |

⑥始めてみたい活動やもっと詳しく知りたいこと（抜粋）

- ・具体的な活動はまだ考えていませんが、いろいろ勉強しながら考えていきたいと思います。
- ・子ども食堂やフードバンクなどのボランティア希望。
- ・子どもの居場所づくり（子ども食堂）、防災活動にも興味があります。

⑦講座で学んだことや質問・感想（抜粋）

- ・NP0 についてわかりやすい説明で流れなどのイメージができました。社会、地域の課題をどう解決、お手伝いできるか自分のできる範囲で活動をしていきたいと思います
- ・たがさぼセンター内で何をされているのか知ることができて良かったです。あっという間に過ぎちゃったのでまた機会があったら参加したいです。
- ・NP0 をたちあげるのは大変なんですね。何か自分に出来ることがあると思うので、積極的に参加したい。

2. Tagajo Youth Challenge 部 Vol.2

（1）第 1 回（4 件回収/4 人参加）

①年代（人）

| 10 代 | 20 代 |
|------|------|
| 3 | 1 |

②住まい（人）

| 多賀城市 | 塩竈市 | 七ヶ浜町 | 利府町 | 松島町 | 仙台市 | その他 |
|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

③満足度（5段階評価）（人）

| 5（満足） | 4 | 3 | 2 | 1（不満） |
|-------|---|---|---|-------|
| 4 | 0 | 0 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由（抜粋）

- ・自分のやりたいことが今回の話し合いで見えたから。また、まちづくりにもいろんな形があると知り、好きを伝える方法がたくさんあって驚いた
- ・同学年や同世代の方とお話しできる機会や場所があるのが楽しかった。ゲストの活動を知って、自分もこのくらいのアクションできたらなと思ったから

④地域で行われている活動への理解度（人）

| 5（理解） | 4 | 3 | 2 | 1 |
|-------|---|---|---|---|
| 4 | 0 | 0 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由（抜粋）

- ・富谷市の活動を聞いてみて、多賀城市でもやりたいと感じた。私自身お祭りが好きなので、祭り良さを地域の人にもっとしてほしい思う。
- ・実際に自分が参加したことのあるイベントや活動があり、また参加したいなという気持ちと、出店・主催側にもなりたいたと思ったから。

⑤ゲストへの質問、詳しく知りたいこと・興味のあること（抜粋）

- ・イベントを運営する上で、一番大変だと思ったことが知りたい。
- ・活動やイベント、プロジェクトを始めるに至るまでどんなことをするのか知りたいと思います。

⑥講座の感想、次回までに挑戦してみたいこと（抜粋）

- ・いろいろな分野に興味があるので興味のあること本当に自分がやりたいことを見つけたいと思った。
- ・アイデアを出すことが必要だと感じたので、アイデアを浮かべたいです。

（2）第2回（6件回収/6人参加）

①年代（人）

| 10代 | 20代 |
|-----|-----|
| 3 | 3 |

②住まい（人）

| 多賀城市 | 塩竈市 | 七ヶ浜町 | 利府町 | 松島町 | 仙台市 | その他 |
|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| 4 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 |

③満足度（5段階評価）（人）

| 5（満足） | 4 | 3 | 2 | 1（不満） |
|-------|---|---|---|-------|
| 6 | 0 | 0 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由（抜粋）

- ・ゲストのお話を聞き、自分の好きなものやことと地域のことを組み合わせることが楽しそうだなと思った。今まで好きなこととの組み合わせということが思いつかなかったのもとても良い気づきになった。
- ・今までの活動フィールドとは異なる場所で同世代の方々と「地域」のことについて意見交換ができた。

④地域で行われている活動への理解度（人）

| 5（理解） | 4 | 3 | 2 | 1 |
|-------|---|---|---|---|
| 6 | 0 | 0 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由（抜粋）

- ・クウフウさんの活動は初めて知ったが、大変面白い企画を詳細に知ることができた。
- ・振り返ってみると多賀城でたくさんのイベントをやっていると実感しました。

⑤ゲストへの質問、詳しく知りたいこと・興味のあること（抜粋）

- ・イベントを開催する際の団体を細かく知りたいです。
- ・今後夏まつり事業などでマチトリンクと協働して何か挑戦させていただくことは可能でしょうか？

⑥講座の感想、次回までに挑戦してみたいこと（抜粋）

- ・お金の関連することに目を向けてアイデアを考えてみたいです。
- ・貴重なお話お聞かせいただきありがとうございました！！同世代のつながりをGetできて嬉しいです！次回もっと実践、企画ベースで、アイデアについて詰めていきたいです。

（3）第3回（3件回収/3人参加）

①年代（人）

| 10代 | 20代 |
|-----|-----|
| 1 | 2 |

②住まい（人）

| 多賀城市 | 塩竈市 | 七ヶ浜町 | 利府町 | 松島町 | 仙台市 | その他 |
|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

③満足度（5段階評価）（人）

| 5（満足） | 4 | 3 | 2 | 1（不満） |
|-------|---|---|---|-------|
| 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由（抜粋）

- ・講師の方々が親身になってお話を聞いてくださってとても参考になりました。
- ・実践的なお話を聞けたり、自分のアイデアについて貴重なご意見をいただけたから。

④地域で行われている活動への理解度（人）

| 5（理解） | 4 | 3 | 2 | 1 |
|-------|---|---|---|---|
| 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由（抜粋）

- ・地域の団体や多賀城周辺の市や町の団体さんが協力していることを知らなかったので知れてよかったです。
- ・定期的なものについて知ることができたから。

⑤講座の感想、次回までに挑戦してみたいこと（抜粋）

- ・実践的なアイデアを考えいきたいと思いました。
- ・色々できそうなことを考えてみて、それらをまとめたい。

（4）第4回（4件回収/4人参加）

①年代（人）

| 10代 | 20代 |
|-----|-----|
| 2 | 2 |

②住まい（人）

| 多賀城市 | 塩竈市 | 七ヶ浜町 | 利府町 | 松島町 | 仙台市 | その他 |
|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

③満足度（5段階評価）（人）

| 5（満足） | 4 | 3 | 2 | 1（不満） |
|-------|---|---|---|-------|
| 4 | 0 | 0 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由（抜粋）

- ・人に話すことで新しい視点や今後の指針が決まったので参加してよかったと思いました。知らない団体や活動を知れてよかったです。
- ・話し合いを通して様々な考えが分かり、考えをまとめられた気がしました！

④地域で行われている活動への理解度（人）

| 5（理解） | 4 | 3 | 2 | 1 |
|-------|---|---|---|---|
| 3 | 1 | 0 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由（抜粋）

- ・講師の方の活動や、やりたいイベントの一例としての活動を知ることができました。
- ・多賀城で行われていることで新しいことが知れた。

「4」を選んだ理由（抜粋）

- ・1～3回に参加ができず、直接お話を聞くことができなかった分雰囲気十分にわからないことがあったので4ですが、対面だったら5です！

⑤ゲストへの質問、詳しく知りたいこと・興味のあること（抜粋）

- ・コーヒー飲みに行きたいです！！

⑥講座の感想、次回までに挑戦してみたいこと（抜粋）

- ・ゲストの方の経験など普段は聞けない裏側の話も聞けたのがよかったです。

（５）第５回（３件回収/５人参加）

①住まい（人）

| 多賀城市 | 塩竈市 | 七ヶ浜町 | 利府町 | 松島町 | 仙台市 | その他 |
|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

②満足度（５段階評価）（人）

| 5（満足） | 4 | 3 | 2 | 1（不満） |
|-------|---|---|---|-------|
| 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由

- ・新しい経験をたくさんできたからです。
- ・定期的に話し合いをし、以前からやりたかった事が実現できて嬉しかったです。
- ・混み具合が極端になることもなく、ちょうどいい塩梅で1組1組対応できた。参加者の年齢層も狙っていたターゲットに合っていた。楽しかったシールは沢山貼ってくれたし、工作はだれでも楽しんでもらっていた。

③これまでの活動や準備で面白いと思ったこと・嬉しかったこと

- ・自分が思っていたよりも子どもたちから沢山の意見が出ていたことが嬉しかったです。カード作成では、どのようなカードにしたら手取りやすいかを考えるのが面白かったです。
- ・様々な人の講義を聞いたり、ワークショップの準備をしたりの準備期間が一番楽しかったです。
- ・子どもの発想力やこだわり、どんどん出してくる課題が面白くて学びでした。開始時間より早めにきて、楽しみにしてくれるのがうれしかった。

④これまでの活動や準備で難しかったこと・自分にとってチャレンジだったこと

- ・初めて自分で計画を立てて実行したので、スムーズに計画を進めることが大変でした。
- ・年齢層や気をつけなければいけない事など、様々な想定しなければならなかったため大変でした。
- ・参加者の人数想定が難しかった。価格設定が難しかった。大人と子どもの金銭感覚の違いが見られた。チラシの作成や登録が初めてだったのでチャレンジだった。

⑤今後さらにチャレンジしてみたいこと、詳しく知りたいこと

- ・子どもだけでなく、その保護者の方々からも意見を集めてみたいと思いました。子どもを気にかける上での視点もさらに知りたいと思いました。
- ・もっと多くの人に集まってもらうためにはどうしたら良いか考えてみたいです。
- ・提供できる工作数を増やしたい。世代ごとのイベントにチャレンジしたい。

⑥講座の感想や学んだこと

- ・子どもの視点は単純ではなく大人の会話をよく聞いていることが分かりました。世代、住む場所、性別により視点が全く違う。今後はまちづくりを目指す上で、多様な方の立場の視点に気付けるようにしていきたい。
- ・今までの講義やグループワークから、イベントの企画運営の大変さを知りましたが、それよりも興味を持った

ことに対し、チャレンジするという精神性を持って主体的に活動していきたいと思いました。

- ・子どもメインのイメージにバイアスがあったことに気が付いた。こんな自由なんだ！犬より猫。キラキラシールが人気で、好みの傾向が分かった。イベント作りのあたまから当日までを体験することができた。

3. 学校からの依頼

(4) 仙台育英学園高等学校 ボランティア授業

1) 第1回 (2件回収/3人参加)

①満足度 (5段階評価) (人)

| 5 (満足) | 4 | 3 | 2 | 1 (不満) |
|--------|---|---|---|--------|
| 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由

- ・NPOとは何かだけではなく、施設の中も案内していただき自習スペースなど今後利用したいと思った。

「4」を選んだ理由

- ・NPOがどんな団体なのかが分かりました。

②市民活動・NPOについて知ることができたか (5段階評価) (人)

| 5 (理解) | 4 | 3 | 2 | 1 |
|--------|---|---|---|---|
| 0 | 2 | 0 | 0 | 0 |

「4」を選んだ理由

- ・どのようなボランティア活動があるのか、地域でのどのような交流をしているかを知りたいです。
- ・NPOの活動はお金をもらっていけないというわけではなく、お金をもらって自分たちの活動に役立てるということを知りました。

③始めてみたい活動やもっと詳しく知りたいこと

- ・イベントの準備やごみ拾いなど。
- ・どのようなボランティア活動があるのか、地域でどのような交流をしているかを知りたいです。

④講座で学んだことや質問・感想

- ・今回の講座で地域の様々な活動を知ることができたので、これから地域に貢献できるようにしていきたい。

2) 第2回 (3件回収/3人参加)

①満足度 (5段階評価) (人)

| 5 (満足) | 4 | 3 | 2 | 1 (不満) |
|--------|---|---|---|--------|
| 2 | 1 | 0 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由

- ・今回はフードドライブという活動を知って自分でもこのような活動に取り組みたいと思いました。
- ・フードバンクのことなどを学び、実際にフードボックスの設置の手伝いなどをして楽しく学ぶことができた。

「4」を選んだ理由

- ・フードボックスに貼る紙を作製することが楽しかったし、いい経験になった。

②市民活動・NP0について知ることができたか（5段階評価）（人）

| 5（理解） | 4 | 3 | 2 | 1 |
|-------|---|---|---|---|
| 2 | 1 | 0 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由

- ・NP0とはどのようなものか、前回に引き続き知ることができました。
- ・前回も含めてNP0がどういう活動をしているのか、などが分かりやすく書いてある資料などもあって、詳しく知ることができました。

「4」を選んだ理由

- ・フードバンクという活動をしていることが分かった。

③始めてみたい活動やもっと詳しく知りたいこと

- ・会場の設置や地域の人々に貢献できることがしたいです。

④講座で学んだことや質問・感想

- ・今回はフードドライブのポスターを作成し、少しでも多くの人々に協力してもらいたいと思いました。

4.「たがさぼのクリスマス雑貨市」ボランティア

（1）雑貨市ボランティア事前説明会（19件回収/20人参加）

①年代（人）

| 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 16 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |

②住まい（人）

| 多賀城市 | 塩竈市 | 七ヶ浜町 | 利府町 | 松島町 | 仙台市 | その他 |
|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| 8 | 1 | 2 | 0 | 1 | 6 | 1 |

③雑貨市ボランティアへの参加経験（人）

| 初めての参加 | 参加したことがある |
|--------|-----------|
| 18 | 1 |

参加理由（抜粋）

- ・地元である多賀城でボランティアに参加したかったから。
- ・習い事でたがさぼを利用しており興味があったから。
- ・前回参加したときにたくさんのことを学んで勉強になったから。

④ボランティア活動経験（人）

| 活動したことがある | 活動したことがない |
|-----------|-----------|
| 15 | 4 |

活動したボランティア（抜粋）

- ・保育所や障がい者施設でのお祭り補助
- ・認知症カフェや多賀城大学受付
- ・多賀城小学校でのケアブレンドカフェのイベント

⑤雑貨市についての理解度（人）

| 5（理解） | 4 | 3 | 2 | 1 |
|-------|---|---|---|---|
| 17 | 1 | 1 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由（抜粋）

- ・個性豊かな出店やどんな目的で参加をしているのかを知ることができたから。
- ・一人一人が主体となり、より多くの人と関わるのが大切だと気が付いたから。

「3」を選んだ理由（抜粋）

- ・お互いさまチケットについてよく分かった。

⑥地域で行われている活動への理解度（人）

| 5（理解） | 4 | 3 | 2 | 1 |
|-------|---|---|---|---|
| 16 | 3 | 0 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由（抜粋）

- ・様々な雑貨などを作っている団体があり、興味深かった。
- ・お互いさまチケットのことを初めて知りました。自分が受けた親切を誰かに贈るということは大切で、それをチケットというかたちにすることはとても良いと感じました。

「4」を選んだ理由（抜粋）

- ・ボランティアに今年度からよく参加しようと思い調べていたが、出店団体の方々など初めてなものが多く、まだまだ知らないことがたくさんあると思った。
- ・普段地域活動に触れないので、理解できました。

⑦感想または雑貨市への意気込み（抜粋）

- ・恩送りというとても暖かいものを知ることができました。より良いイベントになるよう全力でボランティアとしてサポートさせていただきます。
- ・緊張していましたが、皆さんの楽しげな雰囲気当日も楽しくボランティアができそうと思いました。こういう場は初めてなので自ら積極的に動けたらと思います。
- ・自分が想像していた以上の人数や団体関わっていて、とても驚きました。だからこそイベントの成功のためにも微力ながら貢献できるように頑張りたいと思います。

⑧集会に参加しより詳しく知りたいと思った活動や分野、または雑貨市で経験したいこと（抜粋）

- ・恩送りやお互いさまチケットについて詳しく調べてみようと思います。
- ・就労支援はどのような活動をしているのか気になりました。A型、B型とは何か気になりました。
- ・イベントまで少しでも手話を覚えてお話できたらいいなと思います。

（2）雑貨市ボランティア前日準備（23 件回収/23 人参加）

①年代（人）

| 10 代 | 20 代 | 30 代 | 40 代 | 50 代 | 60 代 | 70 代以上 |
|------|------|------|------|------|------|--------|
| 19 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |

②住まい（人）

| 多賀城市 | 塩竈市 | 七ヶ浜町 | 利府町 | 松島町 | 仙台市 | その他 |
|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| 9 | 3 | 1 | 0 | 1 | 9 | 0 |

③ボランティア活動の満足度（人）

| 5（満足） | 4 | 3 | 2 | 1（不満） |
|-------|---|---|---|-------|
| 19 | 3 | 1 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由（抜粋）

- ・大学生とは関わることが少なくほとんど初めてだったが、小さい子も楽しめるような飾り付けができたから。
- ・若い人達に混ぜていただいて楽しく活動させてもらい感謝です。

「4」を選んだ理由（抜粋）

- ・装飾するのが楽しかったから。
- ・楽しく話ながら活動でき、役に立てたと感じたため。

「3」を選んだ理由（抜粋）

- ・いろいろな人と協力して飾り付けをしたから。

④活動で意識したことや気が付いたこと（抜粋）

- ・できるだけ明るくなるような装飾を意識しました。
- ・積極的に他の人達と話したことで、打ち解け合いながら準備できたことが良かったです。
- ・小さい子がけがをしないように机や飾り付けを行い。安全に楽しんでもらうことを意識した。

⑤地域で行われている活動への理解度（人）

| 5（理解） | 4 | 3 | 2 | 1 |
|-------|---|---|---|---|
| 19 | 3 | 1 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由（抜粋）

- ・地域の人がたくさん集まる素敵なイベントだと分かったから。
- ・多賀城でやっていることを知らなかったので、自分の地域について知れて良かったです。

「4」を選んだ理由（抜粋）

- ・いろいろな活動があるようなので、まだまだです。
- ・オリジナルのキャラクターが誕生した理由を知れたため。

「3」を選んだ理由（抜粋）

- ・売上げの一部を工賃にしたりなど活動の理由を知れたため。

⑥今後もボランティア活動に参加したいと思うか（人）

| 思う | 思わない |
|----|------|
| 22 | 0 |

⑦感想や雑貨市への意気込み（抜粋）

- ・前日の2時間だけだったけど、次回は午後も来年参加したいと思います。
- ・普段関わる機会が少ない中学生や高校生の子とも話をすることができました。クリスマス雑貨市がよりよくな

るように自分にできることを探して頑張りました。

- ・本日の準備でいろいろな役目のできたので、明日の雑貨市も活躍できるように頑張ります。

(3) 雑貨市ボランティア当日 (14 件回収/20 人参加)

①年代 (人)

| 10 代 | 20 代 | 30 代 | 40 代 | 50 代 | 60 代 | 70 代以上 |
|------|------|------|------|------|------|--------|
| 13 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

②住まい (人)

| 多賀城市 | 塩竈市 | 七ヶ浜町 | 利府町 | 松島町 | 仙台市 | その他 |
|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| 4 | 0 | 1 | 0 | 3 | 5 | 0 |

③活動全体の満足度 (5 段階評価) (人)

| 5 (満足) | 4 | 3 | 2 | 1 (不満) |
|--------|---|---|---|--------|
| 12 | 1 | 1 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由 (抜粋)

- ・予想していた以上に、悪天候の中でもイベントが盛り上がっていたので、こちら側もとても楽しく活動することができました。
- ・お手伝いする先の方とお話しながら楽しく活動できて、利用者さんとも仲良くなることができたため。

「4」を選んだ理由 (抜粋)

- ・初めての雑貨市ボランティアでしたが、周りの優しい方々に支えられ、楽しい思い出ができました。

「3」を選んだ理由 (抜粋)

- ・つかれたけど楽しかったから。

④活動で意識したことや気が付いたこと (抜粋)

- ・お客さんに笑顔で挨拶や、丁寧な接客を意識していましたが、緊張して思うように動けなかったので気をつけたいと思いました。
- ・耳が聞こえない人と話すには手話もあるけれどジェスチャーでも話すことができると気が付きました。
- ・笑顔がたくさんあって素敵だなと思いました。

⑤団体やボランティア、来場者との交流 (5 段階評価) (人)

| 5 (できた) | 4 | 3 | 2 | 1 (できなかった) |
|---------|---|---|---|------------|
| 11 | 2 | 1 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由 (抜粋)

- ・小さい子からご高齢の方までたくさんのかたと入口で話しかけたり、接することができた。
- ・来場者さんと超仲良くなれました。外国人の方ともお話しして英語を話してみたり、マジシャンの方にマジックをしてもらったり、有意義な時間でした。

「4」を選んだ理由 (抜粋)

- ・地域の方々や高齢者の方々と商品を購入し合えてよかった。

「3」を選んだ理由（抜粋）

- ・アナウンスをしていたため、きつずボランティアとの交流ができなかった。

⑥地域で行われている活動への理解度（人）

| 5（理解） | 4 | 3 | 2 | 1 |
|-------|---|---|---|---|
| 11 | 3 | 0 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由（抜粋）

- ・地域の人がたくさん来ている素敵なイベントだと思った。
- ・近くに住んでいて、今回のボランティアをきっかけに知ることができたからです。

「4」を選んだ理由（抜粋）

- ・今回初めてクリスマス雑貨市に参加したのですが、このような活動をしていることを初めて知りました。
- ・休憩中にいろいろなブースの方と仲良くお話して、活動内容を知ることができました。

⑦今後もボランティア活動に参加したいと思うか（人）

| 思う | 思わない |
|----|------|
| 14 | 0 |

⑧感想など（抜粋）

- ・とても楽しかったです。初めての経験がたくさんできて、自分にとっても良い経験になりました。
- ・普段関わる人が少ない人たちと関わって世界が広がりました！また参加したいです。
- ・優しい方々に囲まれて楽しくボランティアができました。大変なこともありましたが、たくさんの人と関わることで有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

(3) 新たな地域の担い手発掘・育成事業 2) 市民参画促進事業

| | |
|-----------|--|
| 目 的 | <p>○市民活動に参加する人口をより多く示し、活動に関わる人を増やす。</p> <p>○関わってみたら楽しく、まちがもっと好きになるような多様な取り組みを既活動団体と一緒に増やしていく。</p> |
| 背 景 | <p>○市民活動やボランティア活動は、潜在層にとって関わることや触れる機会が少なく、一部の特別な人が行っていると考えられがちである。知る機会や実際に活動に参加する場を提供し市民活動や課題を身近に感じてもらう機会を提供していく。</p> <p>○小中学生が自分の住む地域をよりよいものにするために市民活動、ボランティアについての理解を深め、新たな地域の担い手として育成していく。</p> <p>○開催から 10 年以上経過した雑貨市は、リピーターも多くなってきた。障がい者や親子連れでも楽しめるインクルーシブな雑貨市を意識し、参加型ワークショップなども取り入れ、視点・対象などを工夫している。今年度は雑貨市に関わるすべての人が主体的に関わることができることを目指していく。</p> |
| 対 象 | <p>○市民活動や地域課題にあまり触れたことのない潜在層（雑貨市）</p> <p>○小学生・中学生と保護者（きっずボランティア講座・雑貨市）</p> <p>○中学生、高校生以上のボランティアしたい人（雑貨市）</p> |
| 成果目標 | <p>○市民活動を知り、次のステップ（講座参加や団体へのアプローチ[ボランティアや寄付などの支援]）へ進む市民が生まれる。（3 件以上）</p> <p>○はじめて講座や雑貨市に参加する人が 3 割以上</p> |
| 成 果 | <p>○きっずボランティア講座は申込 16 人中、初参加 8 人（50%）で目標達成。保護者アンケートでは「家で講座の話をした」4 件、「人のために何かしたいと言ようになった」4 件など、家庭内で地域活動への関心が広がった。参加者 14 人が雑貨市でのボランティアにも参加し、次の実践につながった。</p> <p>○今年度は「ここにいるみんなが主役」をテーマに、出店団体・ボランティア・来場者が関わり合いながら雑貨市をつくりあげた。来場者 652 人のうちアンケート 109 枚中 27 人（約 25%）が初来館。37 団体中 6 団体が初出店し、ボランティア 33 人、きっず 14 人が参加。設営や装飾、出店サポート、誘導など多様な役割を主体的に担い、会場では商品や活動をめぐる対話が多く生まれた。</p> <p>○「お互いさまチケット」を導入し、来場者と出店団体が主体的に関われる仕組みをつくった（県内イベントで初）。“贈る・受け取る”を通じて、受け取った分を別の誰かに返す動きが生まれ、感謝が行き交う“お互いさま”の循環が広がった。</p> |
| 次年度に向けた課題 | <p>○きっずボランティア講座を市内 3 地区で展開し、子どもが地域の活動者に関わりながら課題を学ぶ機会をつくり、地区単位で次世代の担い手育成につなげる。</p> <p>○雑貨市で大切にしてきたインクルーシブな視点を、今後は各地区の活動や日常にも広げていくことが課題。誰もが関わりやすい環境づくりに向け、啓発や声かけ、支援の方法を探っていく。</p> <p>○TYC 部と連携し、参加者が次のステップとして地域で活動する人材・担い手となるよう情報提供を進める。</p> |

実施概況（3）新たな地域の担い手発掘・育成事業 2）市民参画促進事業

1. たがさびきつず広場

日 時：令和7年5月18日（日）11:00～14:00

会 場：当センター 1階ロビー、大会議室、芝生広場、花壇

対 象：文化センター主催の「かえっこバザール」来場者

出 店：5団体

NPO 法人宮城県森林インストラクター協会

手話サークルあすなろ、Player4

絵本の国のコロンタン with フレンズ

一般社団法人 Bird's-eye

内 容：文化センター「かえっこバザール」、市立図書館

「Book Swap」と連携し実施。ネイチャークラフトや読み聞かせ、簡単な手話体験などを実施した。参加者へはかえっこバザールで使えるポイントを付与するなどの連携を行った。

参 加：ワークショップ参加/のべ117人（子ども）

のべ217人（大人を含む）

「かえっこ」イベント参加/34人

成 果：・文化センターや市立図書館と協力体制を築き、参加者が地域の活動と自然につながる機会を提供できた。

・ワークショップでは、参加者と団体がコミュニケーションを取りながら関わることで地域活動を身を感じられる機会になった。

2. きつずボランティア講座

日 時：令和7年8月～12月の期間中に5回開催

対 象：市民活動に触れる機会が少ない小中学生とその保護者

内 容：活動者の話や活動体験を通して市民活動やボランティアについて知り、雑貨市ボランティアやその後の活動・生活につなげるための5回連続講座。

申 込：小学生16人

（1）第1回 恩送りって知ってる？やさしい気持ちがつなぐ未来

日 時：令和7年8月3日（日）14:30～16:00

会 場：当センター 301、302 会議室

ゲスト：ともだち・カワン・コミュニティ

内 容：恩送りの考え方のお話と「お互いさまチケット」の使い方を体験するワークショップ

参 加：小学生9人



1. (1) 挨拶の手話を親子で教えてもらっている様子



1. (1) 「あいりちゃん」のエピソードを伝え子ども達と一緒に植え替え作業を行った



2. (1) お互いさまチケットにメッセージを張り付けている様子

(2) 第2回 いろんなちがいておもしろい！

カナダと日本で見つけた“自分らしさ”

日 時：令和7年9月7日（日）10:00～11:30

会 場：当センター 301、302 会議室

ゲスト：sdla/SAT

内 容：参加者それぞれが「自分の好きなもの」をテーマにイラストを描き、そのイラストを切り貼りして一つのコラージュ作品として仕上げた。

参 加：小学生 12 人



2. (2) 個性あふれるモチーフが集まった

(3) 第3回 アートでひろがるみんなのチカラ

だれもがフラットにつながるために

日 時：令和7年10月5日（土）10:00～11:30

会 場：当センター 301 会議室、3 階交流サロン

ゲスト：NPO 法人ワンダーアート

内 容：多様な素材を使用したハッピードールの制作。
親子で協力しながら作品を仕上げた。

参 加：小学生 13 人



2. (3) “みんな”と一緒に楽しめるよう願いをこめてつくった

(4) 第4回 雑貨市集会へ参加/TYC 部とコラボ

日 時：令和7年11月29日（土）13:45～15:30

会 場：当センター 大会議室、301 会議室

内 容：雑貨市集会で自己紹介とボランティア受入団体と顔合わせ

TYC 部参加者の企画。手作りのカードを使い、通学路に潜む危険などを見つけるワーク

参 加：小学生 14 人



2. (4) 少し年上の先輩が講師になり、地域のために主体的に活動している姿を見た

(5) 第5回 みんなでつくるクリスマス雑貨市

ボランティア体験

日 時：令和7年12月14日（日）9:00～12:00

会 場：当センター 全館、芝生広場

内 容：第2回、第3回講座で制作した作品の展示

団体でのボランティア体験

参 加：小学生 14 人

成 果：講座を通して市民活動に楽しく関わることができた。

3 回目の講座で制作したパッピードールは、当センター内で展示後に団体に寄付し、その後、石巻の復興住

宅で行われたプログラムにおいて、病院の作品とともに展示されたと報告があった。講座での学びや経験を通じて、ボランティアや地域活動、社会課題について家庭内でも話し合う機会が生まれた。雑貨市では出店団体でのボランティア活動を通じて、多様な来場者や参加団体と交流することができ、市民活動や地域の取り組みに関心を持つきっかけとなった。

(6) 第2回・第3回講座で制作した作品の展示

期 間：令和7年11月29日(土)～令和7年12月25日(金)

会 場：当センター 1階ロビー

内 容：第2回、第3回講座で制作した作品の展示を実施

3. みんなでつくるクリスマス雑貨市

(1) 雑貨市集会

日 時：令和7年11月29日(土) 14:00～15:30

会 場：当センター 大会議室

司 会：北村誠悟さん(珈琲豆と手しごとのモノ kyuu)

内 容：雑貨市に参加する団体とボランティア、施設を招いての交流集会。

参 加：27団体35人 ※パンフレット掲載名で記載

愛さんさんファーム/縁(いいね仙台)

アート・インクルージョン・ファクトリー

おれんじ工房/クリエイティブ笑美/工房すぴか

珈琲豆と手しごとのモノ kyuu/ソーシャルビレッジ

NPO 法人コスモスクラブすまいる作業所

市民活動 KuuU FuUU/市民活動団体ヨンカク BASE

NPO 法人法人創の会メルヴェイユ仙台

宮城県多賀城高等学校・多賀城市国際交流協会

多賀城市地域活動センターコスモスホール

ともだち・カワン・コミュニティ/HELLOS 多賀城

一般社団法人日本福祉協会すまいるジョブ

HELLOS 多賀城/ ぱれった・けやき宮城野 Ciao!

まほうの手お出かけ隊/まめ福/みどり工房長町

むかい＊いきもの研究所/ マジシャンヒナタ

マイロ/麦の会コッペ/ワークスペースぽぽ

株式会社 WATALIS

ゲスト：3団体4人



2. (5) それぞれの団体のもとで一生懸命お手伝いをした



2. (6) 子どもたちの作品が雑貨市に彩を与えた



3. (1) 団体紹介の様子



3. (1) ボランティアも含めた全員で気持ちをひとつにすることができた

市民活動 KuuU FuUU/NPO 法人リフ超学校

仙台市市民活動サポートセンター

ボランティア：22 人

成 果：・出店団体やボランティア、来場者が主体的に関わる
ことができる場を目指していることを共有した。

・交流会を通じて、出店団体と地域との新たなつながりが生まれるきっかけにもなった。

(2) みんなでつくるクリスマス雑貨市 2025

日 時：令和7年12月14日（日）9:30～15:00

会 場：当センター 全館、芝生広場

テーマ：ここにいるみんなが主役

対 象：市民活動や地域課題について意識する機会が少ない
潜在層

内 容：福祉施設や社会支援活動をしている団体による食品や
雑貨の販売、ワークショップ

お互いさまチケットブース

Tagajo Youth Challenge 部企画のブース

参 加：出店団体数 37 団体 101 人

ボランティア 33 人

きっずボランティア 14 人

来場者数 のべ 652 人

アンケート回収：106 枚

1) 出店団体

①食品 (8 団体)

ポッケの森/麦の会 コッペ/ワークスペース歩° 歩°

社会福祉法人ちゃれんじどらいふすてーじ多賀城/芽ぶき

障害福祉サービス事業所ビッグママ

本格遠赤焙煎珈琲 まめ福/レインボー多賀城

②雑貨 (20 団体)

ろう LGBT 東北/株式会社 WATALIS/愛さんさんファーム

アート・インクルージョン・ファクトリー/

縁 (いいね仙台) /みどり工房長町/ HELLOS 多賀城/

おれんじ工房/一般社団法人日本福祉協会すまいるジョブ/

工房すぴか/多賀城市地域活動センターコスモスホール/

マイロ/ NPO 法人コスモスクラブすまいる作業所

宮城県多賀城高等学校・多賀城市国際交流協会



3. (2) お互いさまチケットについて団体から丁寧に使い方の説明をしていた



3. (2) 多様な団体の商品が並び、来場者と対話する様子が広がっていた



3. (2) 来場者とコミュニケーションを取りながら手品をする様子

NPO 法人創の会メルヴェイユ仙台/ソーシャルビレッジ/
珈琲豆と手しごとのモノ kyu/クリエイティブ笑美
ぱれった・けやき宮城野 Ciao!/
ソキウスせんだいアトリエ・ソキウス

③ワークショップ (10 団体)

市民活動 KuuU FuUU/市民活動団体ヨンカク BASE/ TobiaLala
ともだち・カワン・コミュニティ/HELLOS 多賀城
まほうの手お出かけ隊/ むかい*いきもの研究所
マジシャンヒナタ/TYC 部/子育てサロン*はぐま

2) 掲載メディア

多賀城 NOW11 月号 ・12 月号/S-style 12 月号
多賀城市 SNS 9 月・10 月・11 月/情報誌 ARIFT 11 月号
石巻日日新聞「いしのまき NPO 日和」/2025 年 5 月 15 日
仙台地方振興事務所 HP/2025 年 12 月 1 日
みやぎ NPO 情報ネット/2025 年 12 月 2 日
河北新報夕刊ふみだす info/2025 年 12 月 1 日
河北新報発行「ウイークリーせんだい」/2025 年 12 月 11 日

成 果：出店団体を公募し 37 団体中 6 団体が初出店。「お互い
さまチケット」の仕組みを全体で取り入れることで来
場者も主体的に活動に参加できる仕掛けをつくった
(取り組みをイベントで導入するのは県内初)。
障がいの有無や国籍、世代を超えて多様な人々が交わ
る場となった。また、33 人のボランティアが主体的
に活動し準備・装飾・運営サポートなどを担当した。



3. (2) 手話による読み聞かせの様子

アンケート集計結果

1. きっずボランティア講座 申込者 16 人

①通学している小学校（人）

| 多賀城小 | 多賀城東小 | 山王小 | 天真小 | 城南小 | 八幡小 |
|------|-------|-----|-----|-----|-----|
| 5 | 1 | 0 | 0 | 3 | 7 |

②学年（人）

| 6 年 | 5 年 | 4 年 | 3 年 | 2 年 | 1 年 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 4 | 0 | 2 | 4 | 4 | 2 |

（1）第1回 恩送りって知ってる？やさしい気持ちがつなぐ未来 （9 件回収/9 人参加）

①講座の理解度（人）

| よくわかった | すこしわかった | わからなかった |
|--------|---------|---------|
| 6 | 3 | 0 |

②講座に参加して生活の中でできそうだったこと（人）

| | |
|--|---|
| 親切にしてもらったときは「ありがとう」の気持ちを伝える | 5 |
| だれかにしてもらって嬉しかったことを、他の人にもしてみる | 6 |
| 困っている人に「お互い様」の気持ちで話しかける | 3 |
| 自分が困ったときは誰かに相談してみる | 2 |
| 学校でみんなが使う場所は、次に使う人のことを考えてきれいに使う | 4 |
| ほか
・つかい方を教える ・自分からほかの人にもしてあげたい | |

（2）第2回 いろんなちがいでっておもしろい！カナダと日本で見つけた“自分らしさ”（12 件回収/12 人参加）

①講座の理解度（人）

| よくわかった | すこしわかった | わからなかった |
|--------|---------|---------|
| 10 | 2 | 0 |

②コラージュを作るときに、ほかの人の好きなものを見て「おもしろいな」と思ったこと（抜粋）

- ・みんなの考えていることがおもしろいな
- ・いろいろなものがあった

③みんなの「好きなもの」が集まってできたコラージュを見てどう思ったか（抜粋）

- ・すきなものがあるっていいなと思った
- ・こせいがあるなあ
- ・きれいだった

④自分の「好きなもの」や「大切にしたいこと」をこれからも大事にしたいと思ったか（人）

| そう思った | そう思わない | わからなかった |
|-------|--------|---------|
| 12 | 0 | 0 |

（3）第3回 アートでひろがるみんなのチカラ だれもがフラットにつながるために （13件回収/13人参加）

①講座の理解度（人）

| よくわかった | すこしわかった | わからなかった |
|--------|---------|---------|
| 12 | 1 | 0 |

②願いごとをこめて人形を作ってみて、どう思ったか（人）

| 自分の願いごとをこめられて
楽しかった | だれかの幸せを願えて
うれしかった | ちょっとむずかしかった |
|------------------------|----------------------|-------------|
| 6 | 0 | 6 |

（4）第4回 雑貨市集会参加/TYC部の小野さんと一緒に通学路について考えよう （13件回収/14人参加）

①雑貨市でボランティアをするときにがんばりたいこと ※複数回答可（人）

| 元気に
あいさつする | 団体の人やお客さんと
たくさんお話をする | 笑顔でお話する | 自分も楽しむ |
|---------------|-------------------------|---------|--------|
| 8 | 5 | 5 | 7 |

②講座の理解度（人）

| よくわかった | すこしわかった | わからなかった |
|--------|---------|---------|
| 12 | 1 | 0 |

③「じぶんのまち」のことをもっと知りたいと思った（人）

| 知りたくなった | すこし知りたくなった | あまり思わなかった |
|---------|------------|-----------|
| 7 | 2 | 4 |

④通学路で見つける発見やおもしろいことを、もっと探したいと思ったか（人）

| 思った | すこし思った | あまり思わなかった |
|-----|--------|-----------|
| 5 | 5 | 2 |

⑤カードは使いやすかったか？（人）

| 使いやすかった | 難しかった | その他 |
|---------|-------|-----|
| 11 | 2 | 0 |

⑥小野さんにもっと聞きたいこと、お話ししたいことがあれば教えてください。

- ・もっとちかくでわるいところいいところをおしえてください
- ・ほかにもどんな危険なことがあるのか多賀城市のことをもっとしりたくなった

(5) 第 5 回 みんなでつくるクリスマス雑貨市 ボランティア体験 (14 件回収/14 人参加)

①今日のボランティアはどうでしたか？ (人)

| とても楽しかった | 楽しかった | ふつう | ちょっと大変だった |
|----------|-------|-----|-----------|
| 9 | 3 | 1 | 2 |

②がんばったことはなんですか？ ※複数回答可 (人)

| お店のおてつだい | 声かけ | かたづけ |
|----------|-----|------|
| 14 | 5 | 0 |

※ほかに「こんなことを思った！」ということがあれば教えてください。

- ・商品のしょうかい
- ・もっとやりたい

③だれかのために動いてみて、どんな気持ちになりましたか？ ※複数回答可 (人)

| うれしかった | 楽しかった | 緊張した | 疲れた |
|--------|-------|------|-----|
| 8 | 11 | 6 | 7 |

④今日いちばん心にのこったことを教えてください

- ・色々な人と話せたこと
- ・接客。お店の人と話したこと
- ・5 分前にお手伝いする人がきたこと
- ・お互いさまチケットが売れてよかったです

⑤またボランティアをやってみたいですか？ (人)

| ぜひやりたい！ | またやりたい | どちらでもない |
|---------|--------|---------|
| 9 | 4 | 1 |

(6) 保護者アンケート (6 件回収)

①講座の満足度 (人)

| とても満足 | 満足 | 普通 | 不満 | その他 |
|-------|----|----|----|-----|
| 6 | 0 | 0 | 0 | 0 |

②講座後の子どもの変化 ※複数回答可 (人)

| 人のために何かしたいと言うようになった | 家族や友達を思いやるが増えた | ボランティアや地域活動に興味をもった | 家で講座の話をした | 特に変化は感じなかった |
|---------------------|----------------|--------------------|-----------|-------------|
| 4 | 2 | 1 | 4 | 0 |

ほか：直接的な変化というほどではないのですが、会話の中で「この前のボランティア講座でも言ってたよね」という講座の内容を引用した会話をすることで物事の説明や理解が深まる様子が伺えます。

③今後も子どもが地域活動や社会課題に触れるきっかけになるような講座があれば参加させたいか (人)

| とても思う | どちらとも言えない | あまり思わない |
|-------|-----------|---------|
| 6 | 0 | 0 |

④子どもに学んで欲しい地域活動や社会課題など

- ・様々な世代、人種の方々とふれあえる活動を望んでいます。
- ・SNSなどのデジタルメディアリテラシー
- ・多賀城市民としてどのようなことをすれば市や地域に貢献することができるのか体験できる活動

⑤感想・意見など

- ・クリスマス雑貨市のボランティアはお店の方から褒めてもらったり、その後は楽しみの買い物もたくさんできて楽しんでいました。
- ・子どもの希望を聞いて、当日の手伝いを振り分けてくださりありがとうございました。工作好きの娘なので、当日とても楽しかったと話しておりました。
- ・学校や家庭では学ぶことのできない、貴重な社会経験をすることができました。雑貨市当日、出店される皆さんや、スタッフの皆さんの気遣い、主体的に動く姿勢、やりとりの温かさを近くで感じ、思春期真っ只中の娘は大変刺激を受けたようで、感激していました。とても楽しかったようです。素敵な時間をありがとうございました。
- ・学校や日常生活では体験できない貴重な経験になったと思います。雑貨市では大人に混ざり今の自分ができることを精一杯やれたのではないかと思います。役に立つこと、頼られること、やり切ること、どれをとっても素晴らしい体験だったのではないのでしょうか。保護者としても子供の成長を見守ることのできる機会をいただけたと心から感謝しております。

2. みんなでつくるクリスマス雑貨市 2025

(1) 来場者アンケート (109 枚回収/来館者数: のべ 652 人)

①年代 (人)

| 10 代以下 | 20 代 | 30 代 | 40 代 | 50 代 | 60 代 | 70 代以上 |
|--------|------|------|------|------|------|--------|
| 21 | 5 | 13 | 26 | 17 | 16 | 11 |

②住まい (人)

| 多賀城市 | 塩竈市 | 七ヶ浜町 | 利府町 | 松島町 | 仙台市 | その他 | 無回答 |
|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 55 | 6 | 2 | 6 | 0 | 21 | 2 | 14 |

③来館回数 (人)

| 初めて | 2 回目 | 3 回以上 | 無回答 |
|-----|------|-------|-----|
| 27 | 15 | 36 | 28 |

④雑貨市をどこで知ったか ※複数回答可 (人)

当センターの発信 (人)

| HP | Instagram | X (旧 Twitter) | ブログ | チラシ | ポスター |
|----|-----------|---------------|-----|-----|------|
| 9 | 15 | 0 | 0 | 33 | 7 |

市の発信 (人)

| LINE | Instagram | Facebook | 広報紙 |
|------|-----------|----------|-----|
| 13 | 4 | 1 | 7 |

その他（人）

| 情報誌 | 知人から | 以前来たことがある | その他 |
|-----|------|-----------|-----|
| 9 | 24 | 20 | 12 |

⑤満足度（人）

| 5（満足） | 4 | 3 | 2 | 1（不満） | 無回答 |
|-------|----|----|---|-------|-----|
| 62 | 32 | 13 | 1 | 1 | 0 |

「5」を選んだ理由（抜粋）

- ・みんなの手作りのあたたかさと協力する姿がよかった。
- ・子どもが喜んでくれたのと、人との感謝のつながりに気づけた。
- ・様々な方とお話できたこと。新たなプロジェクトにつながるような出会いもあった。
- ・どこの団体さんの作品もとても丁寧かつステキな作品等があり楽しいと感じました。お客様に対してのひとつ一つの説明もすてきでした。

⑥印象に残った“人・活動・エピソード”など(抜粋)

- ・みんなそれぞれ社会のために良い活動をしているのがすごいと思った。
- ・障害のある方の事業所の方たちが、心を込めて作ったものと伝わりました。
- ・手話で話しかけられて、手話で挨拶できたこと(手話の勉強中)
- ・芽ぶきさんでお野菜を購入する際に、店番の小学生の女の子に、3歳息子のお買い物体験にお代を渡したり商品を受け取ったりして相手をしてもらいました。お姉さんがやっていることで、対大人よりも興味をもてたようで、ありがたかったです。
- ・様々な人から声をかけて頂き、人の温かさを感じた。

⑦誰かの力になるお買い物についてどのように感じたか（人）

| とても身近に感じた | 少し身近に感じた | あまり感じなかった | 無回答 |
|-----------|----------|-----------|-----|
| 63 | 33 | 4 | 6 |

⑧お互いさまチケットについての感想(抜粋)

- ・顔もしらないだれかに送ることで、また顔も知らないだれかから返ってくるという取り組みが素晴らしい。
- ・チケットを贈り、同額を自分たちにも使わせていただきました。同じ金額なのに、贈る時には誰かのためにと思う時間ができ、受け取りに使う時には感謝をするという付加価値がつくことを体験することができた。
- ・すばらしい取り組みだと思う。こういう考え方がもっと社会に広まってほしい。
- ・もっといろいろな地域に広がってほしい。

⑨感想や意見、気づいたこと（抜粋）

- ・いろいろな団体があることを知りました。もっと広く知ってほしいと思った。
- ・毎年来てくれるボランティアの子も素敵な子でとても充実した時間を過ごせました。
- ・とても楽しく時間を忘れるくらい話を聞いて買って良い一日を過ごしました。
- ・多種多様の展示品に心をうばわれました。毎年たのしみにしています。

(2) 出店団体アンケート (27 件回収/37 団体)

①出店の満足度 (団体)

| 5 (満足) | 4 | 3 | 2 | 1 (不満) | 無回答 |
|--------|----|---|---|--------|-----|
| 13 | 11 | 2 | 1 | 0 | 0 |

「5」を選んだ理由 (抜粋)

- ・天候にはめぐまれなかったが、いろんなお客様との出会いもあり、今後の仕事にもつながりそうなご縁にも恵まれ、とてもいい機会を頂いたことに感謝しております！
- ・運営スタッフの方々が配置や売れ行きなどをたびたび気遣ってくださったのと、一緒に出店していた方々が声をかけてくださり、楽しく販売させていただきました。また、きつずボランティアが、チラシ配りを自分からすすんで行ってくれました。足元が悪い中お客様も途切れることなく商品を見てくださりありがたかったです。
- ・利用者さんも一緒に参加させて頂けることで、実際に作ったものを自ら販売でき、利用者さんのモチベーションがとて高くなりました。
- ・来場者の年齢層が幅広いにも関わらずどのお客様も興味を示して下さい、対話の多い温かい空間でした。

②売上や反応はどうだったか (団体)

| 想像以上によかった | 想像通りだった | 想像より少なかった |
|-----------|---------|-----------|
| 10 | 2 | 5 |

「想像以上に良かった」の理由 (抜粋)

- ・小さなお子様から、ご年配の方まで様々なお客様に来ていただきありがたかったです
- ・想像以上に売上が伸び、商品を褒めてもらえたのが嬉しかったです。また、様々な方と様々な形で交流を持てた事が貴重な経験になりました。

「想像より少なかった」の理由 (抜粋)

- ・雪だったので想像以上に来客数はあったが、豆腐類は、半額で販売せざるを得ない状態だったので昨年より少ない売上でした。

③お客様とどんなやり取りがあったか ※複数回答可 (団体)

| 商品説明 | 活動内容 | 売上の用途を説明 | 雑談など | 時間がなかった |
|------|------|----------|------|---------|
| 22 | 15 | 0 | 18 | 0 |

印象に残ったやりとり (抜粋)

- ・支援学校に通う子供が数人おり、保護者とも交流ができた。
- ・「昨年もおいしかったから買いに来ました。」「ドーナツを買いに来たの」「購入したくて保冷バック持ってきたの」などリピーターが多くいました。
- ・ワークスペースをご利用くださった中学生の方が小学生の方と同時に作成することになり、お客様同士で「かわいいね」「きれいだね」「どうやるの？」などと盛り上がりながら作成してくださっている姿がとても微笑ましかったです。

④団体同士のつながりや集会など全体の雰囲気 (団体)

| とてもよかった | よかった | ふつう | 感じられなかった |
|---------|------|-----|----------|
| 14 | 8 | 2 | 0 |

印象に残ったことなど（抜粋）

- ・集会のときからとてもフレンドリーに接してくださったり、あたたかいイベントになるなあと思っていました。ボランティアさんもチラシ配りを積極的にがんばってくれました。
- ・雑貨市集会のおかげで、他の出店者さんが何をされるのか・どんな方たちが出店されるのかがわかり、コミュニケーションが取りやすかったです。
- ・お互いに尊重し合って、お客様に楽しんでいただくのはもちろんのこと、出店者の皆さんが楽しんでいらっしやる雰囲気がとても良かったです。きつずボランティアがとても可愛らしく、一生懸命なので、自然と場が和んで笑顔になってるように思いました。

⑤お互いさまチケットの利用があった団体で、印象に残ったことや今後につながりそうなこと（抜粋）

- ・あらかじめお互いさまチケットの値段を把握しておくことで、子供が手に取りやすくチケットを使いやすい商品を準備することができればやり取りがさらにスムーズになると思いました。
- ・お互い様チケットをお持ちのお客様は小学生のお子様であることが分かりやすく、今回は小学生限定お値引き商品準備したのでやりやすかったです。「割引してもらっていいんですか？」と保護者の方から驚かれ「差額を支払います」とおっしゃっていただいたのですが、その差額を募金にお願いしますととっさに答えられなかったもので、そういった声がけにつなげて行けると今後にもつながるのかなと思いました。
- ・ワークショップの参加に悩まれていた親子にお勧めしました。

⑥感想・意見・気づいたこと（抜粋）

- ・とても温かな雰囲気の雑貨市で、お客様との距離も近く、これまで参加した販売会の中でも群を抜いて心地の良い空間でした。また来年もぜひ参加させていただけたらと思います。
- ・スタッフの方、ボランティアの皆さんの思いやりや熱意が伝わる温かいイベントでした。昨年に続き、皆さんの輪の中に入れてもらえて嬉しかったです。また機会がありましたらよろしくお願いします。
- ・とても温かい雰囲気で、地域住民を含め集まった方々が地域活動や福祉活動に共通認識や理解があると感じました。このような会の企画運営、作り方についてもっとお話を聞いてみたいです。

(4) NPO 支援事業 1) NPO つながり支援事業

| | |
|---------------|---|
| 目 的 | <p>○自団体の強み弱みを知り、団体運営力のアップを図るよう支援することで、他団体や市民とつながり、団体を理解し支援する人や連携する団体が増える。</p> <p>○ボランティア情報の収集と発信を行うことで、市民活動に関わる市民を増やす。</p> |
| 背 景 | <p>○前年度同様 NPO・市民活動団体に加え生涯学習団体や企業、自治会・町内会などを参加の対象とし、同じ地域で活動している団体同士がつながり、地域課題解決に向けた連携が広がるよう交流会を企画した。</p> <p>○団体の抱えている課題点の再確認を行い、運営力引き上げを支援する。組織力の向上のため、①自団体の整理 ②理解・共感を増やす ③広報の3テーマで企画。</p> <p>○3年目となる団体のボランティア受け入れ情報は、当センターのホームページのボランティア情報ページからも発信、ボランティアしたい市民に情報提供し、団体の運営に活かす。</p> <p>○インキュベート相談会では、必要なアクションに向けて伴走支援を継続し、団体の運営力の強化や、地域や社会の課題解決力の向上につなげる。</p> |
| 対 象 | <p>○事務用ブース入居団体/事務用ロッカー・レターケース利用団体</p> <p>○当センター利用団体（講座・相談会への参加、会議室利用など）</p> <p>○生涯学習団体、企業、自治会・町内会、多賀城周辺で活動する団体、団体を立ち上げて、地域や社会の課題解決に取り組みたいと考えている既活動者（交流会）</p> |
| 成果目標 | <p>○交流会で生まれたつながりから地域課題解決に向けて連携する事例が1件以上生まれる。</p> <p>○市民からの協力・共感・賛同などが増えている団体が3団体以上出ている。</p> <p>○ボランティア情報を収集・発信する。</p> <p>○相談会・講座参加団体の運営課題のうち1つが、改善もしくは解決している。</p> |
| 成 果 | <p>○交流会で生まれたつながりから新たなチラシ設置場所ができた事例が2件、団体同士のコラボレーションイベント企画につながった事例が1件あった。</p> <p>○新たなボランティア募集情報が9件寄せられ、情報発信を行った。</p> <p>○市民ミーティングに参加した機関等にボランティア募集情報を設置し、団体の広報支援につながった。</p> <p>○講座参加後、運営改善のために話し合いの場を設けた団体が1団体、課題解決のヒントが見つかり、解決に向けて動き出した団体が1団体あった。</p> <p>○相談会后、会員獲得に向けて広報のしかたを見直した団体が1団体あった。</p> <p>○ボランティア情報収集を見た市民が活動に共感し、実際にボランティアとして参加した事例は4件あった。</p> |
| 次年度に
向けた課題 | <p>○地域課題解決に向けた連携を目指すため、団体の課題解決力を高める支援を目指す。</p> <p>○団体運営力向上につながるよう、講座や相談会の情報提供を行い伴走していく。</p> <p>○人材不足等の運営課題の解決のため、ボランティア募集や団体の情報発信のサポートを引き続き行う。</p> |

実施概況（４）NPO 支援事業 1) NPO つながり支援事業

1. たがさぼ交流会 2026

日 時：令和8年3月14日（土）13:30～16:00

会 場：当センター 大会議室

対 象：事務用ブース入居団体、当センター利用団体、
多賀城及びその周辺で活動する団体、企業、町内会、
活動を始めたい個人

内 容：地域課題解決や市民活動の活性化につながるような連
携を目指すための場づくり

- ・お互いの活動を知るための各団体のPRタイム
- ・団体が取り組んでいる地域課題の共有や情報交換など
の交流タイム

参 加：25 団体 31 人

属 性：NPO・市民活動団体 14 人、自治会・町内会 2 人、
施設 5 人、生涯学習団体 3 人、企業・個人事業 5 人
個人 2 人

成 果：多様な属性との交流ができたことで新たなイベントの
企画、チラシ設置場所の提供など、団体同士の新たな
つながりができた。

2. NPO・市民活動パワーアップ講座

日 時：令和8年1月～2月の期間中に3回開催

会 場：当センター 301 会議室

対 象：事務用ブース入居団体、当センター利用団体、多賀城
及びその周辺で活動する団体

内 容：NPO・市民活動団体にとって組織運営力を上げるた
め、活動に必要な「人」（人的資源）、「お金」「広報」
をテーマとした3回連続講座。

申 込：16 人

（1）組織運営を見直そう

日 時：令和8年1月18日（日）14:00～16:00

講 師：相馬潤子さん（認定NPO法人みやぎ発達障害サポート
ネット理事）

内 容：組織業務の棚卸し、団体理念の内部共有に必要なこと
を学ぶ講座。ワークでは運営ふりかえりチェックシー
トを用いて組織業務の見直しを行った。

参 加：9 団体 11 人



1. テーブルを5回周り、より多くの方とお互いの活動を紹介し合いながら一緒に取り組めそうなことの情報交換を行った



1. 地域で活動している企業、団体がそれぞれの活動を知ること、新たなつながりが生まれた



2. (1)参加者からは積極的に講師に質問があがっていた

成 果：団体としての在り方など、「ミッション」や「ビジョン」を明確にし、可視化することの大切さの気づきが得られた。講座後メンバーに早速共有する場を設ける実践につながった団体があった。

(2) 活動に必要なお金のはなし

日 時：令和8年2月1日（日）14:00～16:00

講 師：石渡賢大さん（NPOのためのFP事務所）

内 容：社会からの支援につながる資金調達力をつけるためのファンドレイジングを学び、市民の理解や共感を増やすために必要なことを知る講座。

ワークではステークホルダーピラミッドを作成し、組織に関わる人、団体を確認し、共感を得るために団体の活動を3つのステップでまとめ、相手に伝える練習をした。

参 加：5団体6人

成 果：自団体に関わりのある人や団体を可視化できた。それらに向けて活動に共感を得られるよう、自団体の活動内容を分かりやすく伝えるポイントをまとめることができた。

(3) その自己紹介届いてますか？

日 時：令和8年2月23日（日）14:00～16:00

講 師：松村洋さん（ムードセンターまつむら）

内 容：NPO にとっての広報の意義を学び、届けたい対象に届けるためのプレゼンテーション力をつける講座。ワークではPREP型で活動内容を伝える資料を作成し、活動に関わる人を整理した。

参 加：7団体8人

成 果：広報資料を作成する際の4つのポイントを整理できた。また、活動に関わる人を関係の濃さで整理し、その中の特定のターゲットに向けて広報することが効果的だと学んだ。同じグループ内の人をターゲットに見立てて簡単な言葉で団体紹介を実践することで、「活動への参加」を目的として、誰に伝えるべきか明確になった。



2. (2) ワークシートで活動に関わっている人を再確認できた



2. (3) 同じグループの人を伝えたい相手に見立てて団体紹介を実践した

3. ボランティア情報収集・発信

「NPO・市民活動 求む！あなたのチカラ」

内 容：ボランティアを必要としている団体の情報を発信。館内や市内公共施設での掲示、ホームページ・ブログで発信した。

対 象：ボランティアを必要としている団体

情報提供団体：18 団体 24 件

- ・つながるこえ ・多賀城イングリッシュ・サポーターズ
- ・SenTVA(在ベトナム人協会) ・たがじょうきち
- ・史都多賀城万葉まつり実行委員会 ・T・A・P 多賀城
- ・たがじょう子どもの心のケアハウス
- ・多賀城市子育てサポートセンターすくっぴーひろば
- ・多賀城将棋ラボ ・ともだち・カワン・コミュニティ
- ・学び処しおがま ・NPO 法人多賀城市民スポーツクラブ
- ・多賀城市「原爆展」実行委員会
- ・NPO 法人 MIYAGI 子どもネットワーク
(多賀城市鶴ヶ谷児童館・多賀城市西部児童センター)
- ・多賀城市保健福祉部健康長寿課保健予防課係
- ・サポート石巻 ・一般社団法人しおかぜホーム

成 果：NPO いちから塾を受講した方など、興味関心のある分野で得意なことを活かせるボランティアにつながる事例が 4 件生まれた。



3. 募集内容をリニューアルして館内やホームページに掲載した

4. 事務用ブース入居団体インキュベート相談会

(1) ～ (8) 共通

対 象：入居後 6 ヶ月が経過した事務用ブース入居団体

内 容：団体の活動内容の整理・運営課題の分析、課題解決の目標設定、解決に向けた相談会

相談員：当センター スタッフ

参 加：8 団体 11 人

(1) 傾聴の会多賀城

日 時：令和 7 年 8 月 18 日 (月) 14:00～15:00

会 場：当センター 201 会議室

参 加：2 人

(2) ドリーム Jr.

日 時：令和 7 年 8 月 18 日 (月) 16:00～17:00

会 場：当センター 201 会議室

参 加：1 人

(3) 旭ヶ岡町内会

日 時：令和7年8月21日（木）15:30～16:30

会 場：当センター 301 会議室

参 加：2 人

(4) 多賀城イングリッシュ・サポーターズ

日 時：令和8年1月23日（金）16:30～17:30

会 場：当センター 201 会議室

参 加：2 人

(5) 高崎こども食堂らっこ広場

日 時：令和8年1月27日（火）10:00～11:00

会 場：当センター 第1和室

参 加：1 人

(6) 一般社団法人 Golazo

日 時：令和8年1月31日（土）13:30～14:30

会 場：当センター 101 会議室

参 加：1 人

(7) 生涯学習 100 年構想実践委員会

日 時：令和8年3月16日（月）10:30～11:30

会 場：当センター 301 会議室

参 加：2 人

(8) 宮城県学童保育連絡協議会

日 時：令和8年3月17日（火）14:00～16:00

会 場：当センター 201 会議室

参 加：1 人

成 果：各団体の現状を整理し、必要なことを一緒に考え、今後の活動拠点を見据えた話し合いを行った。
活動資金を集めるため新たな方法にチャレンジした団体や、会員増加に向けて今後どこにアプローチすればよいかヒントが見つかった団体があった。



4. (1) 不明な点の解決策を提案した



4. (7) 会員を増やすためにはどうすればいいか一緒に考えた



4. (8) 団体の現状などを気軽に話してもらい、何が必要かを整理した

アンケート集計結果

1. たがさぼ交流会 2026 (29 件回収/31 人参加)

①年代 (人)

| 10 代以下 | 20 代 | 30 代 | 40 代 | 50 代 | 60 代 | 70 代 | 80 代 |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|
| 0 | 3 | 8 | 4 | 10 | 2 | 3 | 0 |

②住まい (人)

| 多賀城市 | 塩竈市 | 七ヶ浜町 | 利府町 | 松島町 | 仙台市 | その他 |
|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| 17 | 2 | 1 | 0 | 0 | 9 | 0 |

その他：石巻市

③多賀城との関わり (人)

| 在住 | 職場 | 活動場所 | その他 | 無回答 |
|----|----|------|-----|-----|
| 19 | 9 | 9 | 4 | 3 |

④交流会をどこで知ったか (人)

| スタッフ | HP・ブログ・SNS | チラシ | 市 SNS | 知人・友人 | その他 |
|------|------------|-----|-------|-------|-----|
| 18 | 3 | 4 | 4 | 4 | 1 |

その他：NPO パワーアップ講座

⑤今回の交流会に参加した目的 (人)

| 他団体とのつながりを作りたい | 協働できる相手を探したい | 自団体の PR をしたい | 地域課題を共有したい | 企業・行政・市民活動団体との接点を持ちたい | その他 |
|----------------|--------------|--------------|------------|-----------------------|-----|
| 23 | 13 | 9 | 8 | 15 | 5 |

その他：勉強したい/他の活動を知りたい/福祉の世界をいろいろ知って活動を知りたい/人生経験として

⑥満足度 (5 段階評価) (人)

| 5 (満足) | 4 | 3 | 2 | 1 (不満) | 無回答 |
|--------|---|---|---|--------|-----|
| 21 | 7 | 1 | 0 | 0 | 1 |

「5」を選んだ理由 (抜粋)

- ・いろいろな団体さんとお話しできる機会をいただけて良かったです。
- ・団体の説明をする練習になりました！ありがとうございました。
- ・多業種の方々が集まっておられてとても良き機会でした。
- ・普段交流がない団体の方々とお話しできる機会ができて良かったです。今回のつながりを大切にして、今後の活動にいかしていきたい。
- ・全ての団体とお話しできて、今後の活動の考えに使っていただけます。
- ・様々な団体の方と話をしながらことができました。つながりを活かして協力することで、地域づくりに還元していけるものが増えると感じました。
- ・多様な活動を知ることができました。
- ・活動分野近い団体と互いの課題を共有し、協働につながるきっかけを得ることができたため。

- ・市内にいろいろな団体があることを知る事ができました。
- ・前回とはまた違った趣向をこらした内容で、楽しくあっという間でした。
- ・様々な活動をされている方々との関わりは刺激にもなったし、貴重な意見も得ることができた。このような場は初めてだったが、ぜひまた参加したい。
- ・他団体との交流ができ、つながりを作ることができました。地域に根差した団体の方が多くいらっしやることを知り、とても心強いです。
- ・いろんな団体の方とお話をする貴重な機会となりました。知らなかった団体もあり、勉強の場になりました。

「4」を選んだ理由（抜粋）

- ・いい企画。これだけ多くの参加者に会い話せた。
- ・知らなかった団体がたくさんあり、とても勉強になりました。
- ・様々な分野で活動されている方と直接お話しでき、地域の取り組みを知るよい機会だった。

「3」を選んだ理由（抜粋）

- ・同じ方と一緒にいるケースが多く、話せなかった方も多数いた。

⑦交流会を通して得たもの（人）

| 協働につながる
りそうな相手
が見つかった | 地域課題解決
のヒントが得
られた | 活動の新しい
アイデアが生
まれた | 自団体のPR
ができた | 他団体の活動
に対する理解
が深まった | 企業・行政・市民
活動団体との接点
ができた | その他 |
|-----------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------|---------------------------|------------------------------|-----|
| 14 | 15 | 10 | 11 | 18 | 6 | 4 |

その他：みんな考えている、あきらめていないと知った

⑧交流会の感想（抜粋）

- ・子ども向け、中高生向け、親向けの企画として運動はもちろん、講演していただける方にアプローチしてつながっていききたいと思います。
- ・児童館など小中学生を対象とした団体さんとお話しをしたかった。
- ・今回も交流会に参加させていただき、ありがとうございました。自分の団体のことを知ってもらうきっかけ作り、またたくさんの団体や企業さんの取り組みを知ることができたり、協働につながれそうなお仲間もできました。ありがとうございました。
- ・初めて参加しました。色々な活動をされている団体を知ることができて学びになりました。今後地域のため、人々のためにどうして生きたいか考える時間でした。また、参加したいと思います。
- ・幅広い福祉団体の話を聴くことができてよかった。社会福祉協議会等もお話を聴いてみたかった。
- ・時間があっという間に感じるほどとても濃密な時間でした。参加させていただきありがとうございました。
- ・グループごとに短時間で参加者をシャッフルする形式は、多くの方とお話しできてよかったと思います。一方で、自己紹介に時間を要することが多く、議論や意見交換の時間がやや少なくなりました。もう少しテーマについて話し合う時間があると、さらに充実した交流になると感じました。

3. NP0・市民活動パワーアップ講座

（1）組織運営を見直そう（9件回収/11人参加）

①年代（人）

| 10代以下 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 0 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 3 | 0 |

②住まい（人）

| 多賀城市 | 塩竈市 | 七ヶ浜町 | 利府町 | 松島町 | 仙台市 | その他 |
|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| 4 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |

③今回の講座を何で知りましたか？ ※複数回答可（人）

| スタッフ | HP・ブログ・SNS | チラシ | 市 SNS | 知人・友人 | その他 |
|------|------------|-----|-------|-------|-----|
| 6 | 1 | 4 | 0 | 0 | 1 |

④講座の満足度（人）

| 5（満足） | 4 | 3 | 2 | 1（不満） |
|-------|---|---|---|-------|
| 7 | 2 | 0 | 0 | 0 |

満足度の理由

- ・勉強することがたくさんあり、非常に学びになりました。続けること、やれることを丁寧に大事にしながらやっていこうと思いました。
- ・法人と任意団体の違いはあった（お金のところ）。交流は自分と近いグループだったので話しやった。
- ・事例を通して、手法を学ぶことができた

⑤今回の講座で学んだことや質問、感想など（抜粋）

- ・防災の講師での内容に取り入れたいものもあった。
- ・団体としての在り方など、「ミッション」や「ビジョン」を職員の方や利用される方にも理解できるようにすることが大切だと確認できました。また「強み」「弱み」「チャンス」「脅威」を改めて確認することも大切だと改めて考えることができました。
- ・仲間が少なく不安な部分もあったのですが、今日のゲストのお話しや同じチームの方々とのお話から今のままでももう少し頑張ろうと思いました。仲間集めはこだわっていいと思えたのでこだわろうと思います。
- ・組織づくり、基盤づくりが大切だと感じました。可視化することの大切さも感じました。
- ・ゲストのお話を聞いて、ふせんを使ったひとりひとりの夢や願いを団体のミッションと紐づけて、自主性を高めることが（そこから話し合いを団体の基盤を固める）良い方法があるなあ！と分かりました。とても勉強になりました。

(2) 活動に必要なお金のはなし（6件回収/6人参加）

①年代（人）

| 10代以下 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 3 | 0 |

②住まい（人）

| 多賀城市 | 塩竈市 | 七ヶ浜町 | 利府町 | 松島町 | 仙台市 | その他 |
|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |

その他：白石市

③今回の講座を何で知りましたか？ ※複数回答可（人）

| スタッフ | HP・ブログ・SNS | チラシ | 市 SNS | 知人・友人 | その他 |
|------|------------|-----|-------|-------|-----|
| 6 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |

④講座の満足度（人）

| 5（満足） | 4 | 3 | 2 | 1（不満） |
|-------|---|---|---|-------|
| 5 | 1 | 0 | 0 | 0 |

満足度の理由（抜粋）

- ・ファンドレイズが「フレンドレイズ」であること。お金ではなく活動への共感と人を知る（見る）ことであることを知れたことで活動しやすくなりそうだなと思いました。
- ・具体的でわかりやすいお話でした。「活動を支えるお金の話」でした。
- ・お金の話をしっかり聞くことができ、団体活動に役立てそうと思いました。

⑤今回の講座で学んだことや質問、感想（抜粋）

- ・ステップをふんで関係性＋共感が、相手の方への行動につながる方法であることを学べました。お話に合ったように、一段飛ばしの考えしかなく難しそうだと感じていた部分が崩れたように思います。
- ・活動のことを分かりやすく伝えることが大切と感じた
- ・「1回の寄付に7回の感謝」⇒私もこれを実施していきたいと思いました。すてきな言葉です！
- ・どうやって活動費をうみだそうか常に悩んでいたのととても良い学びになりました。
- ・ファインドレイジングはフレンドレイジング、「共感してくれる仲間を集める活動」という言葉が印象的でした。分かりやすく教えていただき、非常に勉強になりました！

(3) その自己紹介届いてますか？（7件回収/8人参加）

①年代（人）

| 10代以下 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代以上 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 |

②住まい（人）

| 多賀城市 | 塩竈市 | 七ヶ浜町 | 利府町 | 松島町 | 仙台市 | その他 |
|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |

その他：白石市

③今回の講座を何で知りましたか？ ※複数回答可（人）

| スタッフ | HP・ブログ・SNS | チラシ | 市 SNS | 知人・友人 | その他 |
|------|------------|-----|-------|-------|-----|
| 6 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 |

④講座の満足度（人）

| 5（満足） | 4 | 3 | 2 | 1（不満） |
|-------|---|---|---|-------|
| 5 | 1 | 1 | 0 | 0 |

満足度の理由

- ・チラシを作るのが難しいと感じていたのでありがたかったです。
- ・ワークの時間設定についていけなかったのが残念。

⑤今回の講座で学んだことや質問、感想（抜粋）

- ・広告と広報の違いや作り方が非常に勉強になりました。
- ・思考整理のやり方が学べたと感じています。
- ・広報・広告の方法が理解できた。
- ・「自己紹介」は小学校のころからしていたものだが「何を」「誰に」「どういう目的で」という具体性があることをよく知れた。「活動への参加」を目的として、誰に伝えていくかを学ぶことができて良かった。この講座を機に、自団体の自己紹介を作れるようになりたいです。
- ・2人組でお話しながらやれたので、とても参考になった。
- ・自分の活動を伝える時に、これまではその時々で感覚で行っていましたが、きちんと整理しておく伝わりやすいということをあらためて学びました。活動の内容がいろいろな方との関係から成り立つことを意識させられました。時間設定の中でワークについていけない自分に年齢を感じました。持ち帰ってじっくり取り組みたいと思います。
- ・最近メンバーも増えたので、みんなにも共有したいことがたくさんありました。

(5) 情報発信事業 1) フリーペーパー「tag」発行／情報発信事業

| | |
|-----------|--|
| 目 的 | <p>○市民活動や連携に関する発信を行うことで、市民が市民活動に触れる機会を増やす。</p> <p>○地域の活動を価値づけし、発信する。</p> |
| 背 景 | <p>○平成 25 年 1 月に創刊した「tag」は、地域づくりに関するフリーペーパーとして定着を図りながら地域の魅力アップや課題解決に向けて働きかけてきた。今年度も、市民が手にとりやすく、市民活動に興味を持ちやすいよう、親しみやすい紙面、わかりやすい内容を心がけ、多賀城や周辺地域を「もっとよいまちにしていきたい」という想いを持った人・団体を取り上げた。それらの活動が促進されるような記事、市民の参画が促進されるような記事、社会・地域の課題解決に向けた取り組みなどを紹介し、潜在的活動者が一步踏み出すきっかけをつくり、地域づくりに関わる人材・資源を増やすことを目標とした。</p> <p>○YouTube チャンネルやホームページ、SNS など団体にとって必要な情報や市民に興味を持ってもらえる情報を引き続き積極的に発信することで、市民活動が身近に感じられる状況をつくり、市民活動の活性化につなげることを目標とした。</p> <p>○「多賀城 LUNCH トーク」は、市民をつなぐリアルな場と課題発信の場を設け、多賀城で活躍する人材や活動、課題に触れる機会を創出し、潜在層が市民活動や地域課題に興味を持ち、一步踏み出すきっかけとなることを目標とした。</p> |
| 対 象 | <p>○潜在者層（興味関心層・無意識参加層）</p> <p>○潜在的活動者（何か活動をはじめたいと考えているが、きっかけがつかめない市民）</p> <p>○活動者（市民活動や地域活動に関して情報を探している方）</p> |
| 成果目標 | <p>○発信した情報をきっかけに市民活動に対する意識が変化し、市民・団体によるアクションが 12 件以上起きる。</p> <p>○YouTube の動画コンテンツに関心を示し、定期的に情報を得るためのアクションとして、12 人以上が新たに YouTube チャンネル登録を行う。</p> <p>○ブログ「たがさぼ Press」の 1 記事あたりの訪問者数が平均 300 件以上になる。</p> |
| 成 果 | <p>○「tag」の読者から、掲載内容について関心を持ったという声、周囲にも配りたいという声などがあつたほか、取材団体が関連する行事などで資料として配布され、市民が市民活動に触れる機会、興味を持つ機会を増やすことができた。</p> <p>○7 人が新たに YouTube チャンネルに登録（目標比 58.3%）。ブログ「たがさぼ Press」の 1 記事あたり平均 434 件が訪問（目標比 144.7%）。当センターの発信した情報に関心を示し、情報を得るためのアクションを起こす市民を増やすことができた。</p> <p>○「多賀城 LUNCH トーク」では、ゲストや参加者の交流、つながりが生まれ、参加者が次のアクションを起こすきっかけや人材の発掘、連携につながった。参加者がゲストの団体に入会した事例や参加者同士がつながって一緒に活動を始めた事例もあった。</p> |
| 次年度に向けた課題 | <p>○発信した情報をもとにアクションを起こした市民・団体、掲載後の取材団体の状況、アンケートなどで読者の反応を把握することで、さらなる発信の在り方を検討する。</p> <p>○「多賀城 LUNCH トーク」では、ゲストトークの他に、ゲストや参加者が交流し、テーマについて話し合う回を設け、集まった人材をつなげ、次のアクションを生み出す機会を創出する。</p> |

実施概況（5）情報発信事業 1）フリーペーパー「tag」発行／情報発信事業

1. フリーペーパー「tag」発行

（1）発行形態

発行月：令和7年4月、6月、8月、10月、12月

令和8年2月（2ヵ月に1回）

様式：A4 裏表 全2ページ 両面カラー

発行部数：2,000部

誌面デザイン：デザイナー鈴木拓真さんに外注

印刷：ラクスル株式会社に外注

（2）内容

表）多賀城の地域資源（人・団体・できごと・もの）を紹介
裏）特集1「みんなで考える多賀城のこと」

…地域の課題を提示し、解決に取り組む団体を紹介

特集2「市民活動はじまりのはじまり」

…市民活動に携わる人の活動をはじめたきっかけや想いを紹介

※上記いずれかを掲載

（3）配架先

多賀城市内及び周辺市町公共施設、

多賀城市内民間施設・店舗（病院、福祉施設、郵便局等）

県内外NP0支援センター

マスコミ、学校、行政機関

※号別部数及び配架箇所数は135ページ「配架箇所について」を参照

（4）各号の掲載内容

1) 115号（4月発行）

【表】「ココロもカラダも踊るような楽しいまちに！

下馬のごちゃまぜまつり」

内容：市民発イベント「ゲバサンバ」について

概要：主催者が「ゲバサンバ」を開催したきっかけ、想いを紹介。

掲載：ゲバサンバ実行委員会、市民活動団体KuuU FuUU

【裏】みんなで考える多賀城のこと

「不登校の子どもたちが安心して過ごせる場所を」

内容：市内の不登校の現状について



115号 表ページ



115号 裏ページ



116号 表ページ

概要：不登校の子どもと保護者の相談を受ける活動、サポートをしている団体をしている団体に聞いた市内の不登校の現状と課題を紹介。

掲載：一般社団法人 manaco、NPO 法人アスイク、ここえな

2) 116 号 (6月発行)

【表】「過去と今、そして未来をつなぐ 聞いてけらいん！」

多賀城の民話

内容：多賀城の民話について

概要：多賀城で語り継がれている民話とそこに込められている教訓や知恵について、民話の伝承活動をしている団体の取り組みとともに紹介。

掲載：多賀城民話の会

【裏】みんなで考える多賀城のこと

「多賀城の災害 いま私たちにできることを考える」

内容：市内で想定される災害への備えについて

概要：過去に発生した災害や災害支援から考える備え、必要なことについて紹介。

掲載：NPO 法人いのちのパン

3) 117 号 (8月発行)

【表】「戦後 80 年から～話して、聞いて、想って～」

内容：戦時下の体験談

概要：市内在住の戦時下体験者 3 人のエピソードを紹介。

掲載：Conné～こんね～（長崎の語り部から学ぶ会）、鈴木絹子さん、伊藤セツコさん、渡辺敬治さん

【裏】みんなで考える多賀城のこと「地域で支える認知症」

内容：認知症に対する地域での取り組みについて

概要：市が開催している認知症サポート養成講座、認知症カフェなどの取り組みを通し、地域で認知症を見守る人たちの想いを紹介。

掲載：認知症サポートカフェ pause、ひだまりカフェ、多賀城市保健福祉部介護・障害福祉課、西部地域包括支援センター、中央地域包括支援センター、東部地域包括支援センター、傾聴の会多賀城



116 号 裏ページ



117 号 表ページ



117 号 裏ページ

4) 118号 (10月発行)

【表】『恩送り』は優しさのバトンリレー

内 容：恩送りについて

概 要：恩送りの仕組みを、恩送りに取り組む団体の想いととも紹介。

掲 載：NPO 法人チームふくしま

【裏】市民活動はじまりのはじまり

『『やってみよう』からはじまる可能性』

内 容：若い世代の取り組みについて

概 要：若い世代3団体の取り組みを、活動のきっかけや想いととも紹介。

掲 載：VIVES TAGAJI、Tagajo Youth Challenge 部、市民活動団体ヨンカク BASE

5) 119号 (12月発行)

【表】「公共の場を『だいいな場所』にするために」

内 容：当センター事業「まちをもっとおもしろくする『私のだいいな場所』のつくり方」について

概 要：ゲストの活動や想い、参加者のアイデアを紹介。

掲 載：「まちをもっとおもしろくする『私のだいいな場所』のつくり方」参加者、NPO 法人ハンズオン埼玉、真庭市立中央図書館

【裏】みんなで考える多賀城のこと

「地域で暮らす外国人とつながる『とびら』を開こう！」

内 容：地域で暮らす外国人との交流を図る取り組みについて

概 要：多文化交流の場をつくるために活動している2つの取り組みを紹介。

掲 載：TobiLala、公益社団法人塩釜青年会議所

6) 120号 (2月発行)

【表】「防災スキルで活躍！」

市民発の防災会議『防災人ミーティング』

内 容：防災人ミーティングについて

概 要：防災の大切を考え、行動する市民による取り組みである防災人ミーティングについて、スタートし



118号 表ページ



118号 裏ページ



119号 表ページ

たきかけや想い、参加者の活動、今後の展望について紹介。

掲 載：「防災人ミーティング」参加者

【裏】市民活動はじまりのはじまり

「自分発、超（スーパー）まちづくり」

内 容：NPO 法人リフ超学校について

概 要：団体の2つの取り組みを、活動のきっかけや想いととも紹介。

掲 載：NPO 法人リフ超学校

成 果：市民が市民活動に触れる機会、興味・関心を持つ機会を増やすことができた。

- ・掲載団体が多賀城大学令和7年度後期講座で講義を担当。資料として配布した。(116号)
- ・掲載した戦時下の体験者が多賀城 LUNCH トークに参加。同じく参加者の貞山高等学校の学生とつながり、インタビューを実施。みやぎ高校生フォーラムでの発表に至った。(117号)
- ・当センター事業の雑貨市で恩送りブースを設置。資料として配布した。(118号)
- ・貞山高等学校の地域国際交流活動の際、資料として生徒に配布した。(119号)



119号 裏ページ



120号 表ページ



120号 裏ページ

配架箇所について

1) 配架箇所数

| 号数 | 公共
施設 | 民間
施設 | 支援セ
ンター | マス
コミ | 学校 | 行政 | その他 | 配架箇所
数合計 |
|--------------|----------|----------|------------|----------|----|----|-----|-------------|
| 115 号 (4 月) | 72 | 58 | 49 | 20 | 20 | 8 | 19 | 246 |
| 116 号 (6 月) | 72 | 60 | 32 | 20 | 20 | 9 | 19 | 232 |
| 117 号 (8 月) | 72 | 60 | 32 | 20 | 20 | 9 | 19 | 232 |
| 118 号 (10 月) | 73 | 60 | 32 | 20 | 20 | 9 | 19 | 233 |
| 119 号 (12 月) | 73 | 60 | 33 | 20 | 20 | 9 | 19 | 234 |
| 120 号 (2 月) | 73 | 59 | 33 | 20 | 20 | 9 | 19 | 233 |

2) 配架箇所数 前年度末比

| 号数 | 公共
施設 | 民間
施設 | 支援セ
ンター | マス
コミ | 学校 | 行政 | その他 | 配架箇所数
合計 |
|------------------------------|----------|----------|------------|----------|----|----|-----|-------------|
| 令和 7 年度末
(120 号)
配架箇所数 | 73 | 59 | 33 | 20 | 20 | 9 | 19 | 233 |
| 令和 6 年度末
(114 号)
配架箇所数 | 71 | 61 | 49 | 20 | 20 | 8 | 19 | 248 |
| 配架箇所数増減 | +2 | -2 | -16 | ±0 | ±0 | +1 | ±0 | -15 |

※郵送費の値上げにより、116 号より遠方の支援センターへの送付を停止。PDF での送付を希望した 5 施設
には毎号メールでの送付に変更した。

2. 多賀城 LUNCH トーク

会場：SHARE LOUNGE 多賀城

内容：活動者であるゲストのトークを通して、ゲスト、参加者が
つながり、交流し、一歩踏み出すきっかけをつくる

対象：テーマに興味のある市民・行政・市民活動団体等

(1) 好きなことで生きる～カフェと保護猫とこれからのこと～

日 時：令和7年4月11日（金）12:05～12:50

ゲスト：副島木綿子さん

内 容：ゲストのこれまでの海外生活やカフェ、保護猫活動、
これからの活動について

参 加：34 人

(2) 思いを吐き出す～素であること～

日 時：令和7年5月16日（金）12:05～12:50

ゲスト：タカハシシオンさん（画家・アーティスト）

内 容：幼少期の聴覚過敏などの経験から、自己表現にたど
り着くまでの話

参 加：29 人

(3) フードバンク活動で感じたこと

～私と支援とレジリエンス～

日 時：令和7年6月13日（金）12:05～12:50

ゲスト：大友幸証さん（NPO 法人いのちのパン）

内 容：フードバンク活動や災害地域での支援活動の中で感
じたことについて

参 加：26 人

(4) 聞くから聴く～みんなでつくるこどもまんなか社会～

日 時：令和7年7月11日（金）12:05～12:50

ゲスト：檀崎たつみさん（一般社団法人子どもアドボカシー
センターみやぎ）

内 容：子どもの声を聴き、意見を尊重する活動について

参 加：34 人

(5) 知ることと伝えること～戦後からこれから～

日 時：令和7年8月1日（金）12:05～12:50

ゲスト：奥村志都佳さん

（Conné～こんね～長崎の語り部から学ぶ会）



2. (1)今年度 1 回目。イベントの認知度が上がり、参加者も増加した



2. (2)原画を多数展示。細部まで描かれた絵に感嘆の声があがった



2. (3)普段の活動の話だけでなく、能登半島地震やミャンマーの支援の話もあった



2. (4)子どもの権利について考えた

内 容：「継承」と「自分ごとに捉える」きっかけづくりをしている活動について

参 加：27 人

(6) まちと私とブックカフェ

日 時：令和7年9月12日（金）12:05～12:50

ゲスト：岩久保円花さん（Book café SAFARI）

阿部理美さん（BOOK WITH CAFE MARY COLIN）

内 容：ブックカフェを経営するゲストによる、まちとのかわりやブックカフェを開いた想いについて

参 加：39 人

(7) お菓子がみんなが幸せになる方法

～地域で30年愛される洋菓子店～

日 時：令和7年10月14日（火）12:05～12:50

ゲスト：磯知之さん（洋菓子店ピュイダムール）

内 容：開業以来30年、地域に寄り添いながら旬の素材を活かしたお菓子を作り続けているゲストによるトーク

参 加：23 人

(8) 歴史の街に自然を+（プラス）

～ネイチャーポジティブな街づくり～

日 時：令和7年11月7日（金）12:05～12:50

ゲスト：香川裕之さん（東北緑化環境保全株式会社）

内 容：環境保全に取り組むゲストによる市内の歴史と自然環境の共生についてのトーク

参 加：19 人

(9) 音楽と私とまち～多賀城から全国への挑戦～

日 時：令和7年12月12日（金）12:05～12:50

ゲスト：平山俊幸さん（宮城県多賀城高等学校吹奏楽部顧問）

内 容：市内の高校で音楽教諭として勤務し、指導した部活動を数々の全国大会へ導いたゲストによる自身と音楽とまちの関わりについてのトーク

参 加：39 人



2. (5) 戦時下体験者も参加。当時の話が聞ける貴重な機会となった



2. (6) ブックカフェを経営する2人の対談



2. (7) ゲストより焼菓子が配られ、地域で愛される味の魅力を再確認する機会となった



2. (8) 多賀城の自然環境面での魅力を再確認する機会となった

(10) 多賀城「やかもち鍋」～変わらぬ味に秘めた想い～

日 時：令和8年1月23日（金）12:05～12:50

ゲスト：鈴木きくえさん（生涯学習100年構想実践委員会）

内 容：多賀城名物やかもち鍋の考案者のゲストによるやかもち鍋の誕生秘話から、これからについてのトーク

参 加：31人

(11) 棋は対話なり～将棋で育むイーजीコミュニケーション～

日 時：令和8年2月10日（火）12:05～12:50

ゲスト：出原卓朗さん（多賀城将棋ラボ）

内 容：将棋を通じた交流や教育、それらを育むツールとしての強みと共有するための環境づくりについてのトーク

参 加：15人

(12) あの日の教訓～こども真ん中のまちづくり～

日 時：令和8年3月6日（金）12:05～12:50

ゲスト：小幡幸拓さん（下馬みどり保育園）

内 容：3.11の課題を子ども支援のフィルターを通してどう考えるか、まちづくりにどうつなげるかについてのトーク

参 加：18人

成 果：・多賀城で活動している人や市民活動団体や課題を、市民や行政とともに、考える機会をつくった。

・ゲストや参加者の交流も行なわれ、新しい連携を生むきっかけづくりができた。

・高校生が参加し、活動者や戦時下の体験者と、同じく参加者の貞山高等学校の学生とつながり、インタビューを実施。みやぎ高校生フォーラムでの発表に至った。（8月）

・対談として実施、ゲスト同士がつながるきっかけとなったほか、ゲストの活動に興味を持った参加者がゲストの経営する店舗へ行き、さまざまな交流が生まれた。（9月）

・ゲストとまちづくりの団体がつながり、イベントへの参加につながった。（12月）

・団体の活動に興味、関心を持った参加者2名が、団



2. (9) これまでで最多の事前申し込みがあった



2. (10) やかもち鍋の実食も行われた



2. (11) ゲストと将棋の関わりについてのトーク



2. (12) 保育のフィルターを通した震災の教訓についてのトーク

体に入会するきっかけとなった。(1月)

・ゲストとまちづくりの促進のために活動している団体がつながるきっかけとなった。(2月)

3. YouTube「たがさぼチャンネル」

チャンネル登録者：65人（令和8年3月末時点）

※令和7年度中に7人増加

動画数：2本（令和7年度新規アップロード）

投稿動画

（1）事業紹介

タイトル：Tagajo Youth Challenge 部

投稿日：令和8年3月31日（火）

内 容：新しい人材活動支援事業のTagajo Youth Challenge部に密着。参加者の学びや実践の様子を紹介。

（2）団体紹介

タイトル：多賀城の名物 やかもち鍋ができるまで

投稿日：令和8年3月31日（火）

内 容：やかもち鍋についてのトーク（多賀城 LUNCH トークにて撮影）、つくり方。

成 果：市民が市民活動に触れる機会、興味・関心を持つ機会を増やすことができた。

4. ブログ「たがさぼPress」

発信頻度：週3回（月・木・土）以上

記事数：222本（月平均19本）

訪問者数：96,292件（月平均8,024件、1記事平均434件）

カテゴリー別発信内容

| カテゴリー名 | 内容 | 本数 |
|-------------|-----------------|----|
| イベント情報 | 市内外で行われるイベント情報 | 22 |
| 事業のご案内 | 主催事業の告知 | 47 |
| 施設利用案内 | 当センター施設についての情報 | 12 |
| 資金調達 | 助成金情報 | 23 |
| 事業レポート | 主催事業のレポート | 33 |
| 団体紹介 | 市内外の団体の取り組みを紹介 | 13 |
| 自治会・町内会レポート | 自治会・町内会の取り組みを紹介 | 20 |



3. (1)活動を実践しているゲストの講義で学ぶ参加者の様子



3. (2)やかもち鍋の調理の様子



4. ブログのトップページ

| | | |
|--------------------|--------------------------------|-----|
| 市民活動
お役立ち情報 | 市民活動や地域活動に役立つ情報 | 7 |
| スペシャル・
レポート | 市内外で行われたイベントのレポート | 9 |
| NPO 法人の数 | 全国、県内、市内の NPO 法人数、推移 | 12 |
| たがさぽ日記 | 当センターの日常の様子を紹介 | 5 |
| ニューズレター | フリーペーパー「tag」の情報、取材
のこぼれ話 | 6 |
| ボランティア
募集情報 | ボランティアの募集情報 | 1 |
| スタッフブック
レビュー | スタッフによるたがさぽ文庫の所蔵
書籍のブックレビュー | 3 |
| 災害関連 | 災害支援情報 | 0 |
| イノベーション・
プロジェクト | 新たな切り口の市民参加のプロジェ
クトを紹介 | 2 |
| 3.11 大震災 | 追悼行事を紹介 | 1 |
| その他 | 上記カテゴリーに分類できないもの | 6 |
| 計 | | 222 |

成 果：助成金や講座情報のほか、当センターの事業の告知
や報告、地域イベント情報、団体の取り組み、お役
立ち情報などを発信することで、市民活動団体の運
営支援や、市民が市民活動に触れる機会、参画する
機会、活動を促進する機会となった。

5. その他の当センターのウェブ媒体による情報発信

概 要：以下に挙げる複数のウェブ媒体を使用し情報発信に
取り組み、当センターの情報に触れる機会を増やし、
より多くの人に情報が届くように努めた。

(1) ウェブサイト

当センターの機能や施設の紹介、当センター主催の講座・イ
ベントのお知らせ、市民活動団体情報の発信、各種発行物の
アーカイブなどを行った。

発信頻度：随時（当センターの事業告知時が中心）

訪問者数：22,569 件（月平均 1,881 件）



5. (1) ホームページのトップページ

(2) X

ブログ更新のお知らせ、当センターや利用団体主催の講座・イベントのお知らせ、当センターの様子の紹介などを行った。
フォロワー数：2,090 人（令和 8 年 3 月末現在）

※令和 7 年度は 1 人減少

発信頻度：週 3 回以上

投稿数：227 回

インプレッション（表示）数：40,985 回

エンゲージング（反応）数：2,728 回

「いいね！」数：491 件

(3) インスタグラム

主催の講座・イベントのお知らせ、雑貨市の出展団体紹介などを行った。

フォロワー数：381 人（令和 8 年 3 月末現在）

※令和 7 年度は 125 人増加

投稿数：92 件

ビュー（表示）数：77,916 回

リーチ（閲覧）数：20,573 回

「いいね！」数：1,218 件

成 果：当センターが発信する情報を、より多くの人に届ける機会をつくり、市民が市民活動に触れる機会、参加する機会を増やすことができた。



2. (2) Xのプロフィール欄



5. (3) インスタグラムのトップページ

アンケート集計結果

1. tag (148 件回答) ※多賀城 LUNCH トークのアンケートより

①満足度 (人)

| 5 (満足) | 4 | 3 | 2 | 1 (不満) |
|--------|----|----|---|--------|
| 107 | 23 | 17 | 0 | 1 |

②満足度の理由や感想 (抜粋)

- ・地域の情報発信として素晴らしい。
- ・丁度いい情報量だと思う。
- ・カラーで写真も多く、ぱっと情報が分かるのが良いと思います。
- ・丁寧な文章で、字の大きさも丁度よいです。
- ・多賀城で活躍している方の活動に興味を持たせられる誌面だと思った。
- ・地域で支える認知症の記事、認知症サポーター養成講座と認知症カフェ、ガイドブックのこと、意義深い記事だと感じました。
- ・毎回、読み応えがあり、読みやすいレイアウトで楽しませていただいています。
- ・市内で活躍されている方々や様々な活動を知ることができ、毎回興味深く見えています。
- ・興味深い内容が多い。
- ・いつも新しい気づきをいただき、ありがとうございます。
- ・様々なジャンルで活躍されている方を知ることができて毎号楽しみにしています。

2. 多賀城 LUNCH トーク (168 件回答/334 人参加)

①多賀城市との関わり・住まい (人) ※複数回答可

| 在住 | 通勤・通学 | 塩竈市 | 七ヶ浜町 | 利府町 | 仙台市 | その他 |
|-----|-------|-----|------|-----|-----|-----|
| 105 | 23 | 11 | 6 | 6 | 22 | 2 |

②講座をどこで知ったか (人) ※複数回答可

| チラシ | HP・ブログ・SNS | 市広報 | 市 SNS | 当日会場 | 知人・友人 | その他 |
|-----|------------|-----|-------|------|-------|-----|
| 81 | 16 | 20 | 29 | 15 | 14 | 29 |

③満足度 (人)

| 5 (満足) | 4 | 3 | 2 | 1 (不満) |
|--------|----|---|---|--------|
| 140 | 21 | 4 | 2 | 1 |

④満足度の理由や感想 (抜粋)

【内容について】

- ・ご自身の経験から得たお話をたくさん聞かせていただき、とても感化されました。自分自身を見つめ直して、色々とまた考えていこうと思えました。
- ・とてもアクティブで魅力的な女性が多賀城にもいらっしゃると知って嬉しくなりました。
- ・活動を続けるモチベーションや喜びについてお聞きできて、とても興味深かったです。
- ・「解決しようとするのではなく伴走する」など、子どもを支援する時の考え方がとても参考になった。

- ・子どもは勿論ですが誰もが尊重される社会づくりが必要だと感じるお話でした。
- ・実際に体験したことがなく、想像もしがたい現実を体験者ご本人から聞く機会は貴重だった。
- ・戦後 80 年だからこそ…と考えることもあり、でも、戦後 80 年だけではなく、「関心を持ち続ける」ことの大切さ考える機会になりました。
- ・（戦時下体験談を話している）伊藤さんの顔を見ながら、真剣な表情で耳を傾ける（参加者の）高校生たちを見て、それだけでも今日ここに伺った価値があったなぁと思いました。
- ・好きな事を起点にコミュニティづくりをして、地域で人々が集まれる場所を作っているお二人が素晴らしいと感じました。
- ・お二人の夢実現のお話や想いを聞けて、とても胸が熱くなりました。
- ・お二人の人柄がにじみ出て心地良い時間でした。
- ・ひとり親世帯へバースデーケーキを無償で贈る活動など、お菓子でみんなが笑顔になって欲しいというオーナーさんの純粋な想いに感動しました。
- ・多賀城の自然環境面での魅力を改めて確認する機会となり、参加者と共有できたことはとても良かった。
- ・多賀城に誇れる資源があることが分かりました。
- ・情熱あふれるお話をお聞きし、パワーをいただきました。ピンチもチャンスと考えて、前向きにポジティブに過ごしていこうと思います。
- ・苦労話をにこやかに話しされていたのが印象的でした。

【運営・実施形態について】

- ・ランチの時間という設定が、気軽に足を運べて良いなと思っています。
- ・軽食をとりながらゲストのお話が聞けるスタイルは気軽に参加できていいと思います。
- ・座った席がゲストの並びだったため、話している時にお顔が見えないのが残念でした。
- ・参加者の方とのおしゃべりも楽しめました。時間帯が変われば参加される方の層も変わるのかな？と思うと、たまに夜の部とかあってもいいのかな？と思いました。
- ・投影されたスライドも資料としていただけて、ふりかえりできる場所もよかったです。
- ・もっとお話を聞きたいと思いましたが、その「もっと」という思いが生まれ参加した様々な方とお話ししたくなるのがまた狙いでもあるのかなと思うと丁度いいなとも感じました。こういった企画があることが素敵だなと思いますし、ぜひ継続していただけたらと思います。
- ・人が多いと質問しづらいところもあるので、始まる前に事前に質問したいこと等を募集してみるのもいいかなと思いました。

【その他】

- ・新しいテーマに出会うことを目的に、毎回参加しています。
- ・普段聞くことができない様々な方の活動や考えを知ることができて、とても勉強になっています。
- ・わかりやすく、聞きやすく、時間がたつのが早かったです。
- ・時間帯が仕事の中抜けになるのが少しだけ大変ではありますが、それを超える有意義さです。
- ・幅広い年代の方がいらしていたのが印象的だった。
- ・やりたいことを始めようと思っていたので、背中を押されました。挑戦してみようと思えました。
- ・何かしたいと思っても、何からどうやってと思ってしまう。もっと心を軽くして歩みたいと思います。

Ⅱ

令和 8 年度事業計画

1. 令和8～10年度施設運営方針

(1) はじめに

1) 令和5～7年度の成果・課題

令和5～7年度の3年間でめざすまちの姿を「ベッドタウンからホームタウンへ」とし、まちに主体的に関わる市民を増やしていこうと取り組んだ。成果と課題は以下のとおりである。

既活動者、関心層が未来志向で地域のことを考える対話型の場づくり

多賀城フューチャーセッション、みらい自治トークなど、未来志向で地域のことを考える場をつくり、市民活動・地域活動の既活動者だけでなく関心層も一緒に、課題やアイデアを共有できる機会を増やした。対話の中から新たな取り組みが生まれた一方で、行政への提案や地域のさまざまな主体と協働で課題解決につながるような、連携の取り組みの広がりには至らなかった。

地域のさまざまな主体が連携するきっかけづくり

幼保施設と地域の避難訓練のコーディネート、雑貨市集会やNPO交流会の実施により、市民活動団体、事業者、学校など、地域のさまざまな主体が出会い、情報交換を行う機会を作り、連携を生み出した。

地域の活動や課題を知る機会づくり

市民活動団体、自治会・町内会の取り組みに加え、事業者やお寺の地域貢献の取り組みなど、地域で行われている取り組みを取材し、情報紙やブログなどの媒体で発信した。また、多賀城LUNCHトークを実施することで地域の活動や課題を可視化し、市民活動・地域活動の情報に触れる機会をつくった。

将来の地域を担う小学生から大学生が地域に関わるきっかけづくり

市内中学校、高等学校から相談が寄せられることが増え、探究学習等の一環で、地域で活動する市民活動団体やキーパーソンをつないでいた。また、幼保施設と地域の避難訓練に、近隣にある高等学校の生徒が参加するなど、地域と学校が交わる機会が増えた。Tagajo Youth Challenge部では、高校生・大学生を中心に、プラン立案だけでなく実践に至った。きつずボランティア講座では、小学生の時に受講した児童が中学生になり、サポーターとして小学生を支える役割を担い、人材の循環も生まれた。

2) 当センターが考える取り組むべき課題

①市民活動を推進する上での課題

【市全体】

- ・当センターや市の紙媒体・ウェブ媒体で、市民活動・地域活動の情報は発信しているが、まだ情報を見たことがなかったという市民もあり、何か活動したい市民の中には、活動に一步踏み出せていない人もいることが考えられる。

【市民】

- ・市民活動団体、自治会・町内会などは、役員やメンバーの高齢化、担い手不足により、高齢者や特定の人の負担になり、存続が難しいもしくは解散する団体が出てきている。それによって、市民の安心・安全な暮らしに影響が出る可能性がある。

【行政】

- ・行政主体の活動ではなく、市民主体の活動への関わりが少ない。

②行政との協働を実践する上での課題

【行政】

- ・市が行う施策について、地域福祉や教育、防災などの分野において、市民や地域の力の必要性が明記されている一方で、事業それぞれで取り組んでおり、行政や施策の縦割りが市民に影響を及ぼす可能性がある。
- ・計画の原案は市職員が作り、それに対する市民の意見を聞くパブリックコメント等が行われる「印としての住民参加」が多く、計画づくりから行政と市民が一緒に取り組む「住民の力が活かされる住民参加」はあまり行われていない。
- ・市の計画検討のプロセスや公園等の利用方法など、市民がまちに関わるために必要となる情報公開が不十分なところが見受けられる。
- ・縮充を掲げられている公共施設の見直し計画は、複合化による機能や運営面の効果が現時点では公開されていない。複合化によって、多賀城にどんな新たな価値を生み出すのかを、市民と行政が一緒に考えるプロセスが必要である。
- ・行政に意見を伝える市民を貴重な人材と捉え、地域づくりの担い手やパートナーとなり得る存在として関係性を育む関わり方が市職員には必要である。
- ・当センターが実施している事業は、市職員が市民活動への理解を深める機会と捉え、地域コミュニティ課より案内してもらっているが、市職員の参加は減っている。市職員が市民活動に触れる機会の減少は、市民活動・地域活動や協働への理解が広がらないことにつながる恐れがある。

【市民】

- ・行政が決めた案に対して市民の意見を聞く機会が多いことから、市民の声が要望になりやすい。まちのことを市民自らが考え、決め、取り組むことができることを、より広く知ってもらい、考え、決め、取り組む機会を増やす必要がある。

○令和8～10年度も、市民活動・地域活動の担い手を増やし、地域のさまざまな主体が連携し、課題解決につながるコーディネートを工夫しながら継続していく。

(2) 私たちが考えるめざすまちの姿

“ホームタウンからDo It Ourselfタウンへ”

多賀城市は、若い世代が多い反面、地域の担い手不足や子ども会がなくなるなどにより、小学生から高校生までが地域に関わる機会が減っている。当センターでは、地域のことを学ぶ場、体験する場、行動する場を、市民活動・地域活動を行っている多様な主体のみなさんと一緒につくってきた。これらの取り組みにより、子どもたちが多賀城をホームタウンと思うようになり、このまちに住み続けたり、一度市外に出たとしても戻ってきたり、遠くから関わり続けるなど、将来の地域の担い手となっているまちをめざしてきた。

これからも子どもたちに多賀城をホームタウンと思ってもらうために、大人も地域に関心を持ち、自分ができることから市民活動・地域活動に関わる人を増やしていく取り組みを継続し定着させていく。あわせて、まちは自分たちでつくっていけること、まちをつくるのは自分たちであることを知り、行動する市民を増やしていく。市民の力により、課題が解決したり、まちの魅力が高まったり、新たな価値が創造される状況を生み出す。

私たちでつくるまち＝Do It Ourselfのまち＝Do It Ourselfタウンの姿を、地域のさまざまな主体と共に考え、はぐくみ、取り組んでいく。

(3) 令和8～10年度までの取り組み

1) 注力する取り組み

①多様な担い手と若手層の発掘の継続

小学生から大学生までの若手層や、市民活動・地域活動に触れたことがない潜在層を対象に、市民活動・地域活動を知る機会づくりや、関わり方を増やす働きかけを行い、多様な方法でまちに関わる市民を増やしていく取り組みを継続する。

②市民自らがまちのことを考え、決め、取り組むことへの伴走・応援

まちのことはだれかが決めるのではなく、自分たちでつくっていけることを実感してもらうとともに、市民がまちのことを考え、決め、取り組むことへの伴走・応援を行う。地域の多様な主体による対話と協働を通して、新たな価値を創造していく。

③アウトリーチをもとにした情報発信の強化

活動者の話を聞き、活動のプロセスや成果を蓄積するとともに発信を行う。これらの情報を関心層に届けることを強化し、活動に参加しやすい環境づくりを行う。

2) その他の取り組み

④団体運営の伴走支援

団体の運営力がアップすることで、活動への参加や支援が広がり、それによって団体がめざす地域課題解決にもつながる。

近隣のNP0支援センターではマネジメント講座やテーマ別の個別相談会が行われており、多賀城市は他市町へのアクセスもよいことから、団体運営力アップの機会は得やすい状況にある。また、オンラインで受講できるプログラムも増えていることから、当センターはテーマが重複するような講座は実施せず、相談対応等の中から必要に応じて講座を実施することとする。あわせて外部研修情報の発信を行うことで、団体の運営力アップにつなげていく。

⑤市民参画、市民協働の土壌づくり

公共施設の見直しは、市民と行政が一緒に考え、決めていくプロセスが重要であり、市民が施設運営に積極的に参画することで、ニーズに沿った有効活用や新たな価値創出につながるものである。また、こうした市民参画による運営は、行政側にとっても持続可能な施設管理や多様な利活用を進める上で大きな支えとなる。さらに、市民が自らの意見やアイデアを施設運営や地域づくりの現場で発揮しはじめることは、市民側からも行政との連携・協働への意欲や機運が広がる契機となる。こうした双方の協働・参画の輪を土台とし、市全体に主体性と協働の関係が根付くこと（=土壌づくり）をめざす。

3) 取り組み方

①3地区（西部・中央・東部）をベースに実施【年間1～2地区】

公共施設等総合管理計画の案に基づいた、市民活動サポートセンターの今後の機能を見据え、西部・中央・東部の3地区をベースにし、市民活動・地域活動に関わる人材を発掘・育成しながら、地域の多様な主体が対話し、課題解決に向けた取り組みを生み出すようなハブを各地区に作っていく。1年目は講座等を通じて人材発掘をしながら、リサーチや関係づくりに注力し、取り組む課題を見つけていき、必要としている地区から取り組みを始めていく。単年度ではなく、1年目話し合い→2年目試行→3年目改善・定着のように3ヵ年かけて取り組んでいく。これらの取り組みから各地区の自治力が育まれている状況をめざす。

②全市的に実施

市全体、他市町との情報共有ができるよう、横をつなぐ取り組みを行う。

③地域状況や見通しの共有

地域の情報はスタッフ内、地域コミュニティ課と共有し、先の姿を描きながら取り組みを行っていく。ミーティングの時間の使い方を工夫する。

また、各地区の基礎的な情報、これまでの関わりなどを見える化し、令和8年度以降に取り組んでいく地区や課題を見出す。

④他機関や他団体と一緒に取り組む

3地区をベースに取り組む際には公民館、若手層の発掘には教育部門など、他機関や他団体と目的を共有し、協力しながらより効果的に取り組む。

令和7年度中から、公民館等に令和8年度以降の取り組みを説明し、すぐに動けるような下地づくりに取り組む。

4) 取り組み体制づくり

事業に取り組むために、仕事の削減の検討や時間の使い方の見直しを行う

(案)・ミーティングは情報共有に留めず、よりよい伴走支援につなげるために時間を使う。

- ・窓口対応等で削減や縮小できるところを検討する。
- ・より質の高い相談対応、コーディネートができるようスタッフの研修を行う。

2.令和8～10年度多賀城市市民活動サポートセンターロードマップ

| | | R8年度
2026年度 | R9年度
2027年度 | R10年度
2028年度 | めざす姿
(できるところは今後数値化する) | | |
|---|--------------------------|---|----------------|--|--|--|--|
| 3地区
(西部・中央・東部)
をベースに実施
【年間1～2地区】 | ⑤市民参画・
市民協働の土
壌づくり | ●地域との関係づくり
既存の会議体等を活用しながら、地
域の情報収集および関係性づくりを進
める。その中でTSCの知見を市役所や
他施設、他機関に広める。
・テーマ別研究会への参加
・関係課ミーティングへの参加（2ヵ
月に1回）
・地域状況の把握
・公民館・児童館等との関係性づくり
・コミュニティ・スクールへの関わり
・包括支援センターとの関わり

●課題の可視化
・各地区の情報の蓄積・共有
・TSC内ケース検討ミーティング
・3ヵ月会議 | → | → | ・市内施設・機関に市民活動促進の
意義が共有されている。
・市民の自治力を高めながら、協働
で地域の課題を解決するコーディ
ネートができる施設や機関が市内に
増えている。
・自治力向上のために、市内施設・
機関と一緒に取り組んだり、役割分
担が進んでいる。
・各課が抱える課題の市民協働によ
る解決に向けて、TSCに相談が持ち
込まれるようになる。
・地区とTSCの信頼関係ができてい
る。 | 各地
区
の
自
治
力
が
育
ま
れ
て
い
る | ホー
ム
タ
ウ
ン
か
ら
Do It
Ourse
Ifタウ
ンへ |
| | ①人材発掘 | ●いちから塾
市民活動・地域活動の入門講座を行
い、地区内の潜在的活動者層の発掘を
行う。

●小学生・中学生対象講座（きっずボ
ランティア講座）
市民活動・地域活動の入門講座を行
い、地区内の次世代の発掘を行う。
（部活動の地域展開、Youth
Challenge部への参加も視野に入れ
る）

●各地区で行われるイベントに参加や
協力
潜在層が市民活動に触れる機会を増
やす。 | → | →

●実践を生む伴走
単に受講で終わらず、交流や発表の
場を設けるなど、実践を生む組み
組みを行う。 | ・各地区で市民活動・地域活動に関
心のある人の見える化が進む。
・活動に参加する人が増えている。

・自分で活動を始める人が増えてい
る。 | | |
| | | | → | → | ・各地区で市民活動・地域活動に関
心を持つ次世代が増えている。
・次世代をサポートする地区の人が
増えている。
・市民活動・地域活動に参加する人
が出てくる。 | | |
| | | | → | → | ・市民活動のことを知り、日常的な
行動が変化する人が増えている。 | | |
| | ②市民自らが
取り組むこと
を応援 | ●話し合い
地区でテーマを設け、多様な主体が
参加し、情報共有、学び、話し合い等
の場を試行する。 | → | →

●実践を生む伴走
地区での新たなかたちの取り組みが
施行されている。 | ・各地区で多様な主体が集まって地
区のことを話す場ができる。
・各地区のハブとなる場が見えてく
る。
・既存のかたちではない連携等の新
たなかたちで取り組みが生まれ、担
い手不足などの地域課題の解決につ
ながる兆しがある。 | | |
| | | | | | | | |
| 全市的に実施 | ①人材発掘 | ●Youth Challenge部
市民活動・地域活動の実践者に出会
いながら自分の想いをかたちにし、次
世代の発掘を行う。

●多賀城LUNCHトーク
ゲストトークを行い、テーマに関心
のある人の発掘を行う。 | → | → | ・市民活動・地域活動に関心を持つ
次世代が増えている。
・次世代をサポートする既活動者が
増えている。 | | |
| | | | → | → | ・テーマに関心のある人の見える化
が進む。
・テーマに関心がある人同士のつな
がり生まれる。 | | |
| | ④団体運営の
伴走支援 | ●相談対応
・団体ごとの運営力のアップの伴走支
援
・事務用ブース入居団体へのインキュ
ベート相談・伴走支援
・窓口等での相談対応
・学校等の連携相談 | → | → | ・団体の運営力がアップし、地域の
主体との連携が進んだり、活動者の
受け皿になり、課題解決が進んでい
る。
・事務用ブース3年間の入居期間に自
律に向けた目標を達成している。 | | |
| | ⑤市民参画・
市民協働の土
壌づくり | ●多賀城フューチャーセッション
●市民ミーティング
●Taga懇
市民活動促進指針をもとに、自治、
市民参画、協働を市民が考える場づく
り | → | ●行政への提案・連携の場 | ・自治、市民参画、協働への市民の
理解が進み、行政に提案したり、連
携する市民が増えている。 | | |
| | ③情報発信 | ●情報紙発行
●SNSの運用
地域情報（取り組み・団体等）の価
値づけと共有を行う。 | → | → | ・地区内・外で行われている活動が
知られている。 | | |
| | 主なトピック | ・市民活動促進指針策定から20周年
・六次総後期計画
・市役所組織改編
・スポーツウェルネス施設整備基本計
画策定
・市役所エントランス棟完成 | ・部活動地域展開開始 | ・開館20周年
・市長選 | | | |

| 大事業 | | 小事業 | 主な目的 | 主な対象 | プログラム案 | 本数 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|---|----------------------|---------------|---|---------------------------------------|---|----------------------------|--------|------------|---------|----------|----------|----------|----|----------|----|----------|---|----------|
| 3地区
(西部・中央・東部)
をベースに実施
【年間1～2地区】 | ⑤市民参画・市民協働の
土壌づくり | 地域関係づくり事業 | 既存の会議体等を活用しながら、地域の情報収集および関係性づくりを進める。その中でTSCの知見を市役所や他施設、他機関に広める。 | 市民協働に関わる市の部署、市内施設・機関
自治会・町内会 | (1) 関係づくり | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 1) 関係づくり | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | ①自治会・町内会との関係性づくり | 随時 | | | | | | | | | | | | → |
| | | | | | ②公民館・児童館等との関係性づくり | 随時 | | | | | | | ○ | | | | | ○ |
| | | | | | ③コムスク・協働教育への関わり | 年2回 | | ○ | | | | | | | | | ○ | |
| | | | | | ④包括支援センターとの関わり など | 月1回 | | | | | | | | | | | | → |
| | | | | | 2) テーマ別研究会への参加 | 年2回×2 | | | | | | | | | | | | → |
| | | | | | 3) 関係課ミーティングへの参加 | 2ヵ月に1回 | | | | | | | | | | | | → |
| | | | | | 4) 施設情報交換会の参加 | 3ヵ月に1回 | ○ | | ○ | | ○ | | ○ | | ○ | | ○ | |
| | | | | | (2) 課題の可視化 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 市民（コア層・キーパーソン）NPO・活動団体、活動者・自治会・町内会・企業 | 1) 各地区の情報の蓄積・共有 | 随時 | | | | | | | | | | | | → |
| | ①人材発掘 | 地域人材発掘育成事業 | 市民活動・地域活動の入門講座を行い、地区内の潜在的活動者層の発掘を行う。実践を生む伴走を行うことで活動者を増やす。 | 潜在的活動者層 | (1) いちから塾・実践を生む伴走 | 1×3地区
テーマ
1～2回 | | | ○
×2 | ○ | | ○
テーマ | | | | | | → |
| | | | | 潜在的活動者層
潜在層 | (1) きっずボランティア講座 | 2回
×2～3地区 | | | | ○ | ○ | | | | | | | |
| | | | | 潜在層が市民活動に触れる機会を増やす。 | (1) 各地区で行われるイベントに参加
や協力（かえっこバザールの際のたがさば
きっず広場、交流会等） | 1～2地区 | | ○
6 | ← | | | | | | | | | → |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ②市民自らが取り組む
ことを応援 | 地域自治伴走応援事業 | 地区でテーマを設け、多様な主体が参加し、情報共有、学び、話し合い等の場を試行する。 | コア層・キーパーソン
NPO・活動団体
活動者 | (1) 話し合い・実践を生む伴走 | 3～4地区 | ← | | | | | | | | | | | → |
| 全市的に実施 | ①人材発掘 | 次世代人材発掘育成事業 | 市民活動・地域活動の実践者に出会いながら自分の想いをかたちにし、次世代の発掘を行う。 | 活動者
潜在的活動者層 | (1) Tagajo Youth Challenge部 | 随時 | ← | | | | | | | | | | | → |
| | | | | | (2) 学校等の相談 | 川口 | 随時 | ← | | | | | | | | | | → |
| | | 7 | テーマ別人材発掘事業 | ゲストトークを行い、テーマに関心のある人の発掘を行う。 | 活動者・行政・企業
潜在的活動者層 | (1) 多賀城LUNCHトーク
交流会5回程度 | 12回 | ○
10 | ○
11 | ← | | | | | | | | → |
| | ④団体運営の伴走支援 | 団体運営伴走支援事業 | 相談対応をベースとした伴走支援により、団体の運営力がアップし、地域の主体との連携が進んだり、活動者の受け皿になり、課題解決が進んでいる。 | NPO・市民活動団体 | (1) 団体ごとの運営力のアップの
伴走支援 | 随時 | ← | | | | | | | | | | | → |
| | | | | | (2) 事務用ブース入居団体へのイン
キュベート相談報告・伴走支援 | 8回 | ← | ○ | | | | | ○ | | | | | → |
| | | | | | (3) 窓口等での相談対応（ケース
mtg・相談研修年1～2回） | 随時 | ← | | | | | | | | | | | → |
| | ⑤市民参画・市民協働
の土壌づくり | 市民参画・市民協働促進事業 | 自治、市民参画、協働を市民が考える場をつくることで、自治、市民参画、協働への市民の理解が進み、行政に提案したり、連携する市民が増えている。 | コア層・キーパーソン
NPO・活動団体
活動者・町内会 | (1) 多賀城フューチャーセッション | 3回 | ○
3 | ← | | | | | | | | | | → |
| | | | | | (2) 市民ミーティング | 随時 | ← | | | | | | | | | | | → |
| | | | | | (3) Taga懇（次世代、NPO対象等） | 6回 | | ○
16・28 | ○
4 | | ○
6・8 | | | ○
28 | | | | |
| | ③情報発信 | 情報発信事業 | 地域情報（取り組み・団体等）の価値づけと共有を行う。 | 市民（潜在層） | (1) 情報紙発行（隔月） | 6回 | ← | ○
tag | | ○
tag | | ○
tag | | ○
tag | | ○
tag | | ○
tag |
| | | | | | (2) SNSの運用 | 随時 | ← | | | | | | | | | | | → |